

令和元年度学修行動や満足度等に関する間接評価調査（学生 I R 調査）

【全体概要】

Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

設問 8 大学の授業や授業以外の学習状況

- 1) 「D.提出期限までに授業課題を完成した」の項目についてはほぼ両学科の学生が肯定的評価であった。特に歯科衛生学科 1・2 年次生の 80.0%以上の学生が、最も肯定的な“ひんぱんにした”と回答した。
- 2) 「N.教員に親近感を感じた」では、保健福祉学科の両学年が最も満足度が高かった。

設問 9 入学以来、活動に費やしている 1 週間当たりの時間数

「A.講義や実習に出席する」の項目では、両学科ともにほとんどの学生が“20 時間以上”と回答した。特に、保健福祉学科の 1 年次生では全員が 20 時間以上であった。

設問 10 入学時点と比べた能力や知識の変化

- 1) 「A.一般的な教養」、「B.分析力や問題解決能力」、「C.専門分野や学科の知識」の項目において全学年で“増えた”または“大きく増えた”と回答しているが、「B.」については両学科の 1 年次生では、“変化なし”と回答する者が他の学年に比べ多かった。
- 2) 「G.人間関係を構築する能力」、「H.他の人と協力して物事を遂行する能力」の項目では、両学科ともに“増えた”と回答する者が多かったが、「M.外国語の運用能力」、「P.数理的な能力」では半数以上の学生が“変化なし”と回答した。

Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティアについて

設問 12A 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

昨年の保健福祉学科では 1・2 年次で否定的評価をした学生がいたが、今年度はいなかった。

設問 12B 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

保健福祉学科では、ほとんどの学生が肯定的評価であった。

設問 13 ボランティア活動が好きか

歯科衛生学科の学生は半数以上の者が“好きでも嫌いでもない”と回答した。

設問 14 ボランティア活動に積極的に取り組んでいるか

保健福祉学科の両学年が肯定的評価をしている一方、歯科衛生学科では、学年が上がるにつれて意欲的に取り組む学生が増えていた。

V. 大学生活に対する考え方について

設問 19 入学してからの大学生活への円滑な移行

歯科衛生学科では、どの項目でも、“いくらかうまくいった”という回答が多かった。

設問 21 教育内容の満足度

「A.専門教育あるいは所属学科の授業」、「E.将来の仕事と授業内容との結びつき」の項目では、両学科とも“満足”、“とても満足”と多くの学生が回答した。特に保健福祉学科では「E.」と「I.大学の中での学生の一体感」の項目では全ての学生が“満足”、“とても満足”と回答した。

設問 22 設備や学生支援制度の満足度

- 1) 「B.実習室の設備や器具」、「C.コンピュータの設備や器具」に対して高い満足度を示したのは保健福祉学科の1年次生であったが、歯科衛生学科の場合には1・2年次の14.3～28.0%の学生は不満を感じていた。また、「E.インターネットの使いやすさ」については、両学科において満足度の値は低かった。
- 2) 「F.奨学金などの学費援助の制度」については、歯科衛生学科では若干の学生は不満を感じていたが、保健福祉学科の学生の多くは“満足”、“とても満足”と回答した。

【課題】

1) 設問 9 大学に入学してからの学習状況について

・「N.教員に親近感を感じた」では歯科衛生学科の学生は、“ひんぱんにした”と回答した学生は保健福祉学科に比べて極端に少ない。学生数が多いため一人一人に対応することが十分でないことからそのように感じている者が多いのであれば、助言制度を活用して学生との対応を図る必要がある。

2) 設問 10 入学時点と比べた能力や知識の変化

・「M.外国語の運用能力」や「P.数理的な能力」等は昨年同様に、なかなか変化を感じづらい傾向にある。今後も、日々の講義や実習の中で数学的な思考や外国を意識した考えを持たせる努力を行っていく。

・「O.他の人と協力して物事を遂行する能力」や「Q.コンピュータの操作能力」については、グループワークや学生PCを用いて課題を作成する機会を増やしたことから、知識や能力が“増えた”と回答する学生が多かった。今後もこのような機会を多く作り、学生の知識や能力の向上を図る。

3) 設問 13・14 ボランティアについて

・保健福祉学科では肯定的評価だが、昨年同様に歯科衛生学科では否定的評価が高い傾

向にある。今後も 1 年次のうちから興味を持たせ体験させるとともに、ボランティア委員会をより活性化する必要がある。

4) 設問 21 教育内容の満足度について

・どの項目においてもほとんどの学生が、“とても満足”、“満足”や“どちらでもない”を選択していた。この結果を踏まえて、今後も評価の維持にとどまらず、1 ランク上がることを考えて教育を組み立てる。歯科衛生学科では、スタッフ不足から教育効果の低下が心配されていたが、TAを活用した課外学習時間のアクティブ・ラーニングを実施しているが、次年度も早い時期からTAを活用し、教育の満足度の向上に繋げたい。

5) 設問 22 設備や学生支援制度の満足度

・この項目においては、不満に感じている者が他の設問に比べ歯科衛生学科では多い結果となった。特に、「B.実習室の設備や器具」に関しては、20 年以上経過しているため、不具合が発生する機会が増えているためである。しかし、対応策として改修・改善することは簡単にできない状況にあるが、できるだけ予算の獲得に努める。

実 施 日	歯科衛生学科	1 年次	令和元年 11 月 8 日(金)実施
	歯科衛生学科	2 年次	令和元年 11 月 6 日(水)実施
	歯科衛生学科	3 年次	令和元年 10 月 28 日(月)実施
	保健福祉学科	1 年次	令和元年 10 月 4 日(金)実施
	保健福祉学科	2 年次	令和元年 11 月 13 日(水)実施
講 義 名	学生 IR 調査		
担 当 者	【衛生】 後藤 加寿子、石井 綾子、森 沙耶香、力丸 哲也、 貴島 聡子、黒木 まどか、南 レイラ 【保健】 古野 みはる、末松 美保子、秋竹 純、齊田 直樹、 中園 栄里、永松 美菜子		
所 属	歯科衛生学科	1 年次	56/56 名 (女性 56/56 名)
	歯科衛生学科	2 年次	75/75 名 (女性 75/75 名)
	歯科衛生学科	3 年次	53/57 名 (女性 53/57 名)
	保健福祉学科	1 年次	6/6 名 (男性 2/2 名、女性 4/4 名)
	保健福祉学科	2 年次	10/10 名 (男性 6/6 名、女性 4/4 名)

1. 取組の趣旨

現在、学習支援や教育支援及び教学的評価などの教学支援組織を通じ、高等教育の質を保証・向上させる方策の具体化が求められている。本学では、学生の学修成果を多面的に評価し、高等教育の質保証システムの創出と教学支援組織のさらなる育成を目指すことを目的に、「学生 IR 調査」を平成 26 年度から継続実施している。

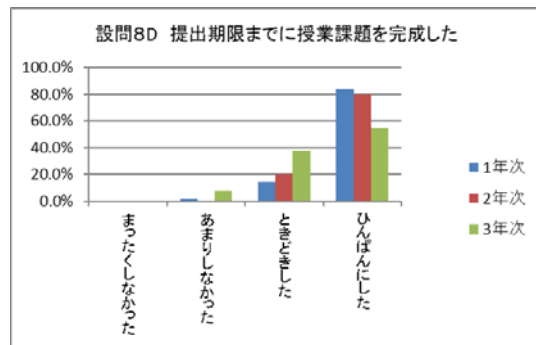
今回、平成 29 年度の両学科学生(歯科衛生学科と保健福祉学科)の調査結果について、A) 一般的な学修状況と課外学修、B) 学生満足度を含めた教育の質保証の観点に基づき、それぞれの結果と今後の課題について取り纏めた。

Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

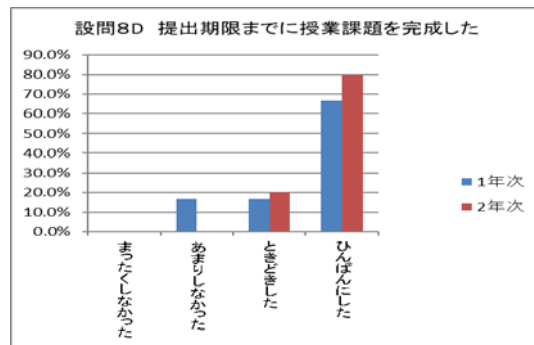
〔8〕大学の授業や授業以外の学習状況

D. 提出期限までに授業課題を完成した

【歯科衛生学科】

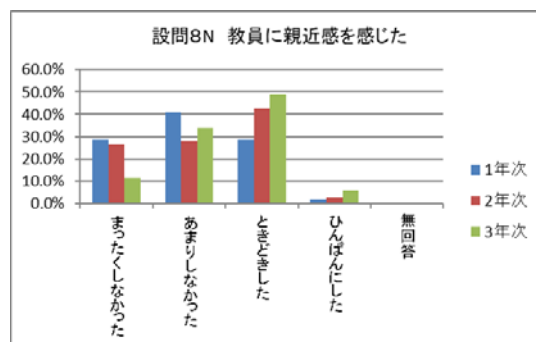


【保健福祉学科】

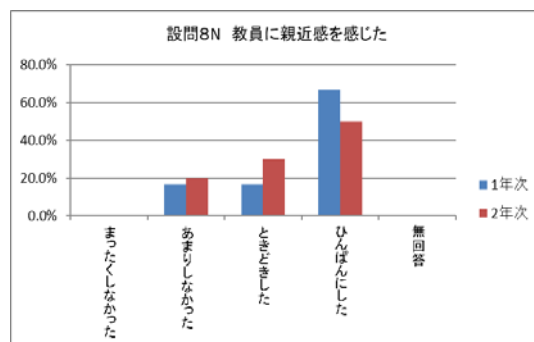


N. 教員に親近感を感じた

【歯科衛生学科】



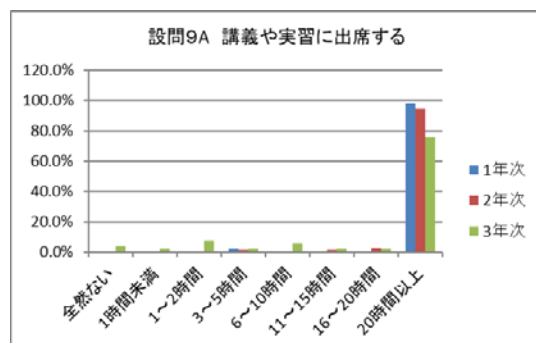
【保健福祉学科】



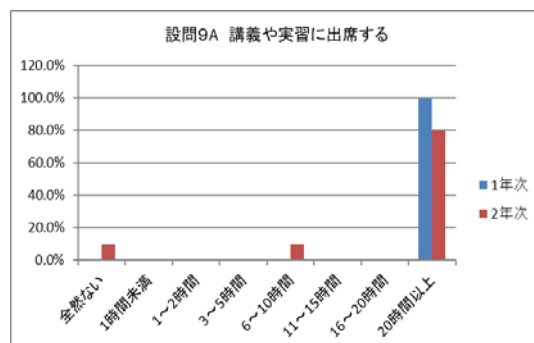
〔9〕入学以来、活動に費やしている1週間あたりの時間数

A. 講義や実習に出席する

【歯科衛生学科】



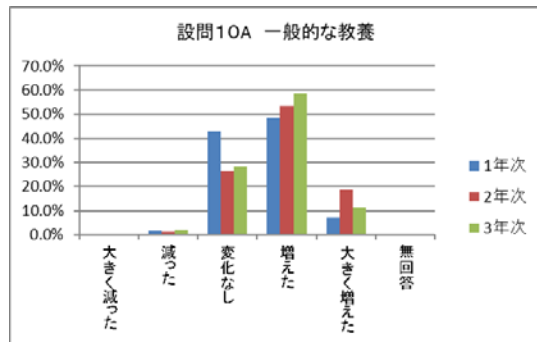
【保健福祉学科】



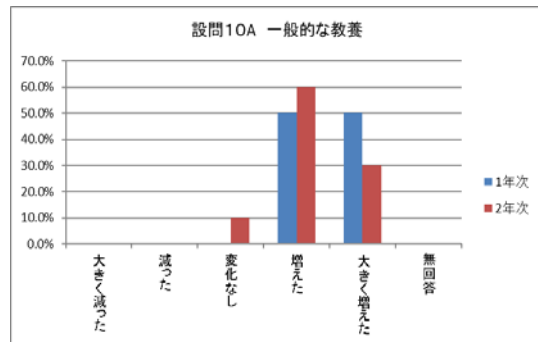
[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

A. 一般的な教養

【歯科衛生学科】

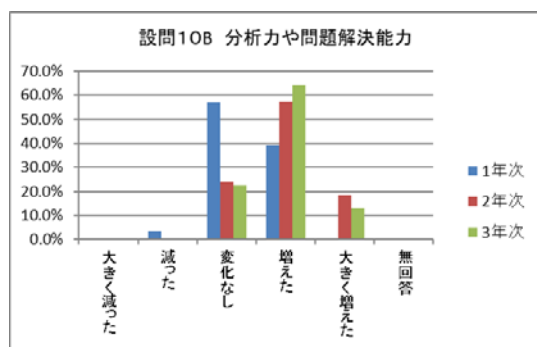


【保健福祉学科】

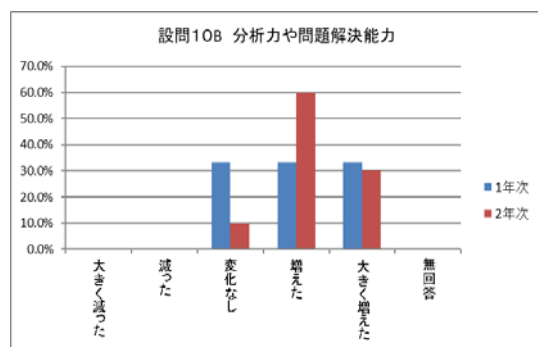


B. 分析力や問題解決能力

【歯科衛生学科】

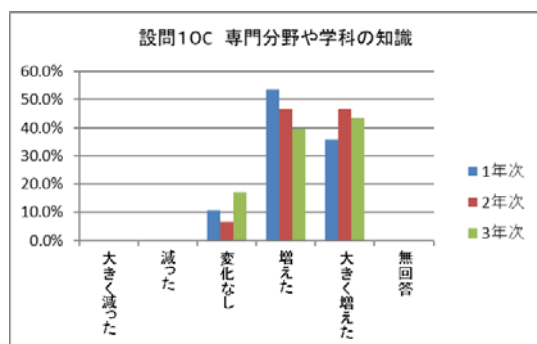


【保健福祉学科】

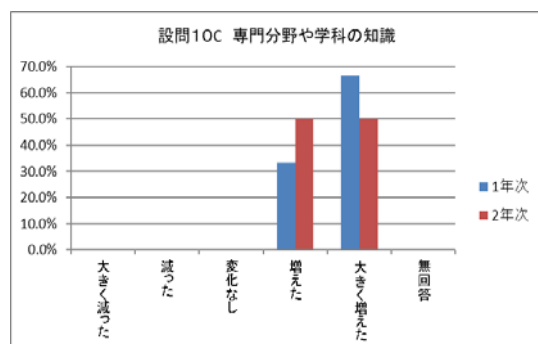


C. 専門分野や学科の知識

【歯科衛生学科】

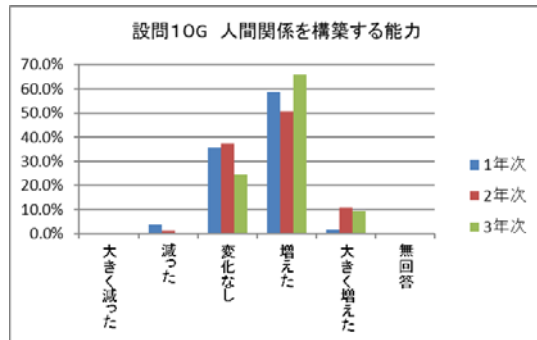


【保健福祉学科】

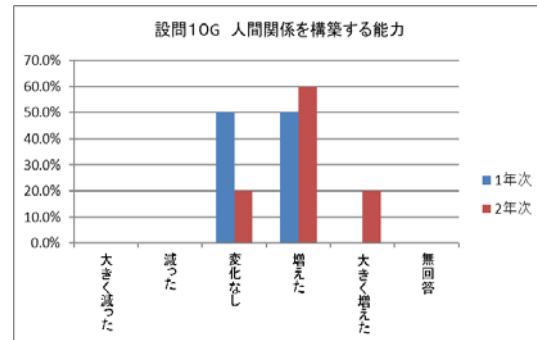


G. 人間関係を構築する能力

【歯科衛生学科】

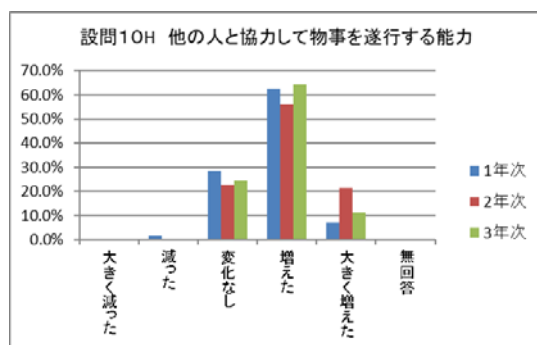


【保健福祉学科】

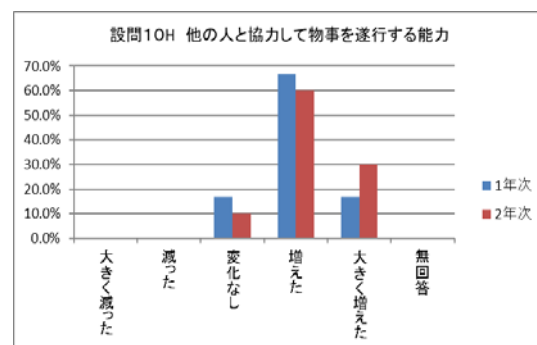


H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

【歯科衛生学科】

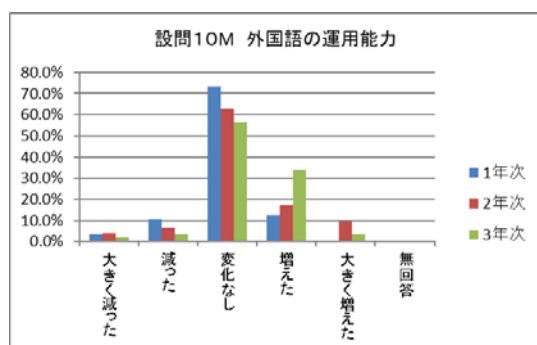


【保健福祉学科】

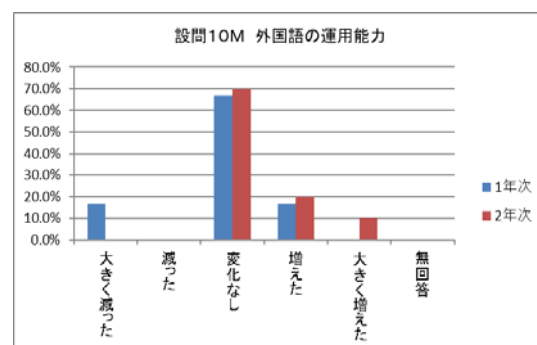


M. 外国語の運用能力

【歯科衛生学科】

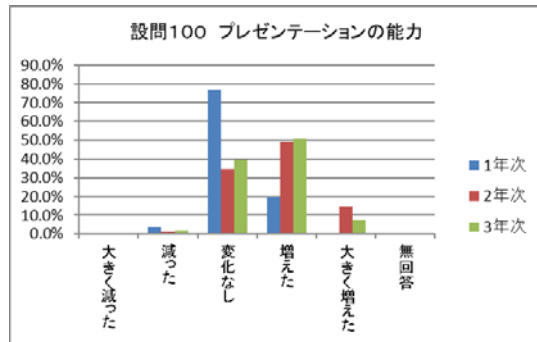


【保健福祉学科】

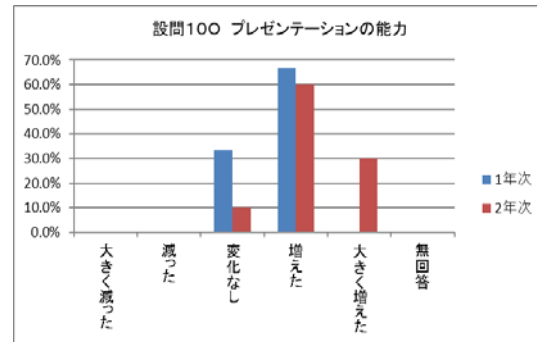


O. プレゼンテーションの能力

【歯科衛生学科】

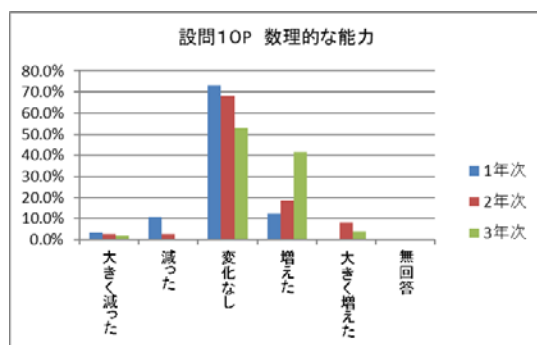


【保健福祉学科】

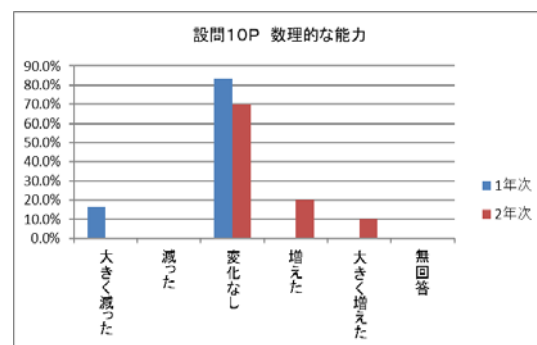


P. 数理的な能力

【歯科衛生学科】

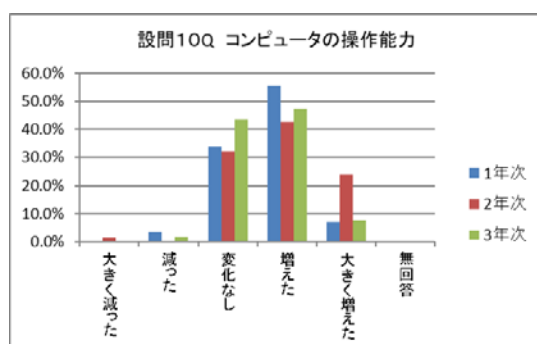


【保健福祉学科】

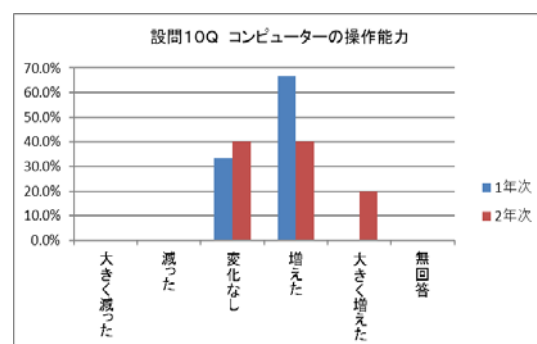


Q. コンピュータの操作能力

【歯科衛生学科】



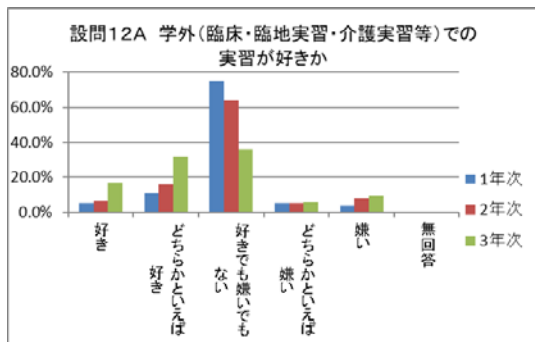
【保健福祉学科】



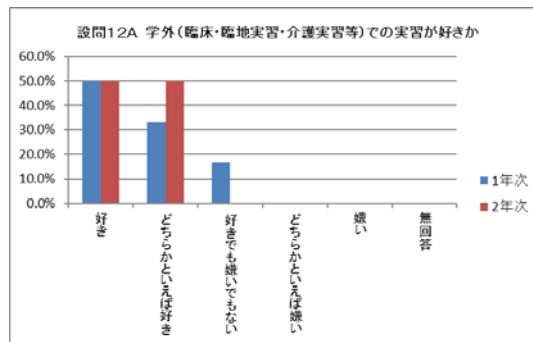
Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

【歯科衛生学科】

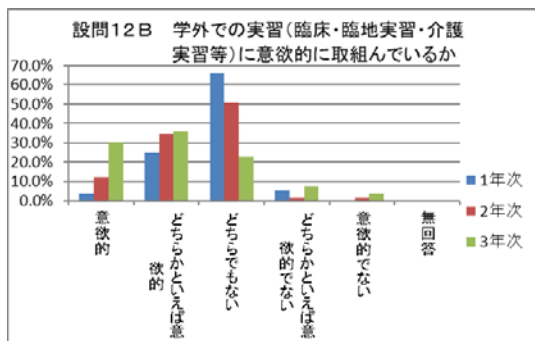


【保健福祉学科】

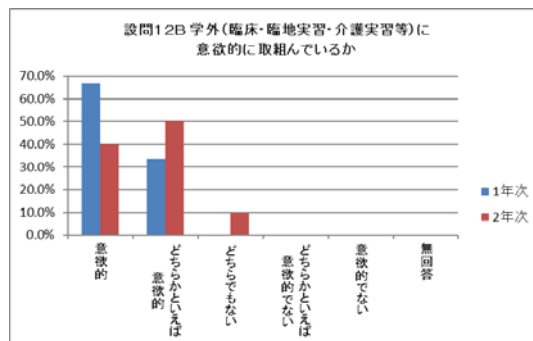


[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

【歯科衛生学科】

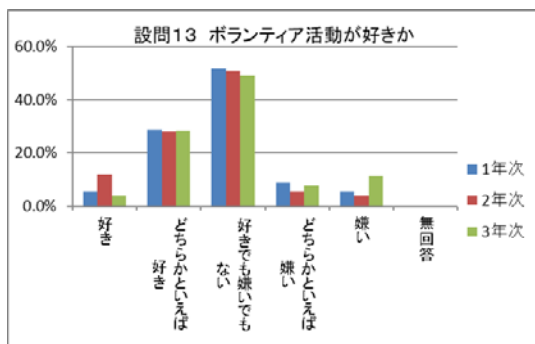


【保健福祉学科】

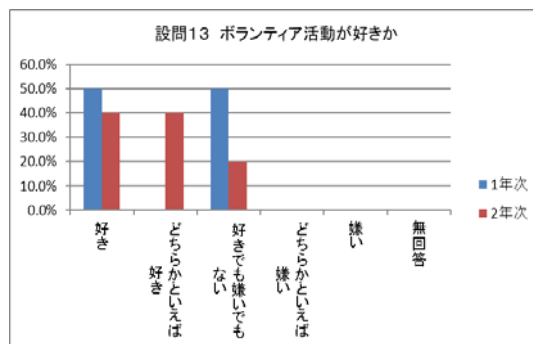


[13] ボランティア活動が好きか

【歯科衛生学科】

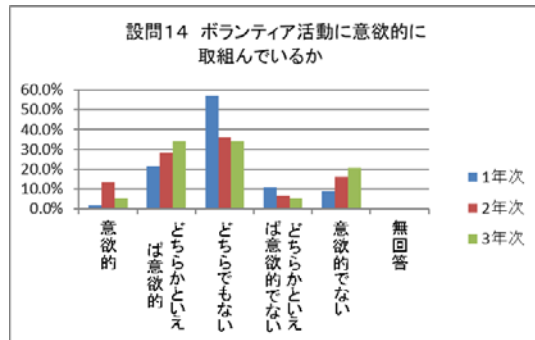


【保健福祉学科】

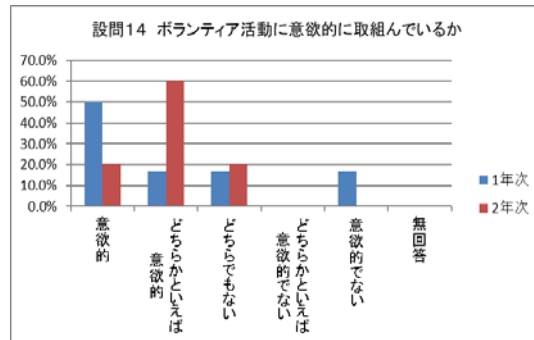


【14】 ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

【歯科衛生学科】



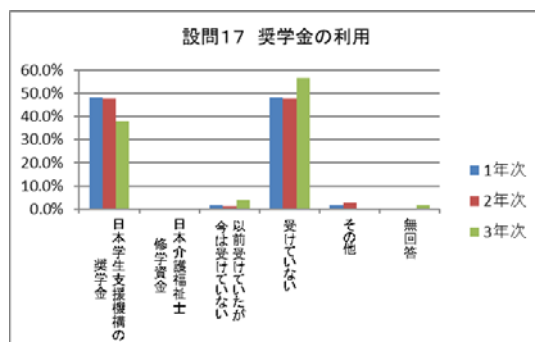
【保健福祉学科】



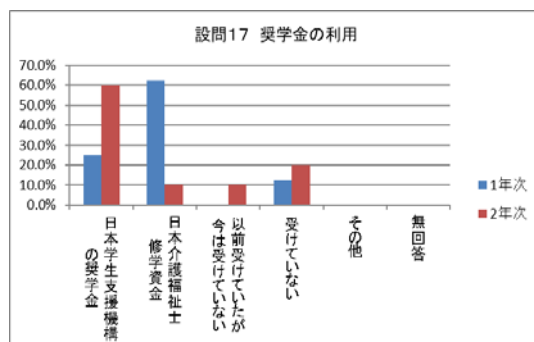
IV. 現在の学生生活について

【17】 奨学金の利用

【歯科衛生学科】



【保健福祉学科】

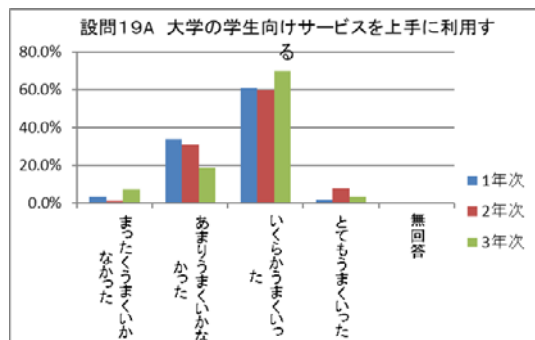


V. 大学生活に対する考えや満足度について

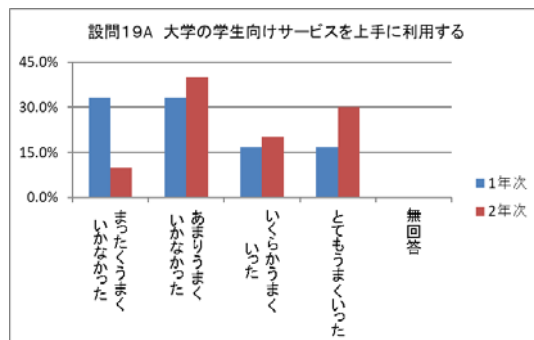
【19】 入学してからの大学生活への円滑な移行

A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する

【歯科衛生学科】

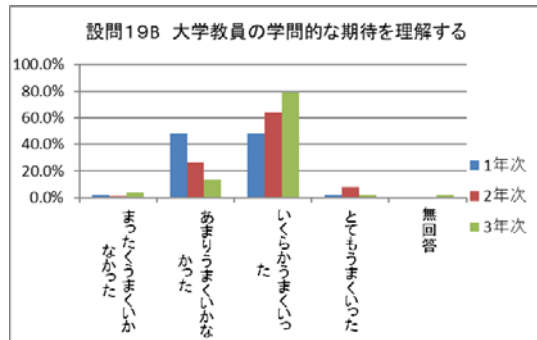


【保健福祉学科】

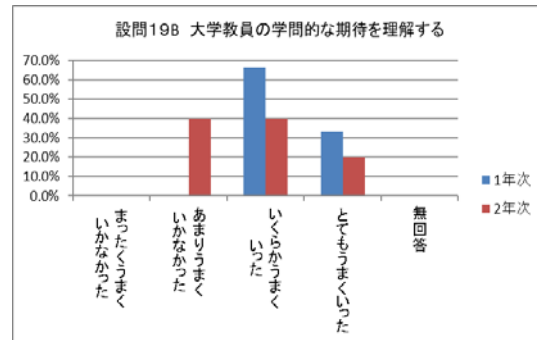


B. 大学教員の学問的な期待を理解する

【歯科衛生学科】

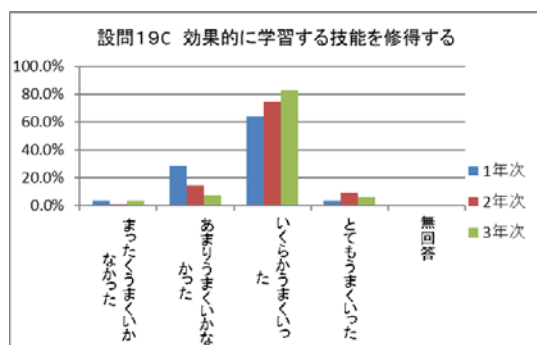


【保健福祉学科】

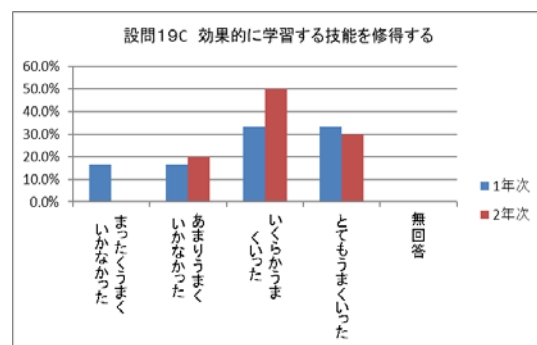


C. 効果的に学習する技能を修得する

【歯科衛生学科】

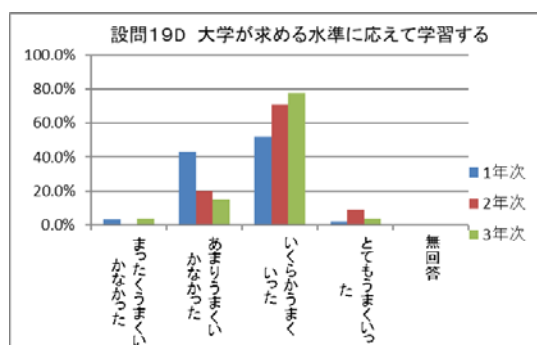


【保健福祉学科】

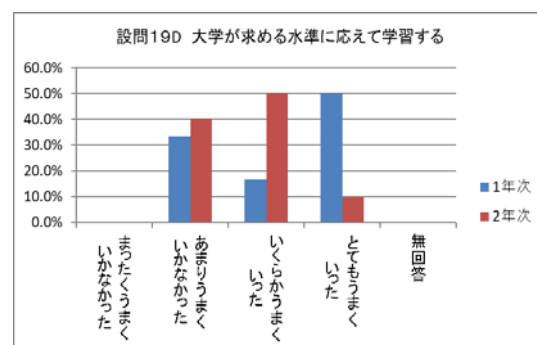


D. 大学が求める水準に応じて学習する

【歯科衛生学科】

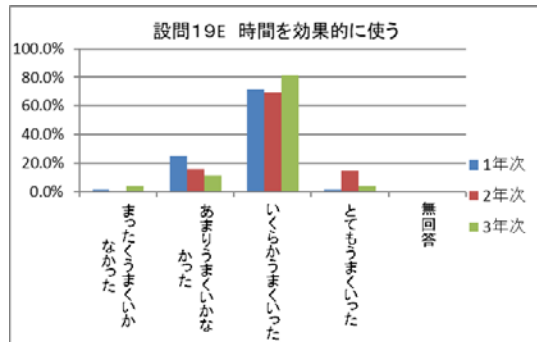


【保健福祉学科】

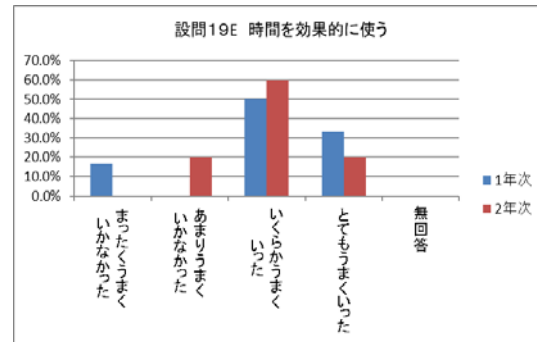


E. 時間を効果的に使う

【歯科衛生学科】

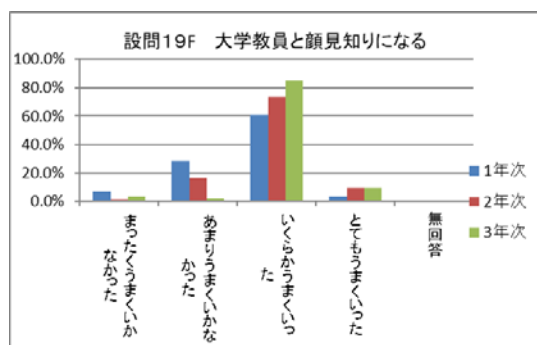


【保健福祉学科】

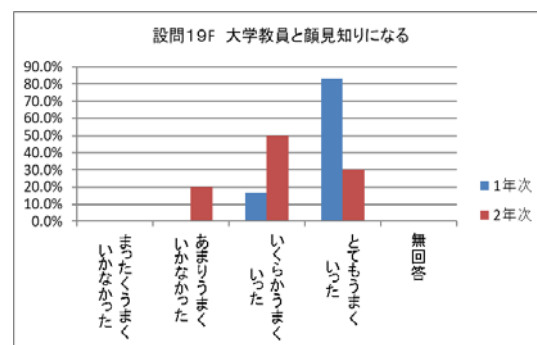


F. 大学教員と顔見知りになる

【歯科衛生学科】

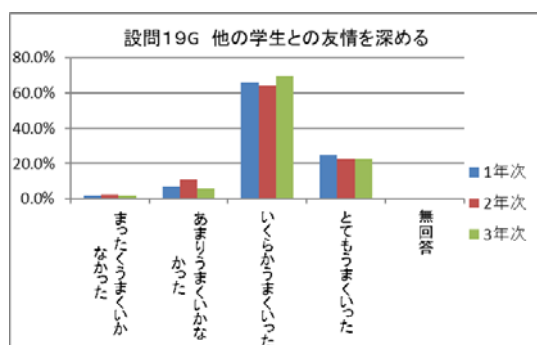


【保健福祉学科】

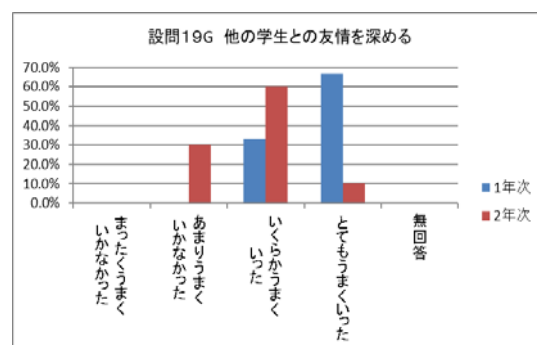


G. 他の学生との友情を深める

【歯科衛生学科】



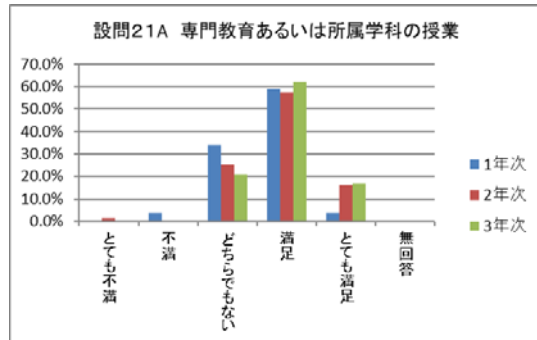
【保健福祉学科】



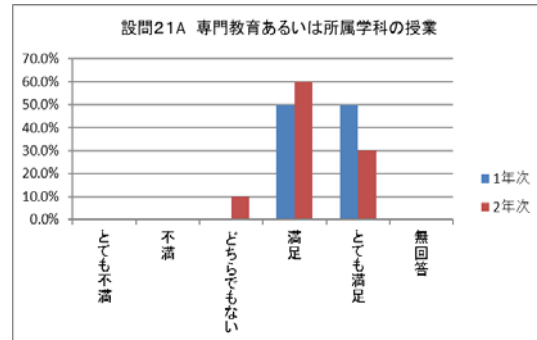
[21] 教育内容の満足度

A. 専門教育あるいは所属学科の授業

【歯科衛生学科】

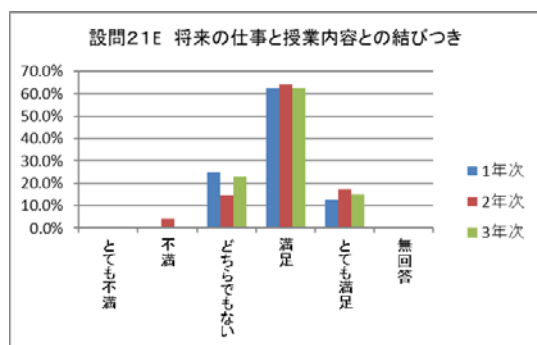


【保健福祉学科】

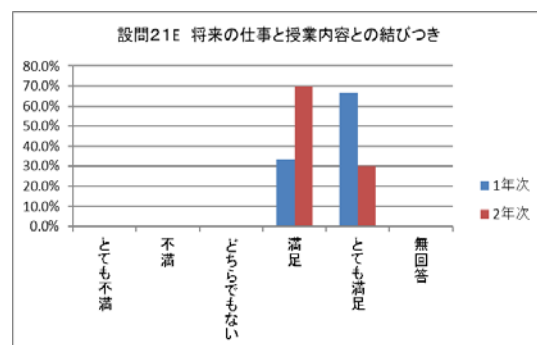


E. 将来の仕事と授業内容との結びつき

【歯科衛生学科】

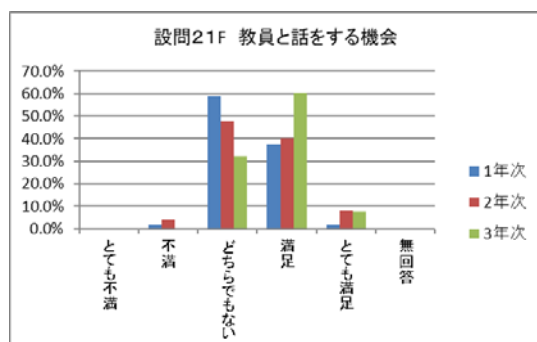


【保健福祉学科】

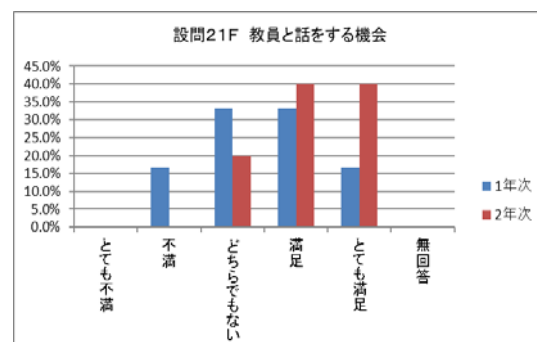


F. 教員と話をする機会

【歯科衛生学科】

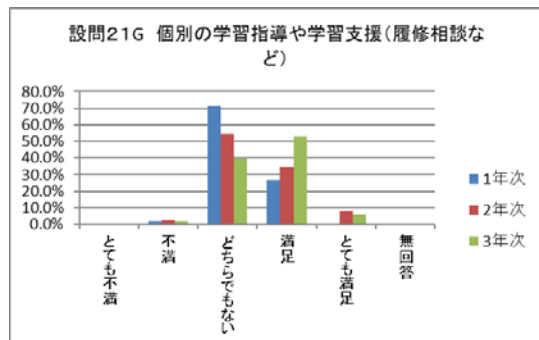


【保健福祉学科】

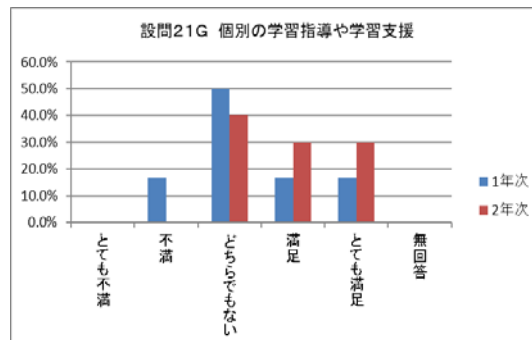


G. 個別の学習指導や学習支援(履修相談など)

【歯科衛生学科】

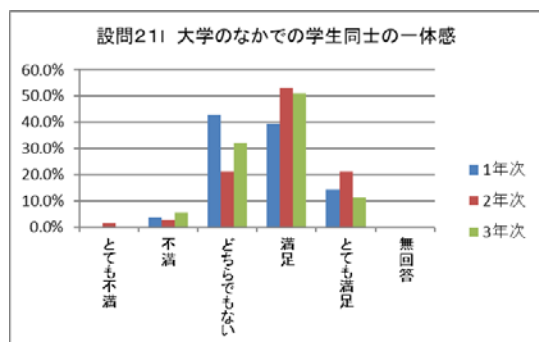


【保健福祉学科】

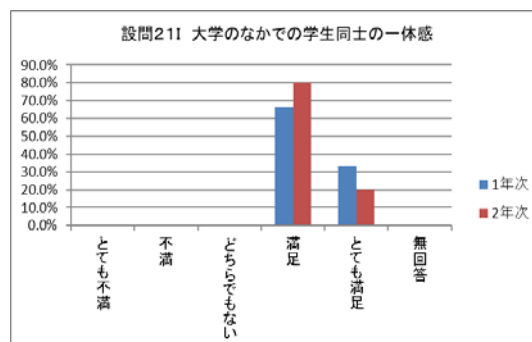


I. 大学のなかでの学生同士の一体感

【歯科衛生学科】



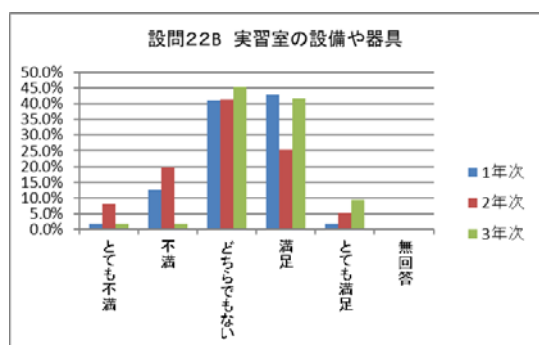
【保健福祉学科】



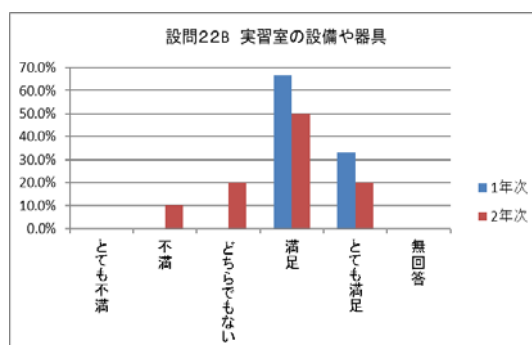
【22】 設備や学生支援制度の満足度

B. 実習室の設備や器具

【歯科衛生学科】

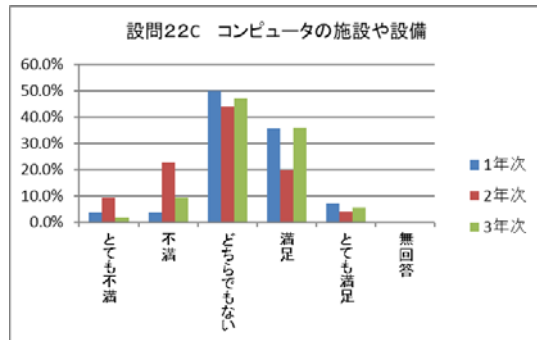


【保健福祉学科】

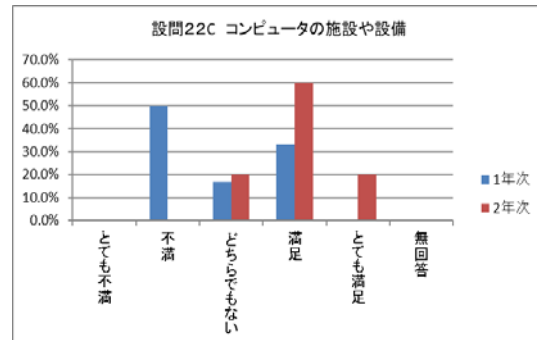


C. コンピュータの施設や設備

【歯科衛生学科】

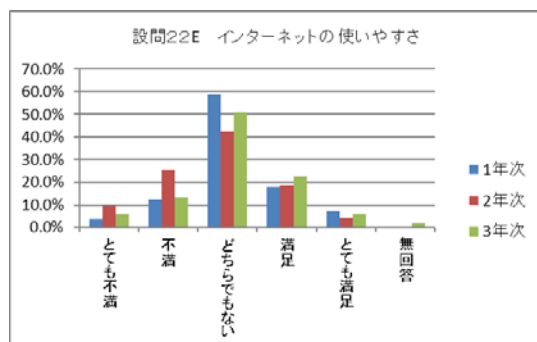


【保健福祉学科】

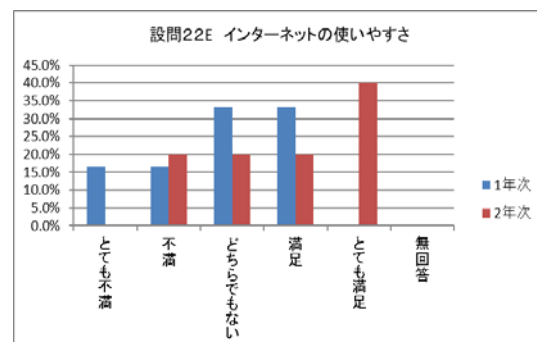


E. インターネットの使いやすさ

【歯科衛生学科】

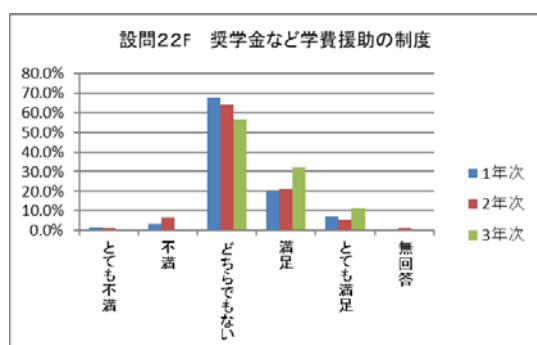


【保健福祉学科】

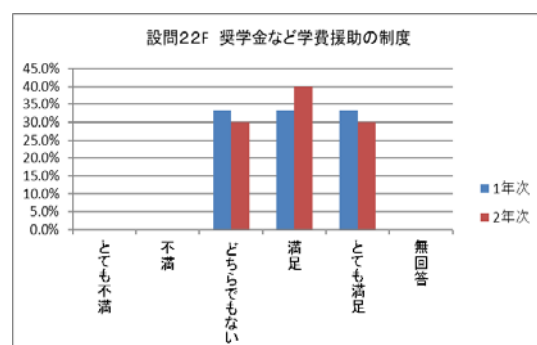


F. 奨学金など学費援助の制度

【歯科衛生学科】



【保健福祉学科】



福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2019 年

[歯科衛生学科 1 年次生 56/56 名]



学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査（測定）することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR（インスティテューショナル・リサーチ, institutional research）と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

2019 年 11 月 8 日実施

〔取組の趣旨〕

- ・本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- ・専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- ・その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

学生 ID 回答者：54 名 非回答者：2 名

＊今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学 1 年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を任意でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生学科：56 名
2. 保健福祉学科：00 名

[3] 性別

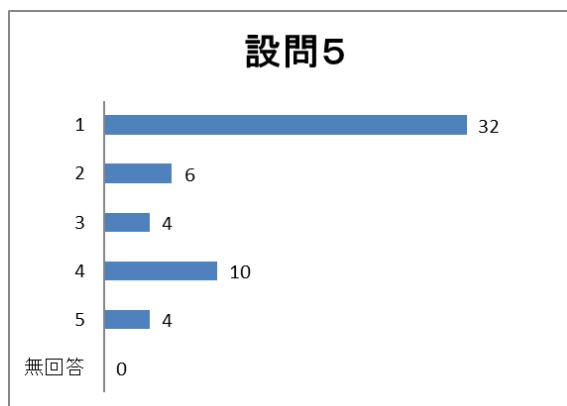
~~1.男性：0 名~~ 2.女性：56 名

[4] 2019 年 4 月 1 日の時点の年齢

18 歳：48 名 19 歳：05 名 21 歳：01 名 22 歳：01 名 24 歳：01 名

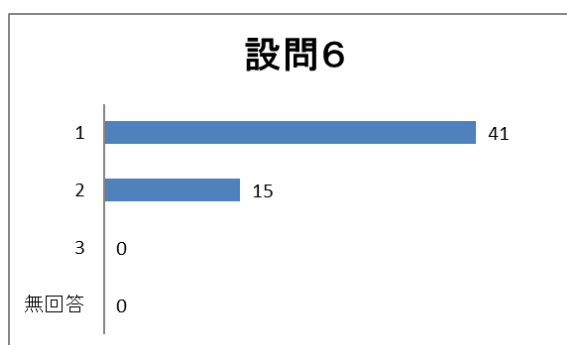
[5] 通学にかかる時間（片道）

1. 30 分未満
2. 30 分以上～1 時間未満
3. 1 時間以上～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分以上～2 時間未満
5. 2 時間以上



[6] 現在の住まい

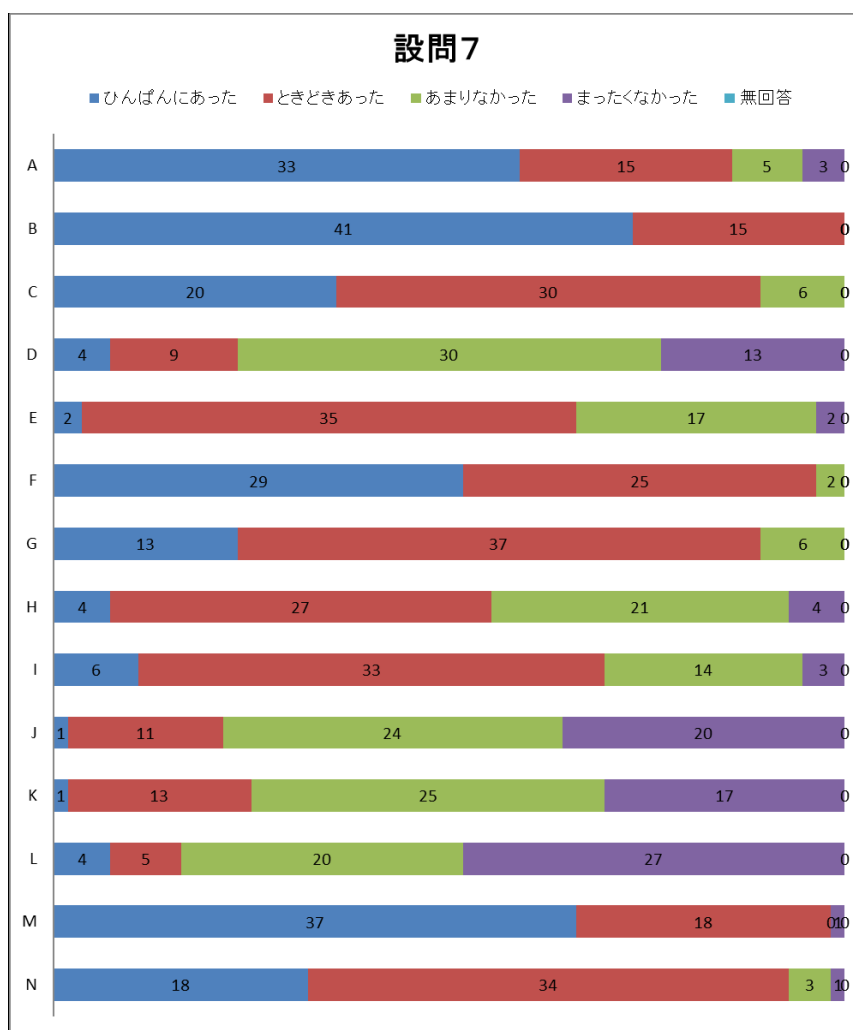
1. 家族または親戚と暮らしている
2. アパート・学生マンションでひとり暮らし
3. 大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

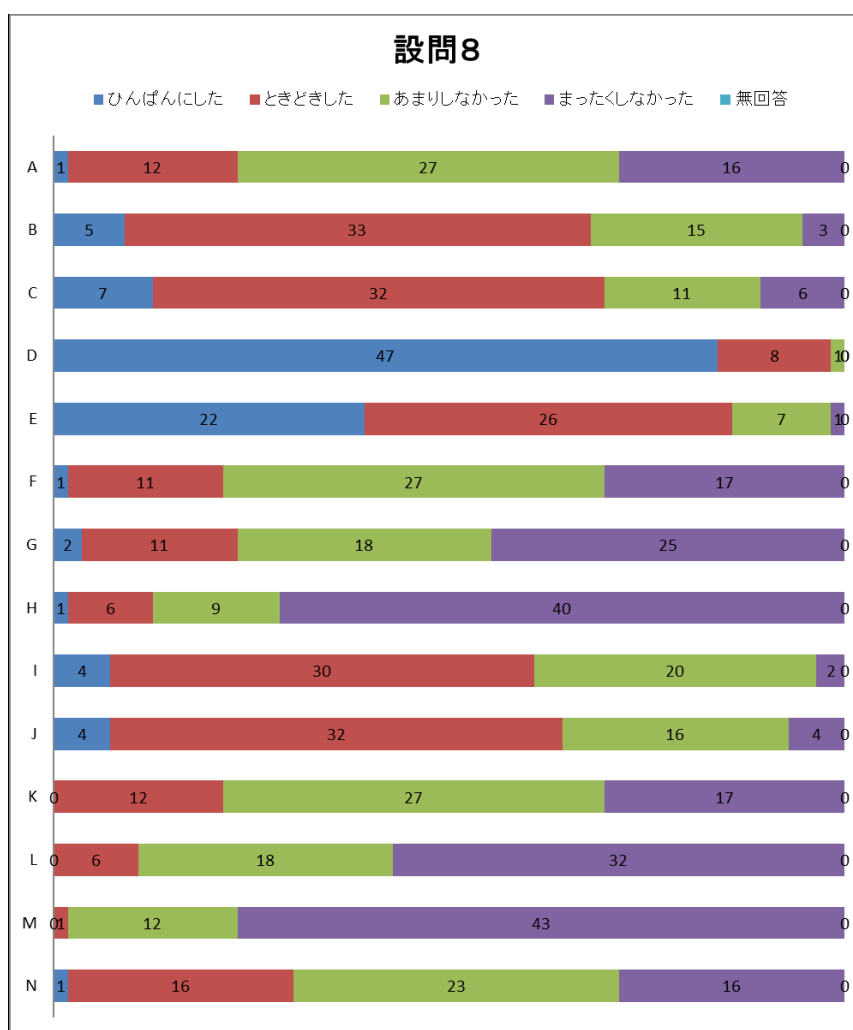
[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される
- N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成した
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィサーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- N. 教員に親近感を感じた

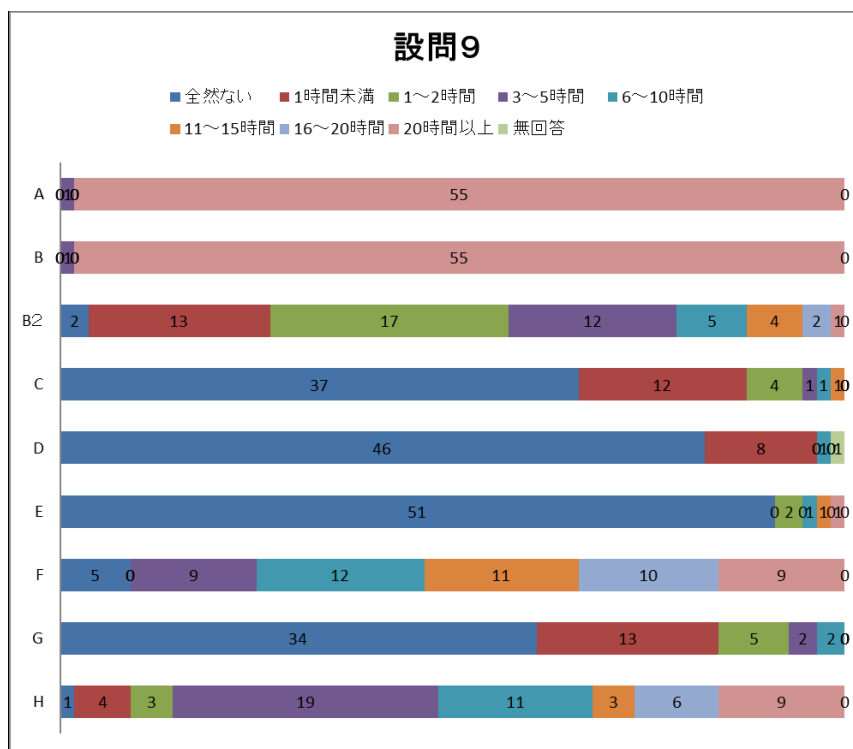


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
 B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
 B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
 C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
 D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
 E. 部活動や同好会に参加する
 F. 大学外でアルバイトや仕事をする
 G. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
 H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

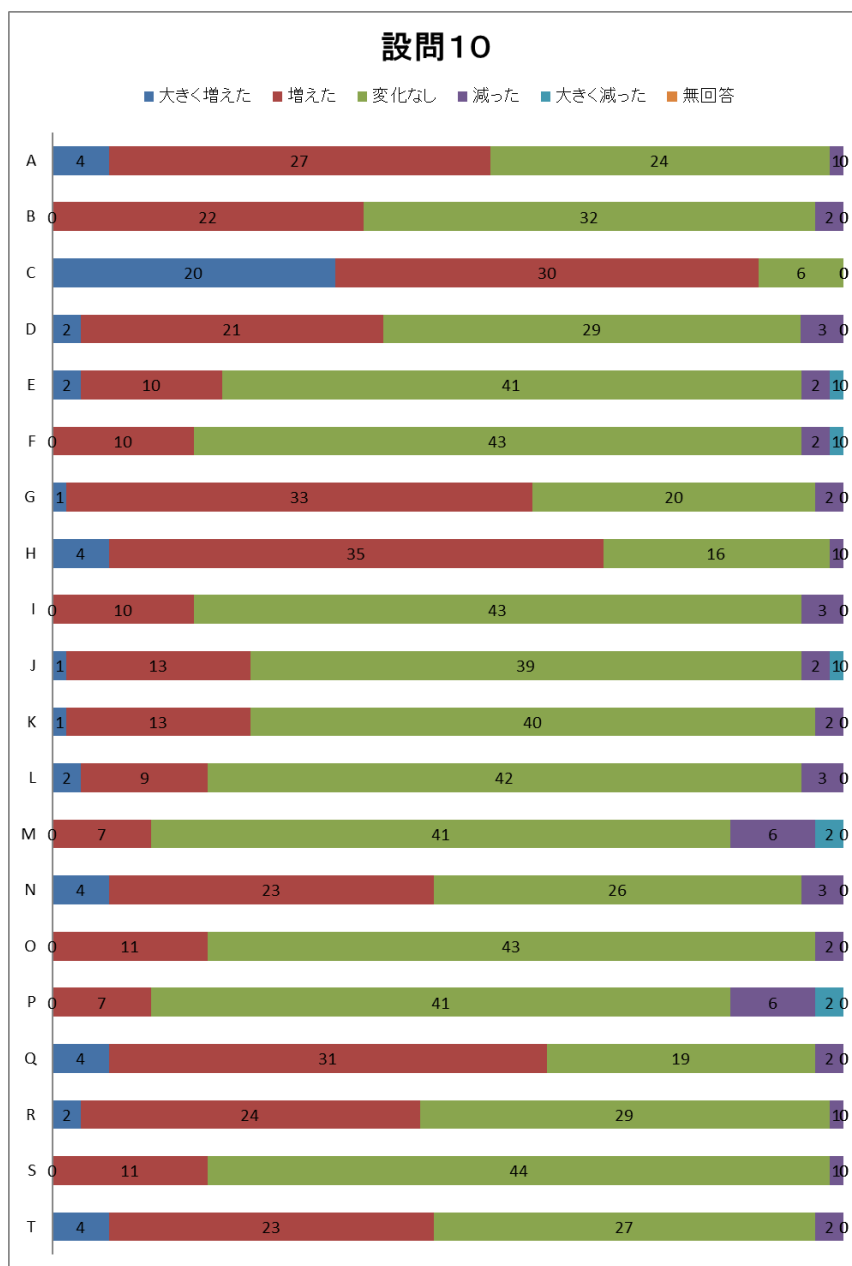
※時間の目安

- 1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

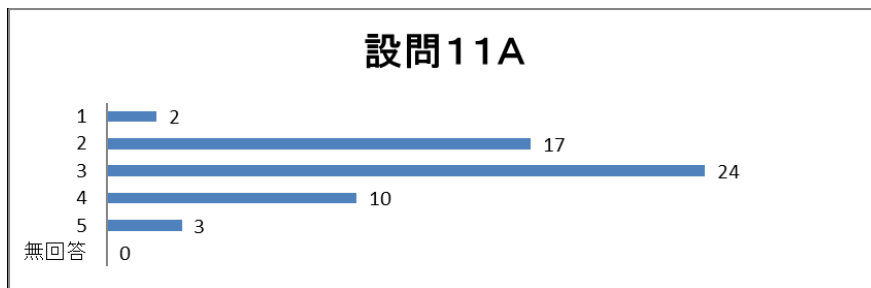
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| A. 一般的な教養 | K. 国民が直面する問題を理解する能力 |
| B. 分析力や問題解決能力 | L. 文章表現の能力 |
| C. 専門分野や学科の知識 | M. 外国語の運用能力 |
| D. 批判的に考える能力 | N. コミュニケーションの能力 |
| E. 異文化の人々に関する知識 | O. プレゼンテーションの能力 |
| F. リーダーシップの能力 | P. 数理的な能力 |
| G. 人間関係を構築する能力 | Q. コンピュータの操作能力 |
| H. 他の人と協力して物事を遂行する能力 | R. 時間を効果的に利用する能力 |
| I. 異文化の人々と協力する能力 | S. グローバルな問題の理解 |
| J. 地域社会が直面する問題を理解する能力 | T. 就職に向けての知識・技術力 |



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

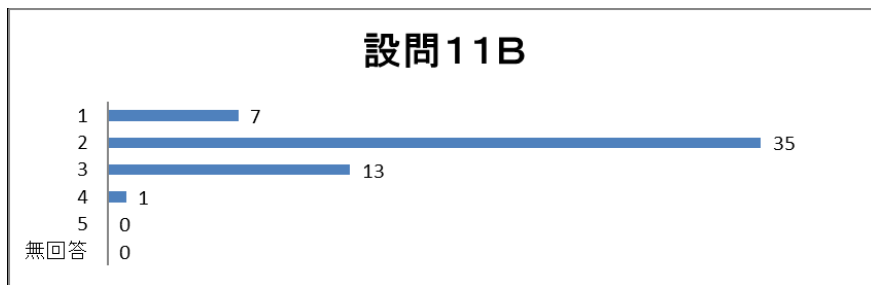
[11A] 学内の実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



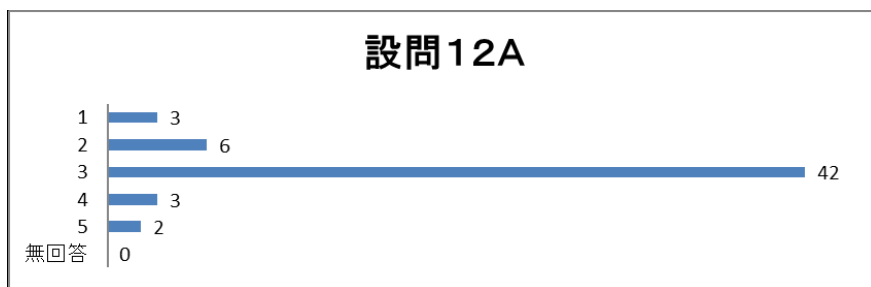
[11B] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



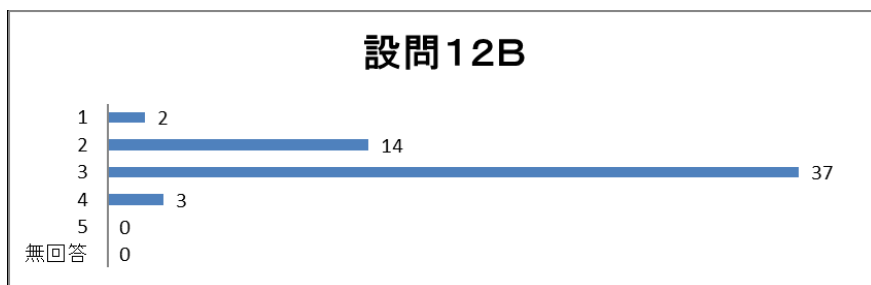
[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



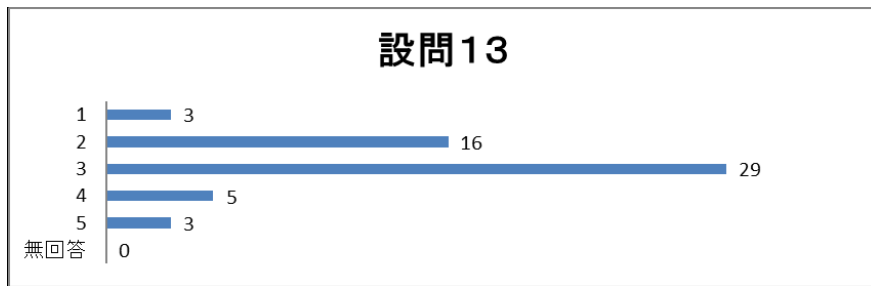
[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



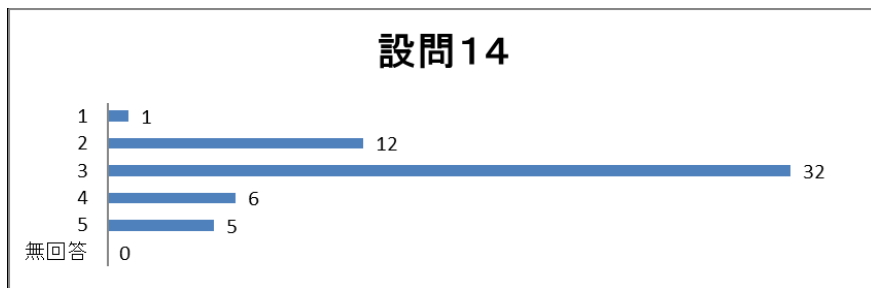
[13] ボランティア活動が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



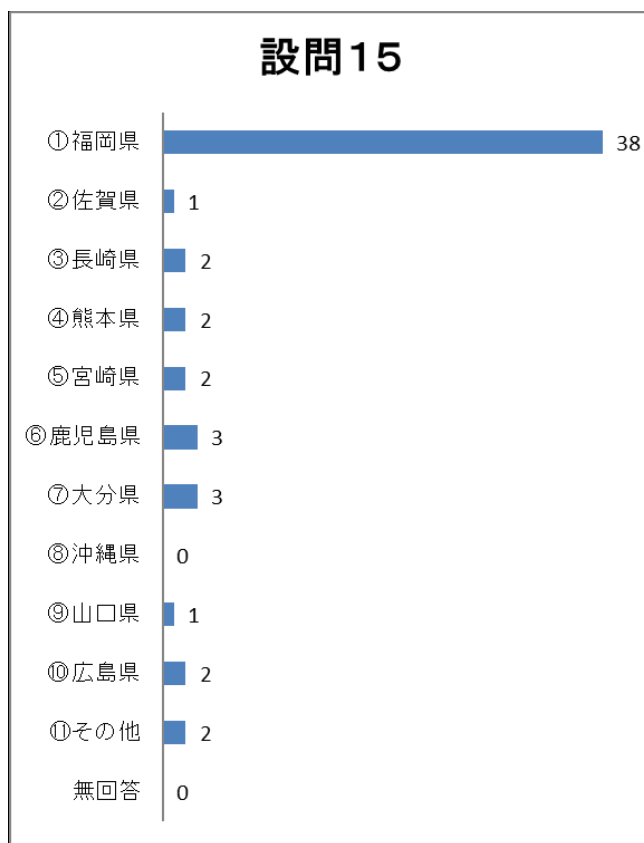
[14] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



IV. 現在の学生生活について

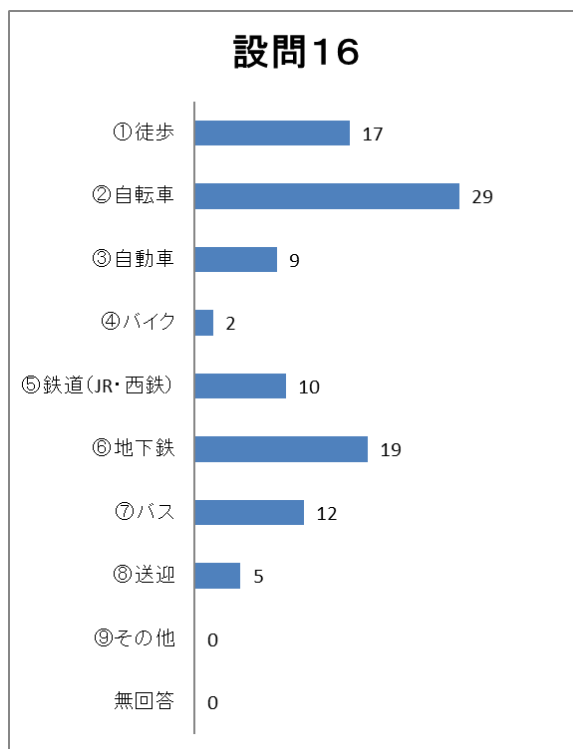
[15] 出身地



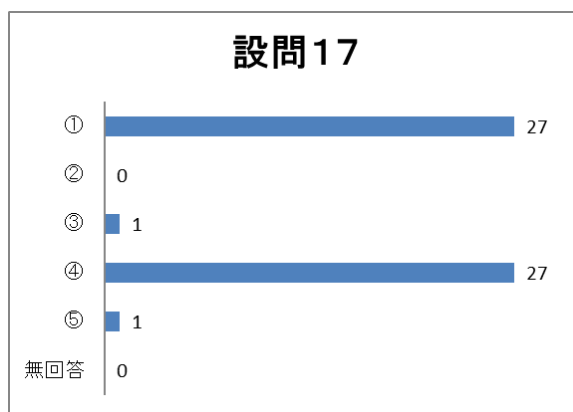
【その他の回答】

高知県：1名 香川県：1名

- [16] 大学までの交通手段
(当てはまるものすべてに○をつける)

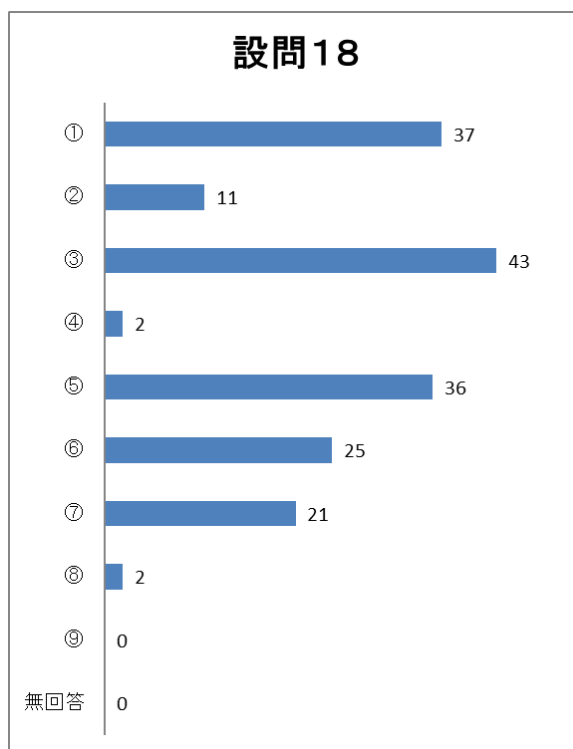


- [17] 奨学金の利用
- ①日本学生支援機構の奨学金
 - ②日本介護福祉士修学資金
 - ③以前受けていたが今は受けていない
 - ④受けていない
 - ⑤その他
- 地元の町の奨学金：1名



- [18] 大学生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

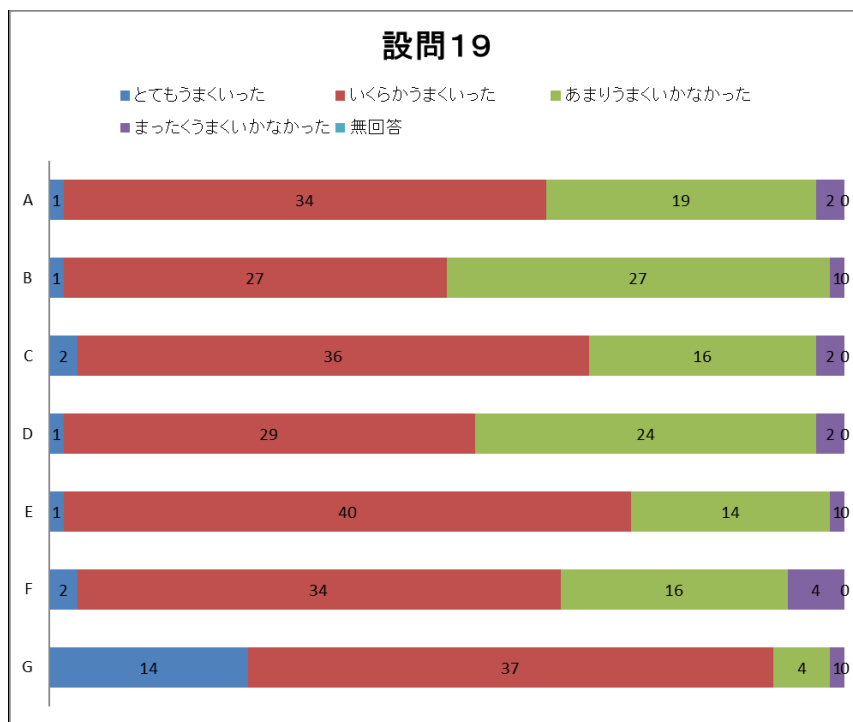
- ①専門的な研究や知識を身につける
- ②豊かな教養を身につける
- ③学歴や資格を得る
- ④クラブやサークルを楽しむ
- ⑤希望する職業に就く
- ⑥学生生活を楽しむ
- ⑦友達とのかかわりを楽しむ
- ⑧特に目的はない
- ⑨その他



V. 大学生活に対する考えや満足度について

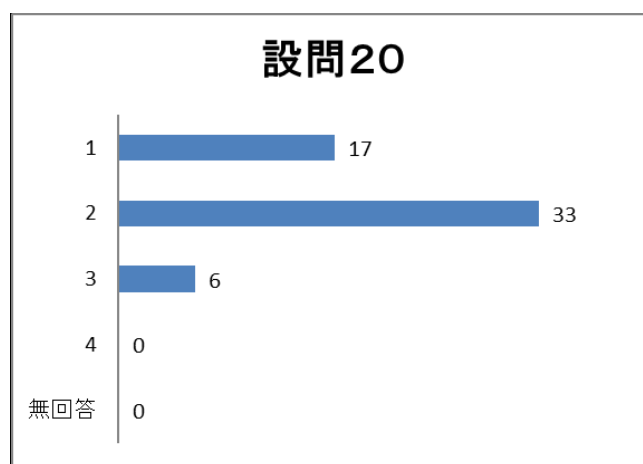
[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

- | | |
|------------------------|-----------------|
| A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する | E. 時間を効果的に使う |
| B. 大学教員の学問的な期待を理解する | F. 大学教員と顔見知りになる |
| C. 効果的に学習する技能を修得する | G. 他の学生との友情を深める |
| D. 大学が求める水準に応じて学習する | |



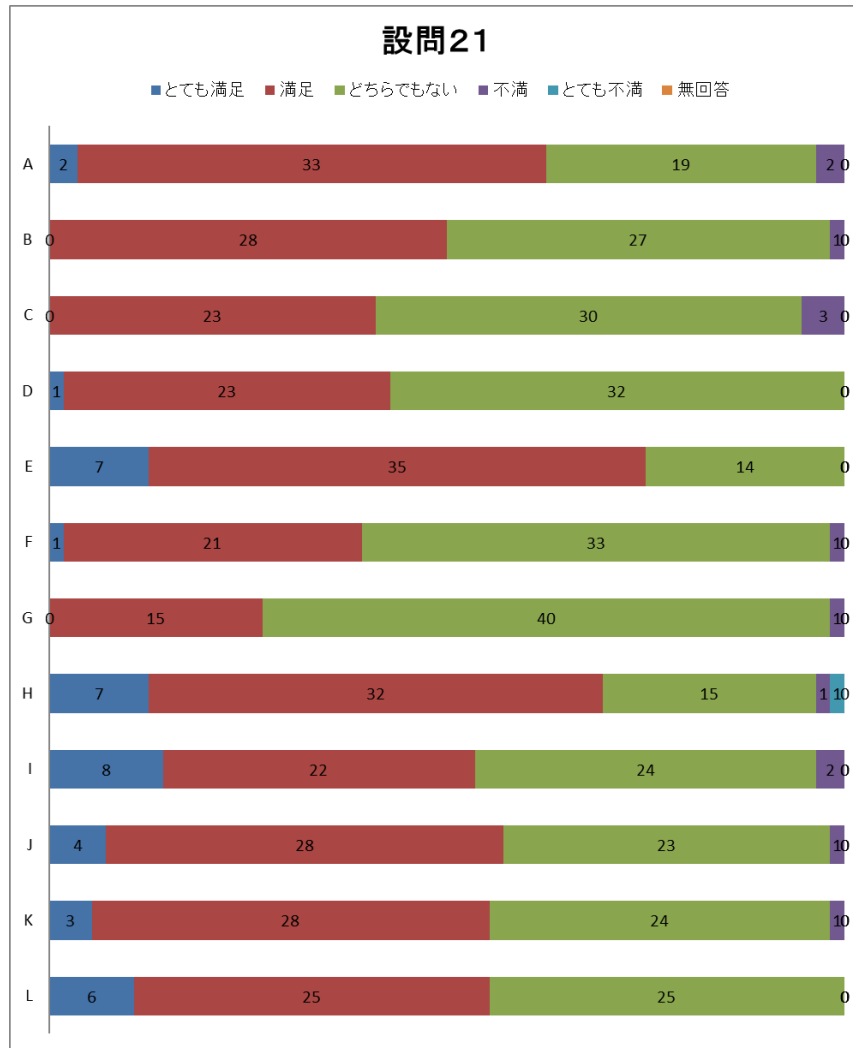
[20] 学生生活の充実

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |



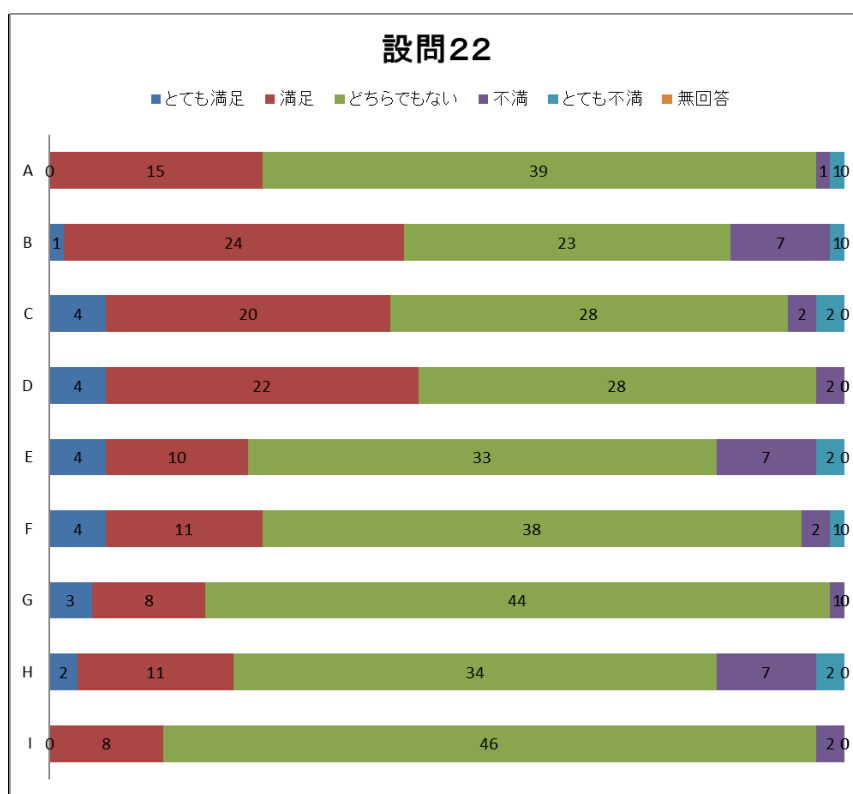
[21] 教育内容の満足度

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| A. 専門教育あるいは所属学科の授業 | G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など） |
| B. 所属学科の学内実習や学外実習
（臨床・臨地実習・介護実習等） | H. 他の学生と話す機会 |
| C. 授業の全体的な質 | I. 大学のなかでの学生同士の一体感 |
| D. 日常生活と授業内容との関連 | J. 多様な考え方を認め合う雰囲気 |
| E. 将来の仕事と授業内容との結びつき | K. 大学での経験全般について |
| F. 教員と話す機会 | L. 1つの授業を履修する学生数 |



[22] 設備や学生支援制度の満足度

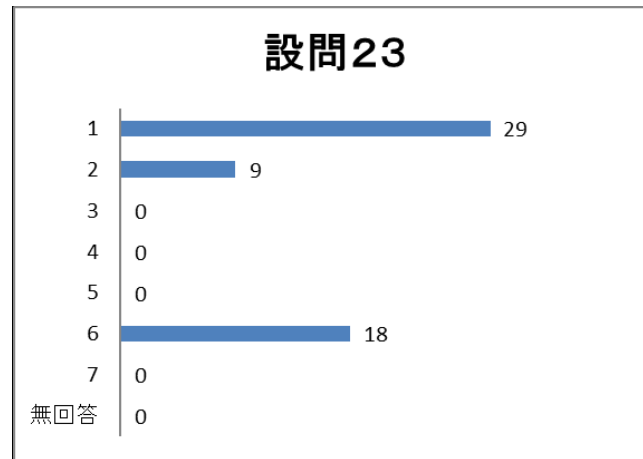
- A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

1. 就職する
2. 専攻科に就職する
3. 留学する
4. 他大学に（編）入学する
5. 専門学校に入学する
6. まだわからない
7. その他（具体的に）

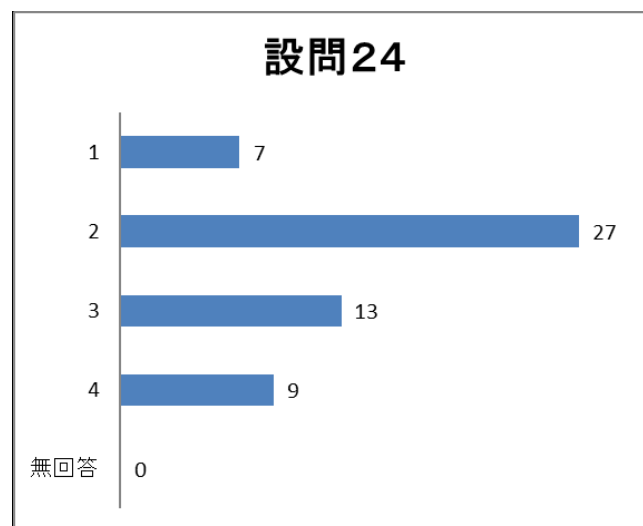


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

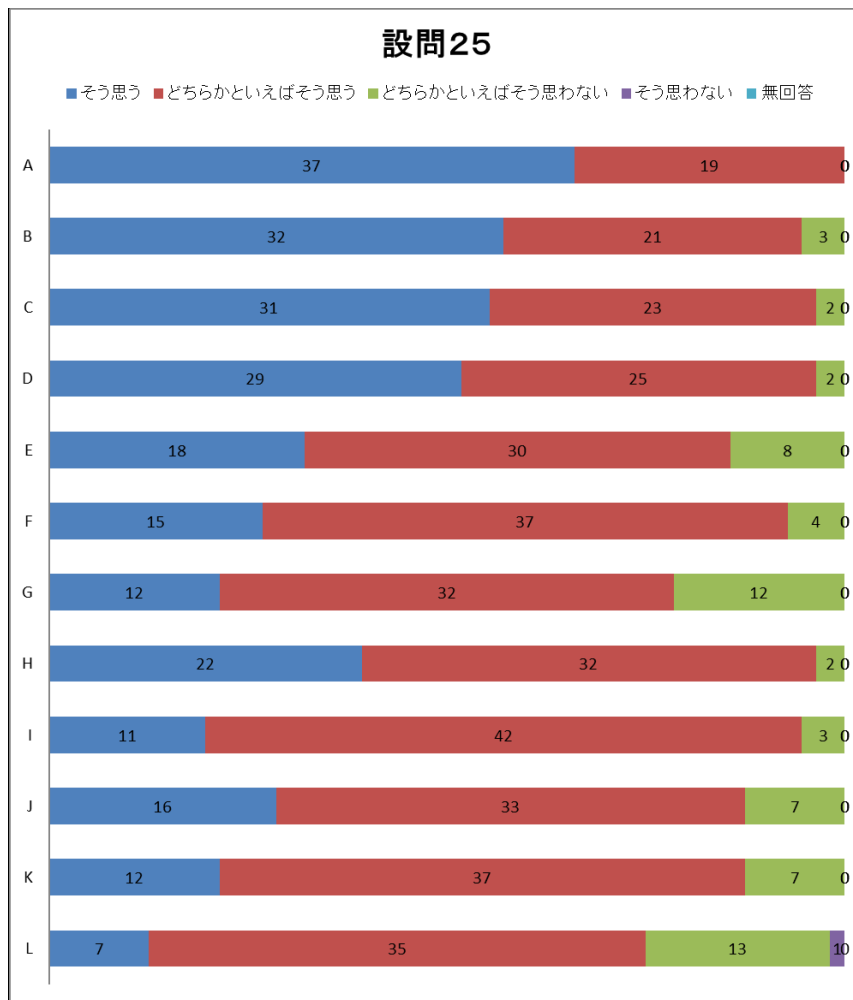
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
 - ・その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。
- あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない



[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- A. 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- C. 職業意識の形成につながる教育を受ける
- D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2019 年

[歯科衛生学科 2 年次生 75/75 名]



学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査（測定）することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR（インスティテューショナル・リサーチ, institutional research）と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

2019 年 11 月 6 日実施

[取組の趣旨]

- 本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- 専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

学生 ID 回答者：62 名 非回答者：13 名

＊今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学 1 年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を任意でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生学科：75 名
2. 保健福祉学科：00 名

[3] 性別

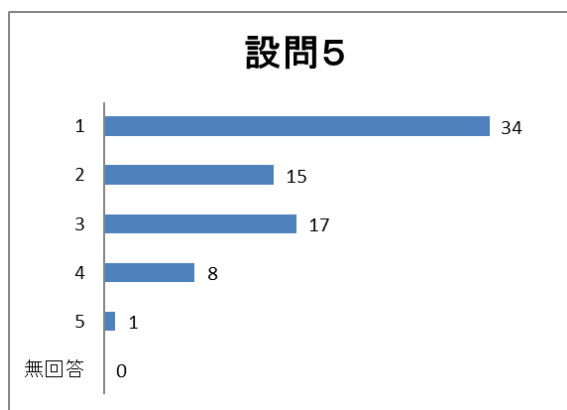
~~1.男性：0 名~~ 2.女性：75 名

[4] 2019 年 4 月 1 日の時点の年齢

19 歳：54 名 20 歳：15 名 21 歳：02 名 22 歳：01 名 29 歳：01 名
31 歳：01 名 49 歳：01 名

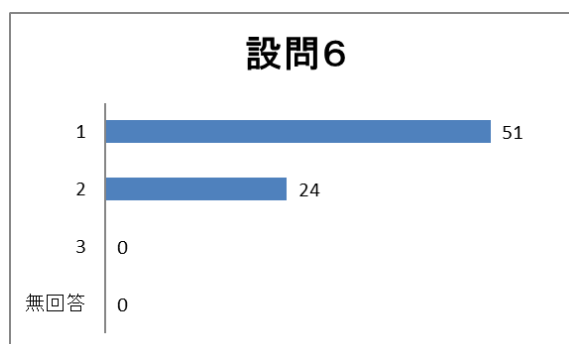
[5] 通学にかかる時間（片道）

1. 30 分未満
2. 30 分以上～1 時間未満
3. 1 時間以上～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分以上～2 時間未満
5. 2 時間以上



[6] 現在の住まい

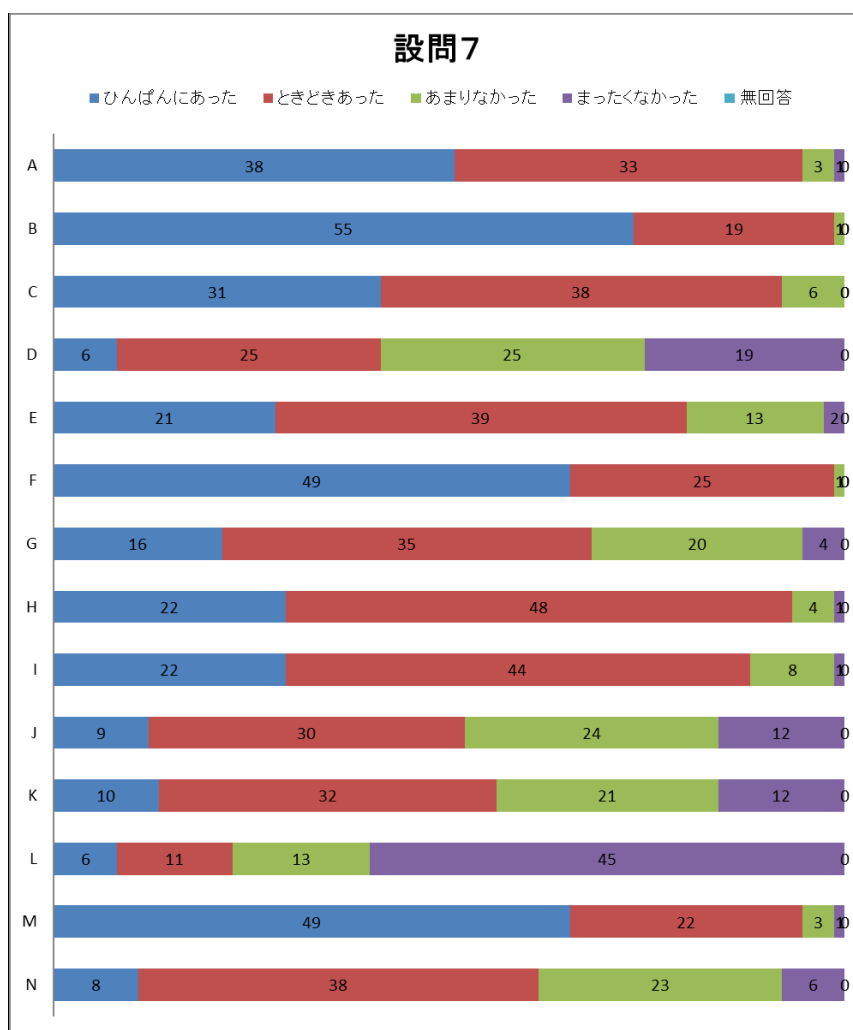
1. 家族または親戚と暮らしている
2. アパート・学生マンションでひとり暮らし
3. 大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

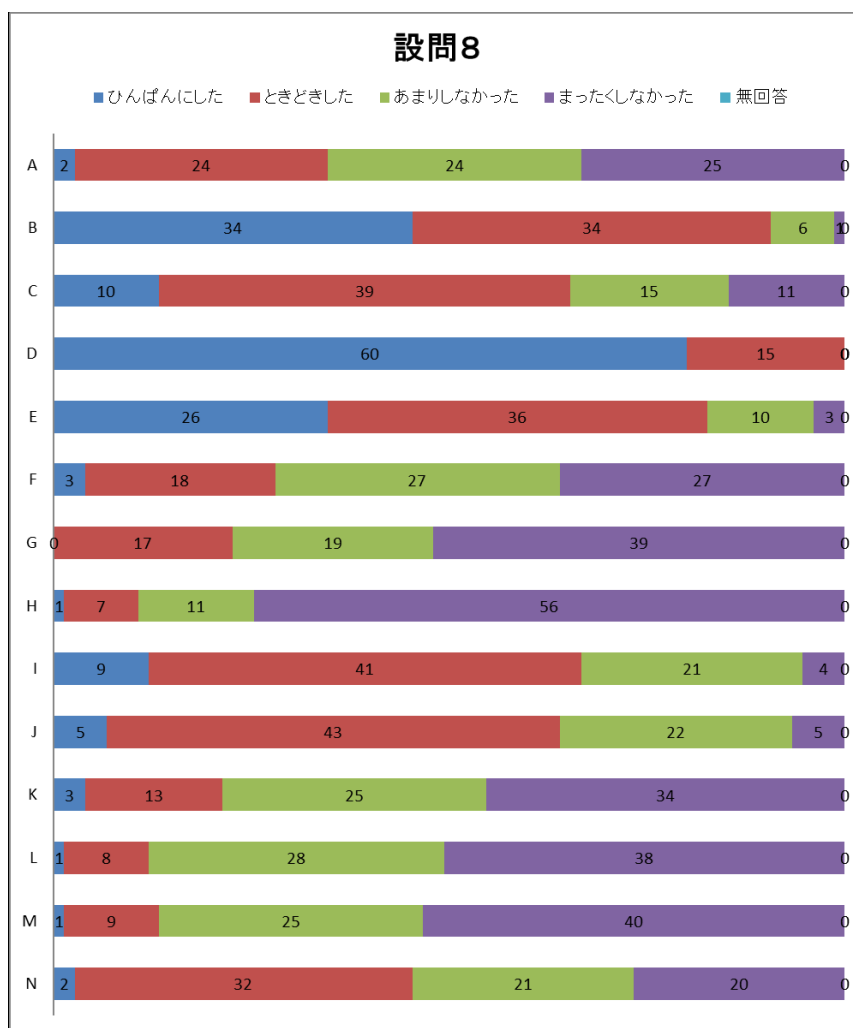
[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される
- N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成した
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィサーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- N. 教員に親近感を感じた

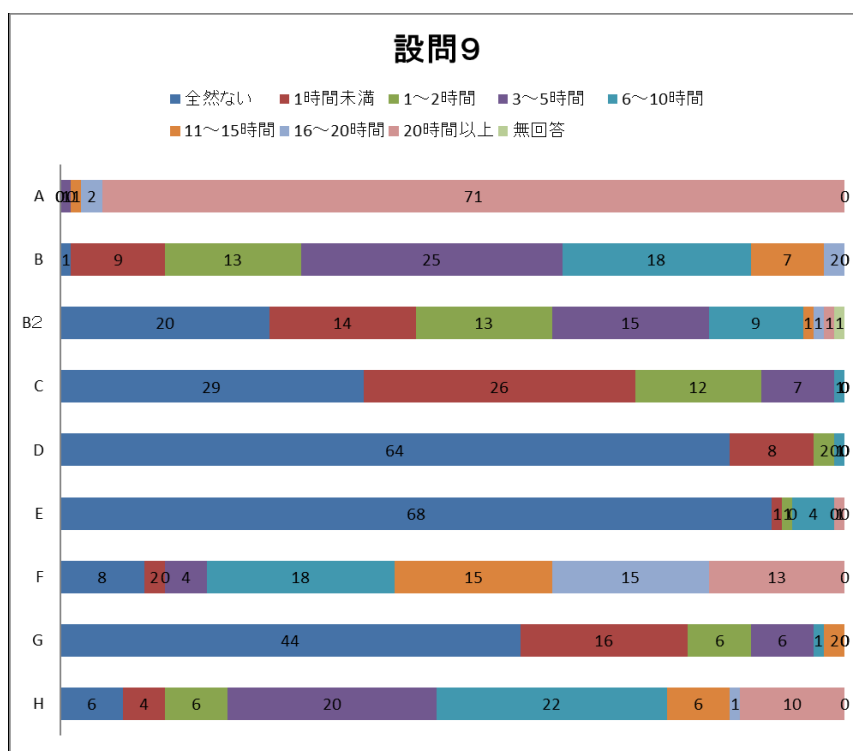


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
 B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
 B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
 C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
 D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
 E. 部活動や同好会に参加する
 F. 大学外でアルバイトや仕事をする
 G. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
 H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

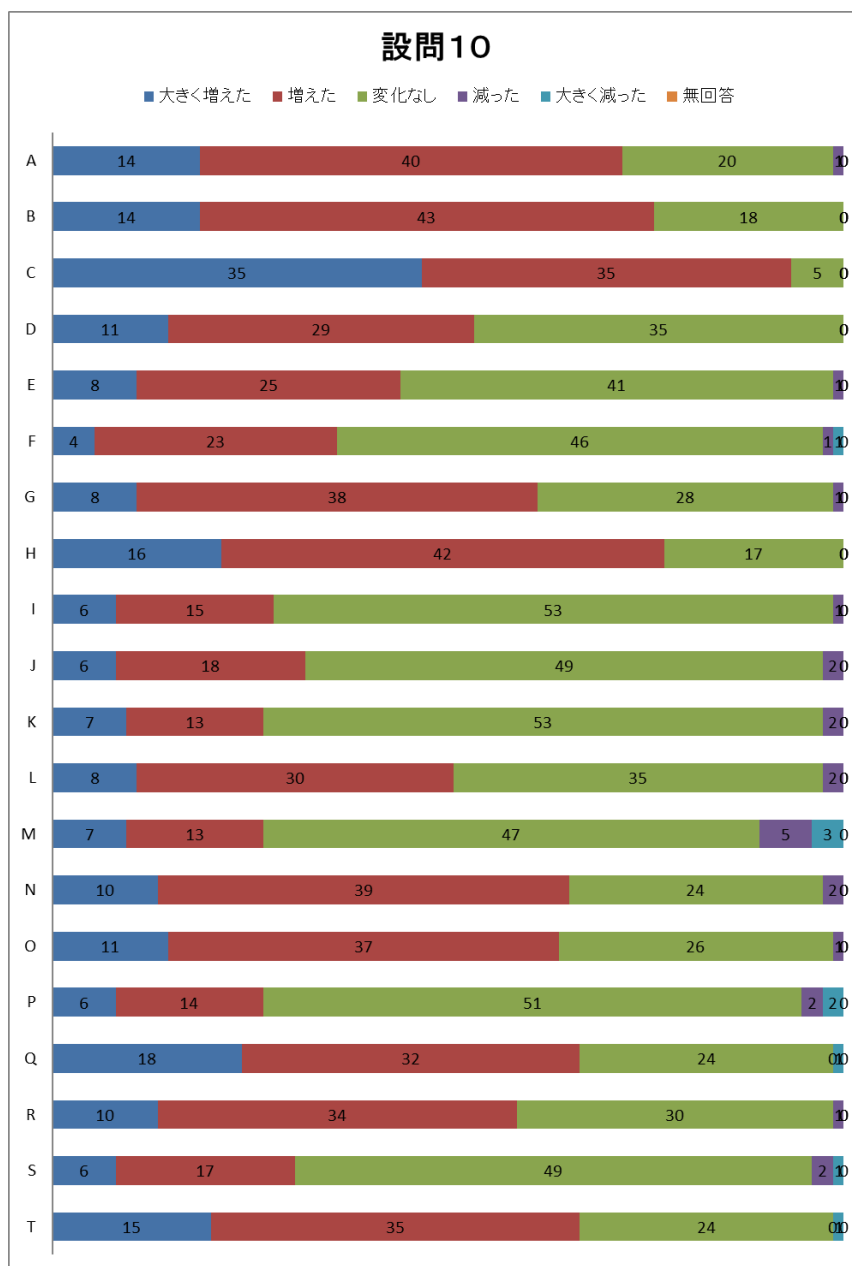
※時間の目安

- 1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

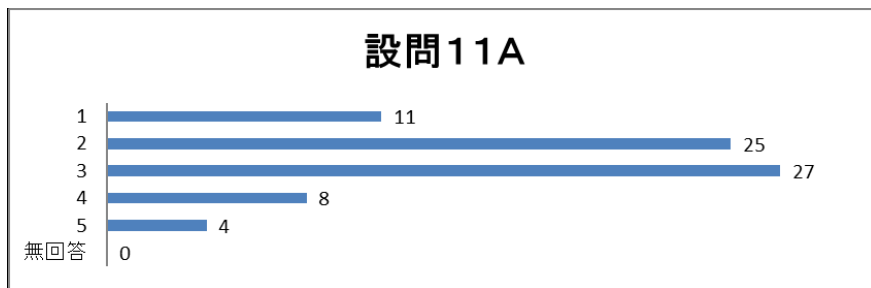
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| A. 一般的な教養 | K. 国民が直面する問題を理解する能力 |
| B. 分析力や問題解決能力 | L. 文章表現の能力 |
| C. 専門分野や学科の知識 | M. 外国語の運用能力 |
| D. 批判的に考える能力 | N. コミュニケーションの能力 |
| E. 異文化の人々に関する知識 | O. プレゼンテーションの能力 |
| F. リーダーシップの能力 | P. 数理的な能力 |
| G. 人間関係を構築する能力 | Q. コンピュータの操作能力 |
| H. 他の人と協力して物事を遂行する能力 | R. 時間を効果的に利用する能力 |
| I. 異文化の人々と協力する能力 | S. グローバルな問題の理解 |
| J. 地域社会が直面する問題を理解する能力 | T. 就職に向けての知識・技術力 |



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

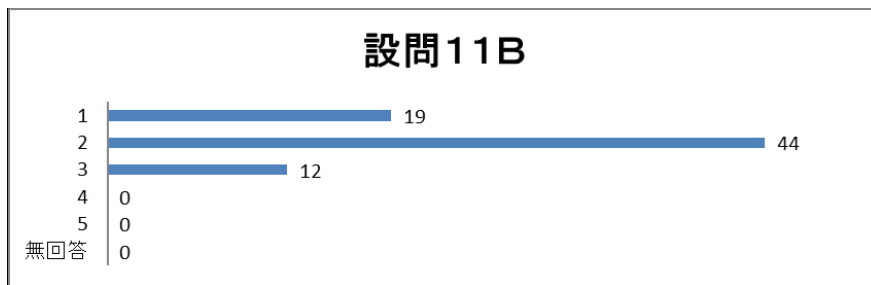
[11A] 学内の実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



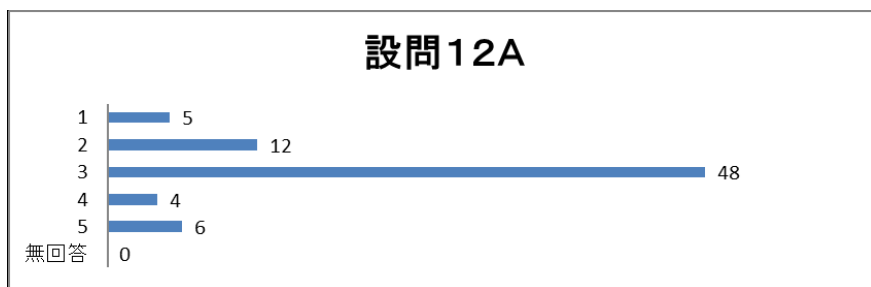
[11B] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



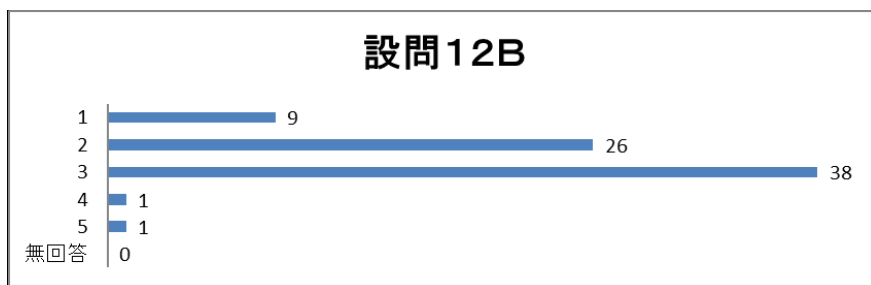
[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



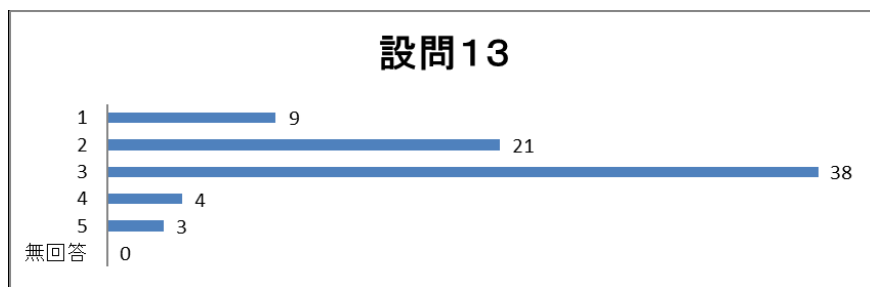
[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



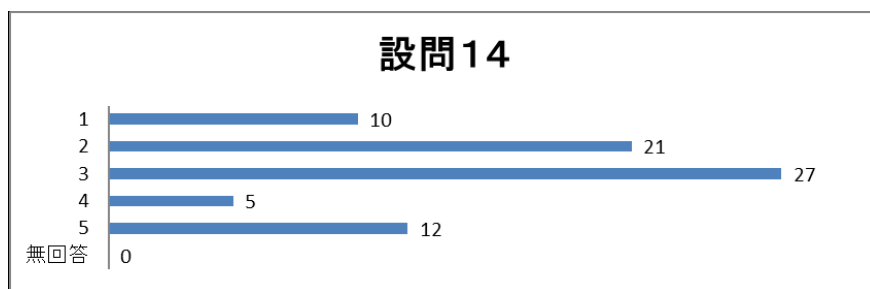
[13] ボランティア活動が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



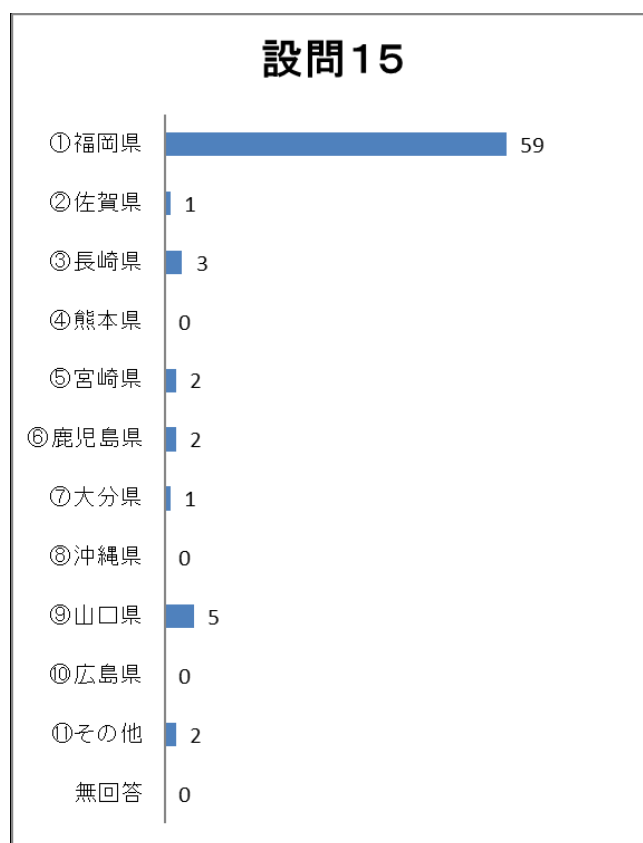
[14] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



IV. 現在の学生生活について

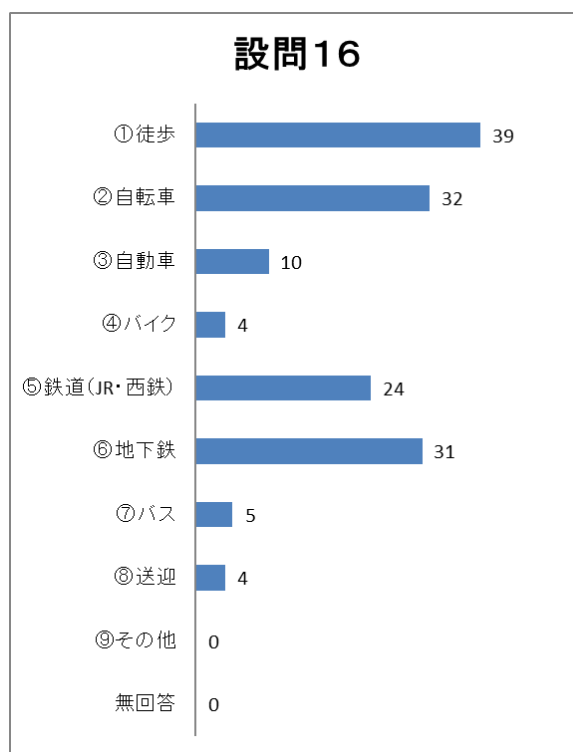
[15] 出身地



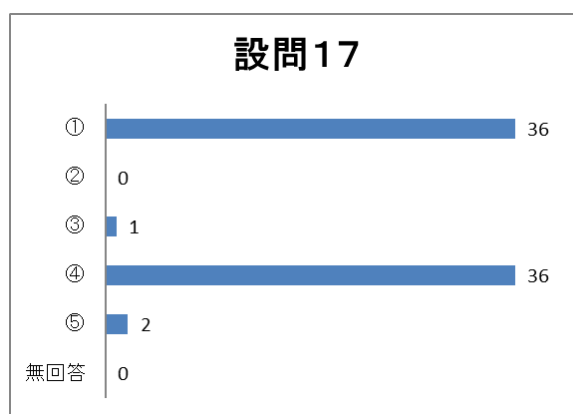
【その他の回答】

兵庫県：1名 島根県：1名

- [16] 大学までの交通手段
(当てはまるものすべてに○をつける)

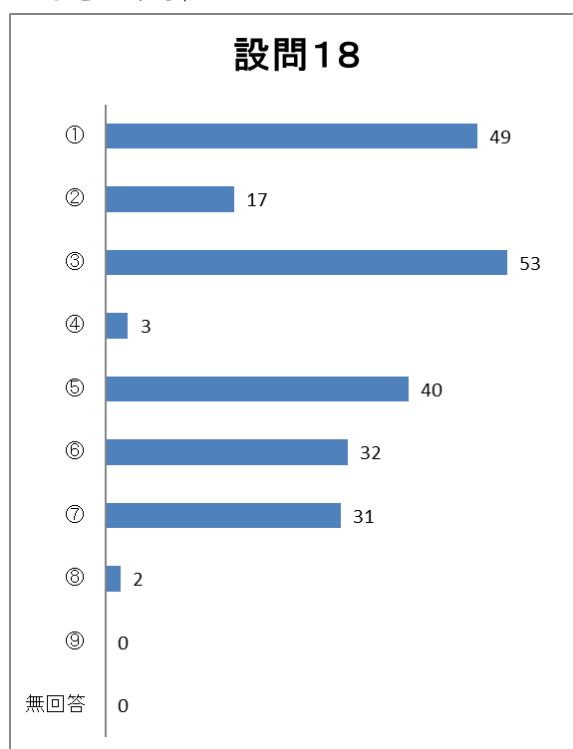


- [17] 奨学金の利用
- ① 日本学生支援機構の奨学金
 - ② 日本介護福祉士修学資金
 - ③ 以前受けていたが今は受けていない
 - ④ 受けていない
 - ⑤ その他
- 県の福祉 : 1 名
山口県ひとづくり支援 : 1 名



- [18] 大学生生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

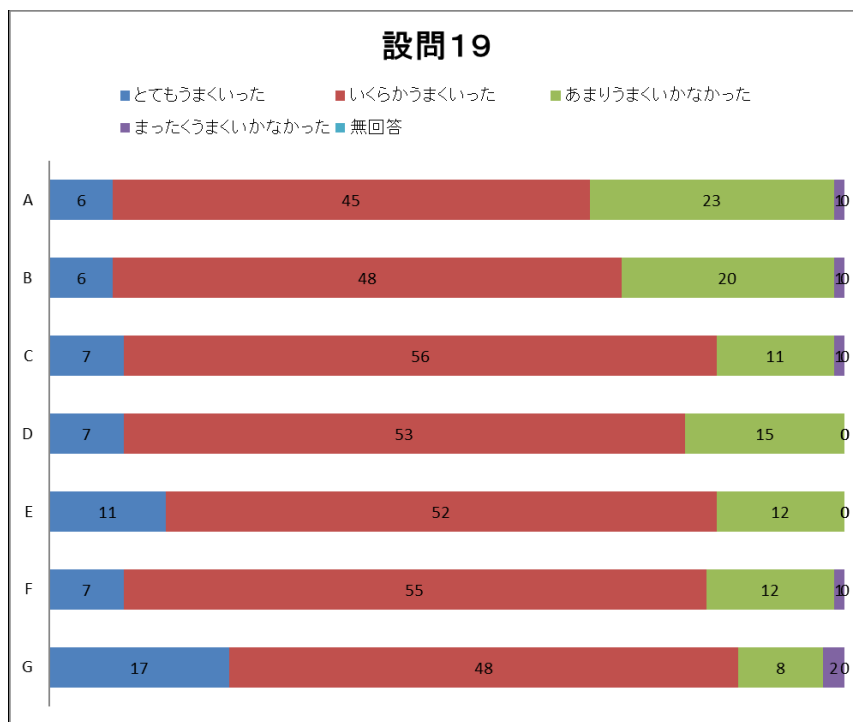
- ① 専門的な研究や知識を身につける
- ② 豊かな教養を身につける
- ③ 学歴や資格を得る
- ④ クラブやサークルを楽しむ
- ⑤ 希望する職業に就く
- ⑥ 学生生活を楽しむ
- ⑦ 友達とのかかわりを楽しむ
- ⑧ 特に目的はない
- ⑨ その他



V. 大学生活に対する考えや満足度について

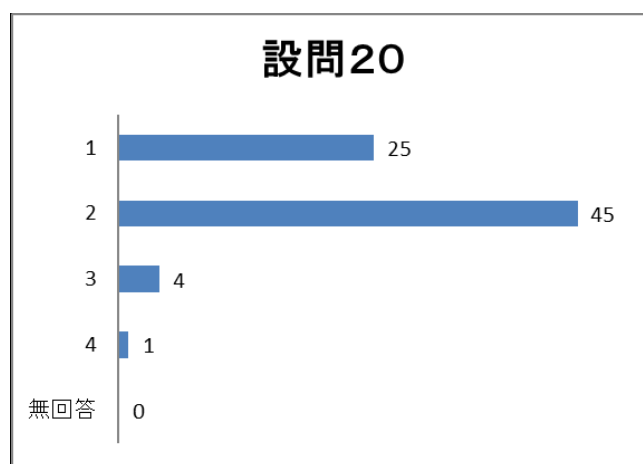
[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

- | | |
|------------------------|-----------------|
| A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する | E. 時間を効果的に使う |
| B. 大学教員の学問的な期待を理解する | F. 大学教員と顔見知りになる |
| C. 効果的に学習する技能を修得する | G. 他の学生との友情を深める |
| D. 大学が求める水準に応じて学習する | |



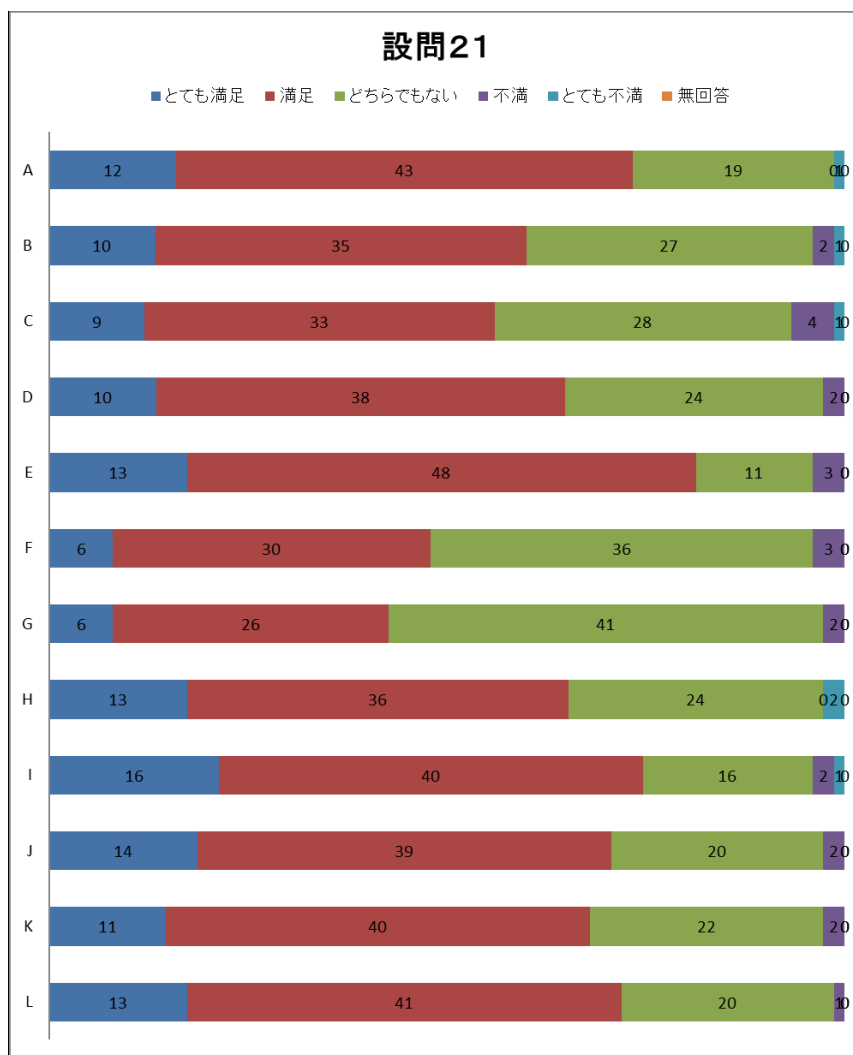
[20] 学生生活の充実

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |



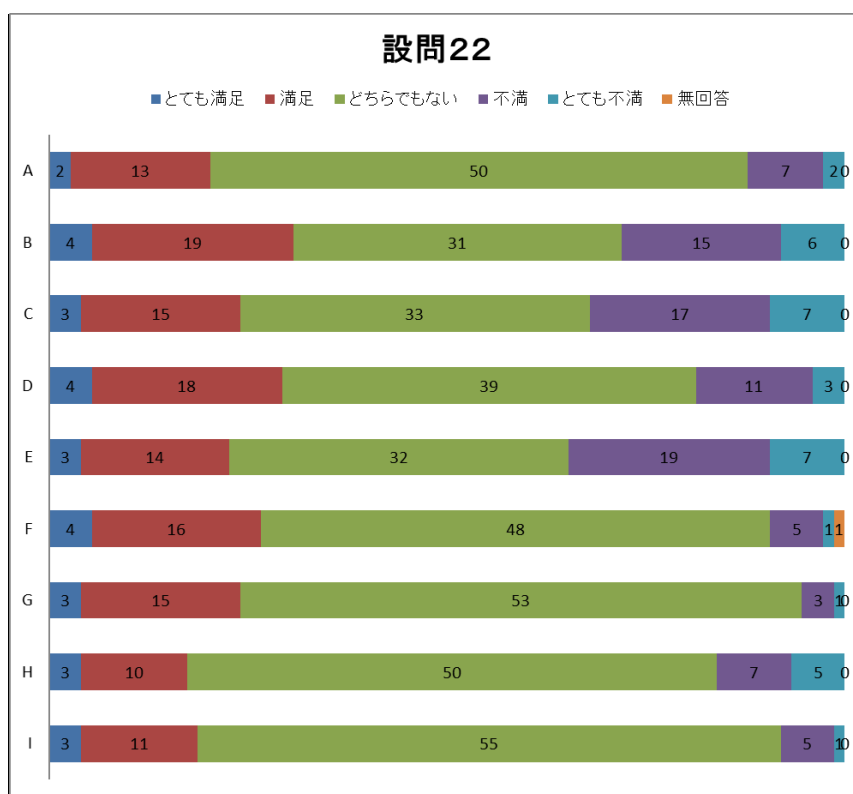
[21] 教育内容の満足度

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| A. 専門教育あるいは所属学科の授業 | G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など） |
| B. 所属学科の学内実習や学外実習
（臨床・臨地実習・介護実習等） | H. 他の学生と話をする機会 |
| C. 授業の全体的な質 | I. 大学のなかでの学生同士の一体感 |
| D. 日常生活と授業内容との関連 | J. 多様な考え方を認め合う雰囲気 |
| E. 将来の仕事と授業内容との結びつき | K. 大学での経験全般について |
| F. 教員と話をする機会 | L. 1つの授業を履修する学生数 |



[22] 設備や学生支援制度の満足度

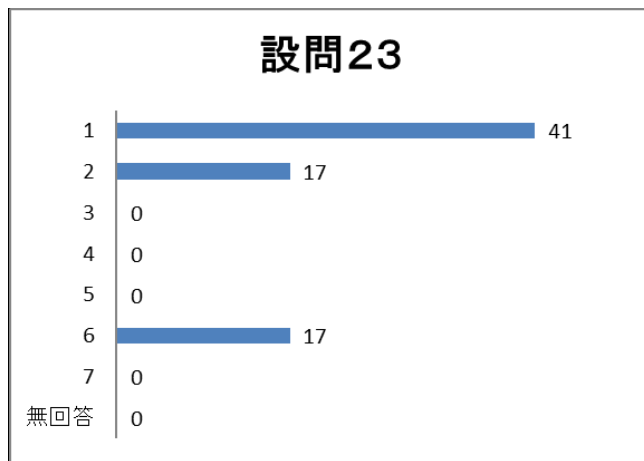
- A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

1. 就職する
2. 専攻科に就職する
3. 留学する
4. 他大学に（編）入学する
5. 専門学校に入学する
6. まだわからない
7. その他（具体的に）

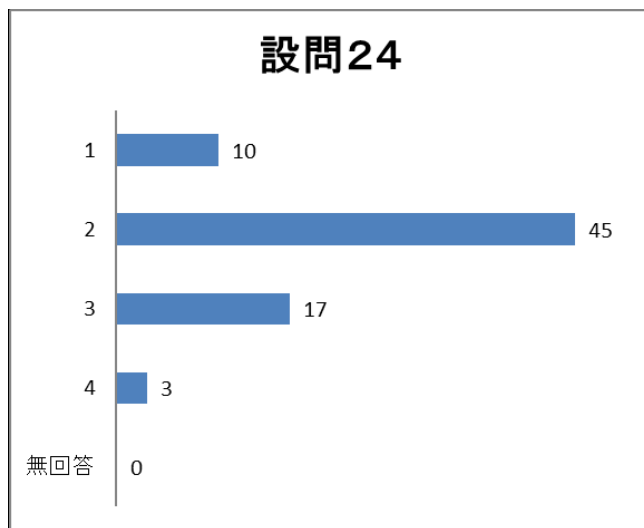


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の 2 つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

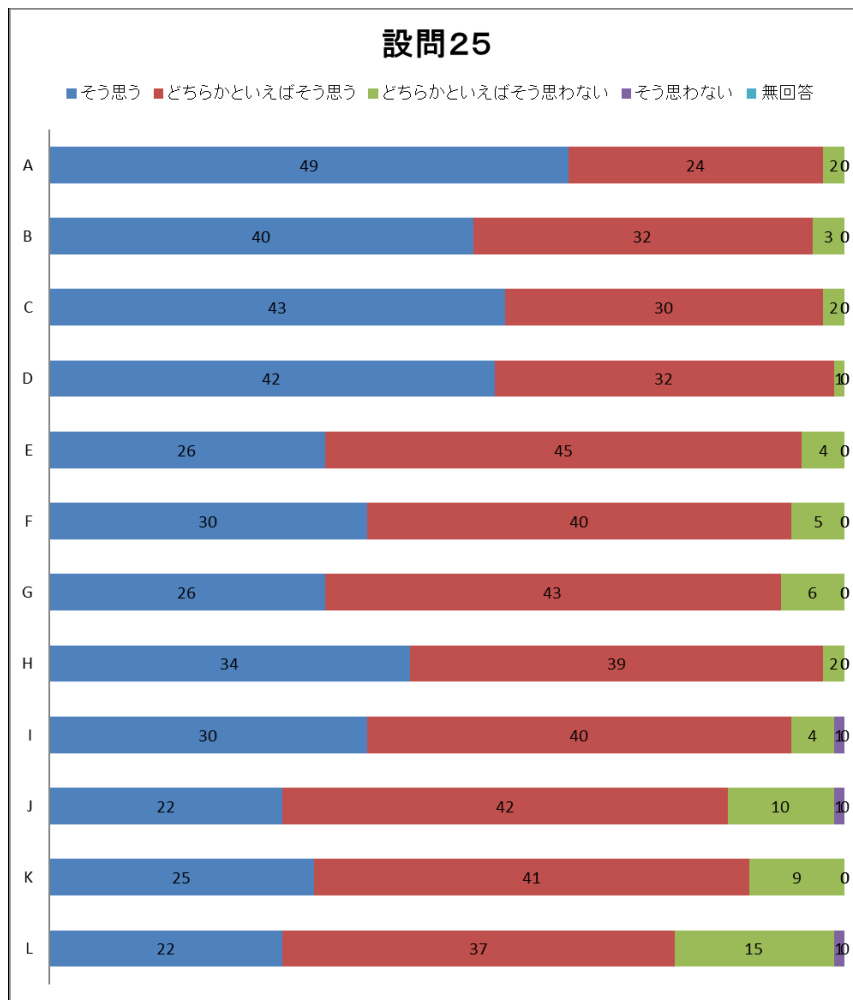
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
 - ・その見通しのなかでもっとも重要なものを 1 つ思い浮かべてください。
- あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない



[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- A. 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- C. 職業意識の形成につながる教育を受ける
- D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2019 年

[歯科衛生学科 3 年次生 53/57 名]



学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査（測定）することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR（インスティテューショナル・リサーチ, institutional research）と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

2019 年 10 月 28 日実施

[取組の趣旨]

- 本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- 専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

学生 ID 回答者：14 名 非回答者：39 名

*今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学1年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を任意でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生学科：53 名
2. 保健福祉学科：00 名

[3] 性別

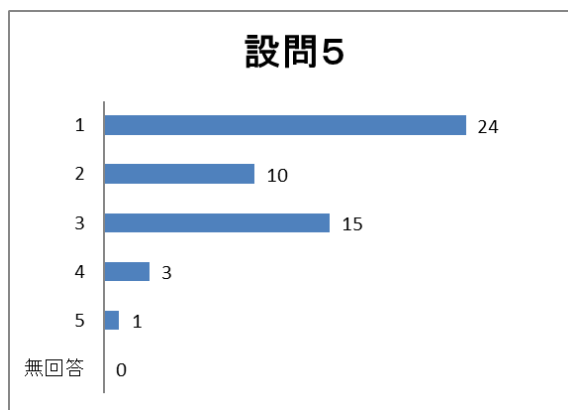
~~1.男性：0 名~~ 2.女性：53 名

[4] 2019 年 4 月 1 日の時点の年齢

20 歳：36 名 21 歳：13 名 22 歳：03 名 23 歳：01 名

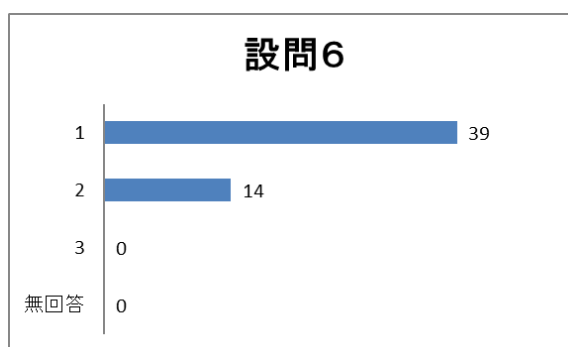
[5] 通学にかかる時間（片道）

1. 30 分未満
2. 30 分以上～1 時間未満
3. 1 時間以上～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分以上～2 時間未満
5. 2 時間以上



[6] 現在の住まい

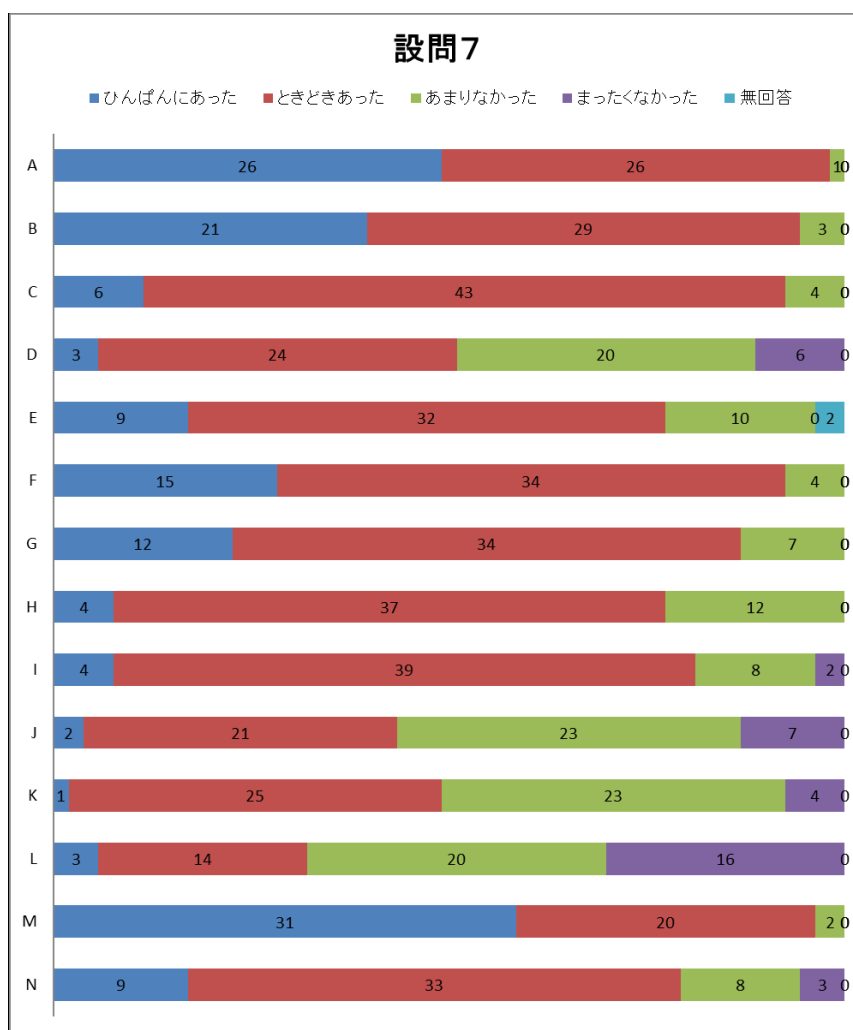
1. 家族または親戚と暮らしている
2. アパート・学生マンションでひとり暮らし
3. 大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

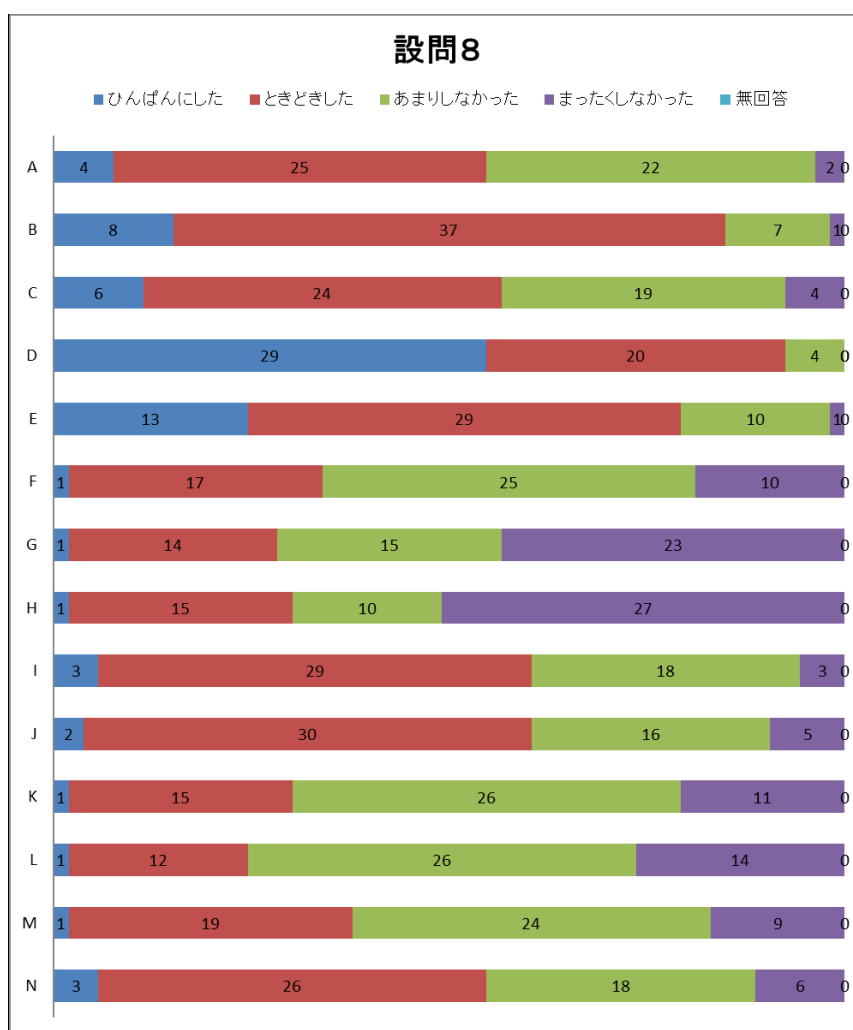
[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される
- N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成した
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィサーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- N. 教員に親近感を感じた

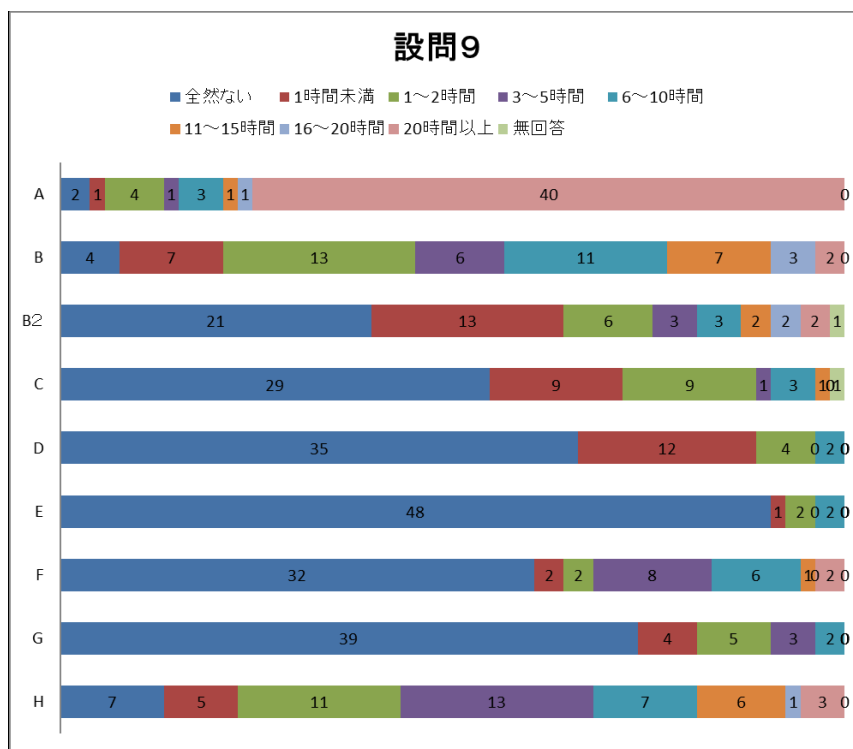


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
 B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
 B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
 C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
 D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
 E. 部活動や同好会に参加する
 F. 大学外でアルバイトや仕事をする
 G. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
 H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

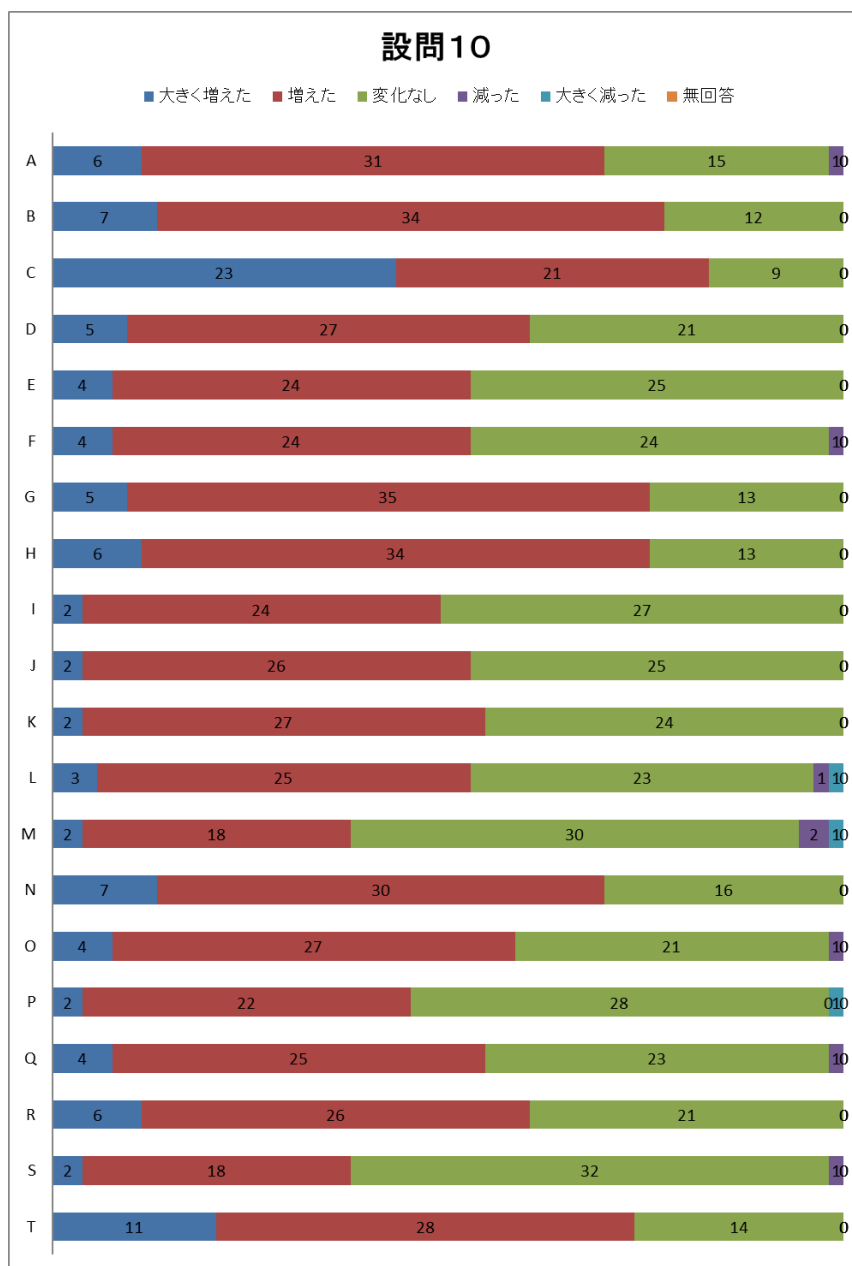
※時間の目安

1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

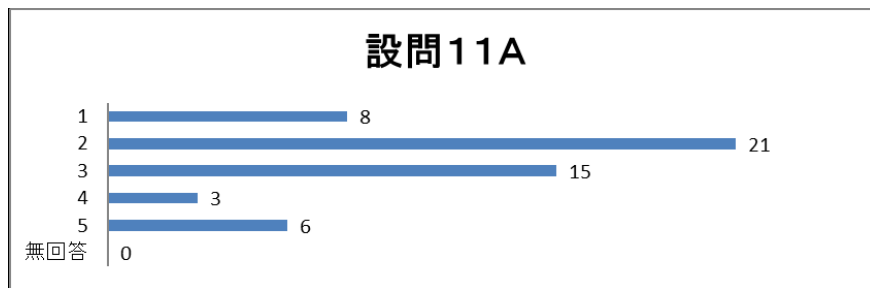
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| A. 一般的な教養 | K. 国民が直面する問題を理解する能力 |
| B. 分析力や問題解決能力 | L. 文章表現の能力 |
| C. 専門分野や学科の知識 | M. 外国語の運用能力 |
| D. 批判的に考える能力 | N. コミュニケーションの能力 |
| E. 異文化の人々に関する知識 | O. プレゼンテーションの能力 |
| F. リーダーシップの能力 | P. 数理的な能力 |
| G. 人間関係を構築する能力 | Q. コンピュータの操作能力 |
| H. 他の人と協力して物事を遂行する能力 | R. 時間を効果的に利用する能力 |
| I. 異文化の人々と協力する能力 | S. グローバルな問題の理解 |
| J. 地域社会が直面する問題を理解する能力 | T. 就職に向けての知識・技術力 |



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

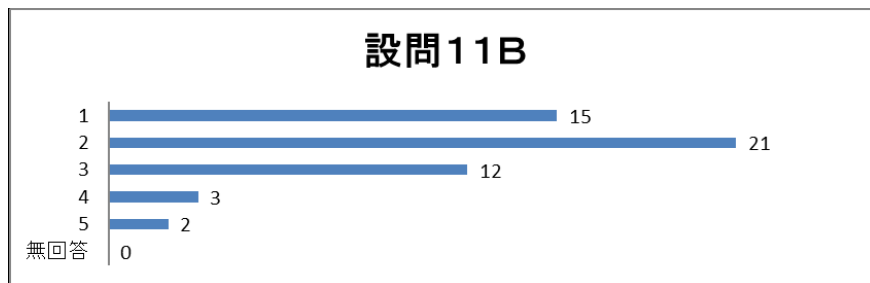
[11A] 学内の実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



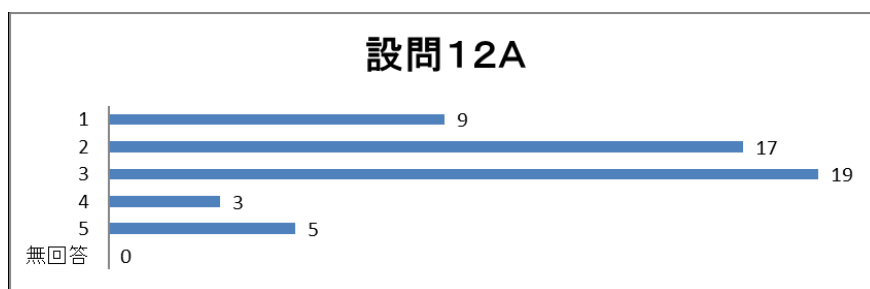
[11B] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



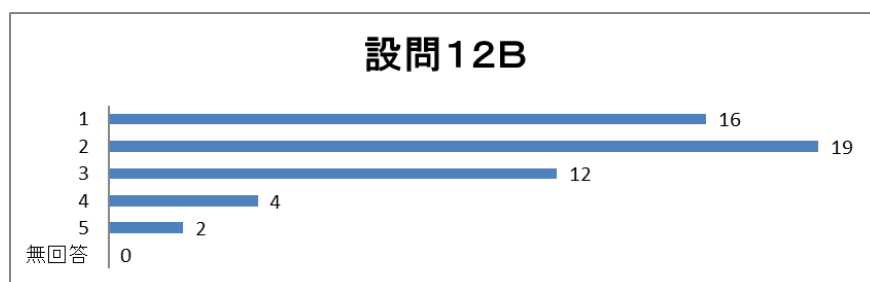
[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



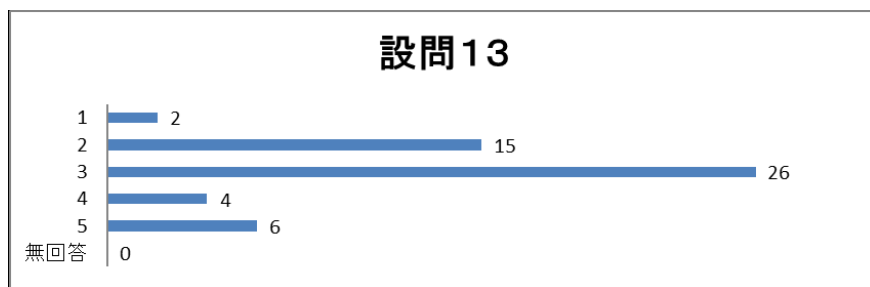
[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



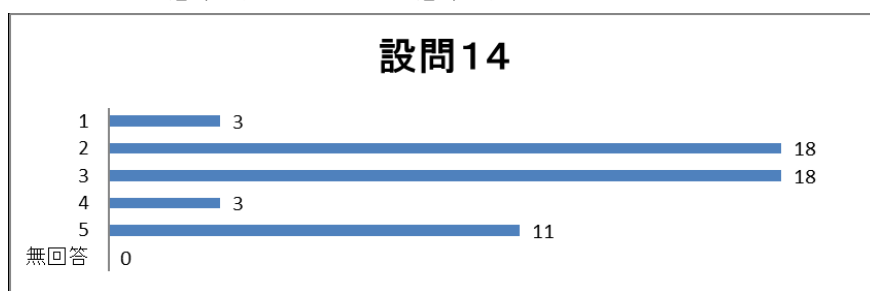
[13] ボランティア活動が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



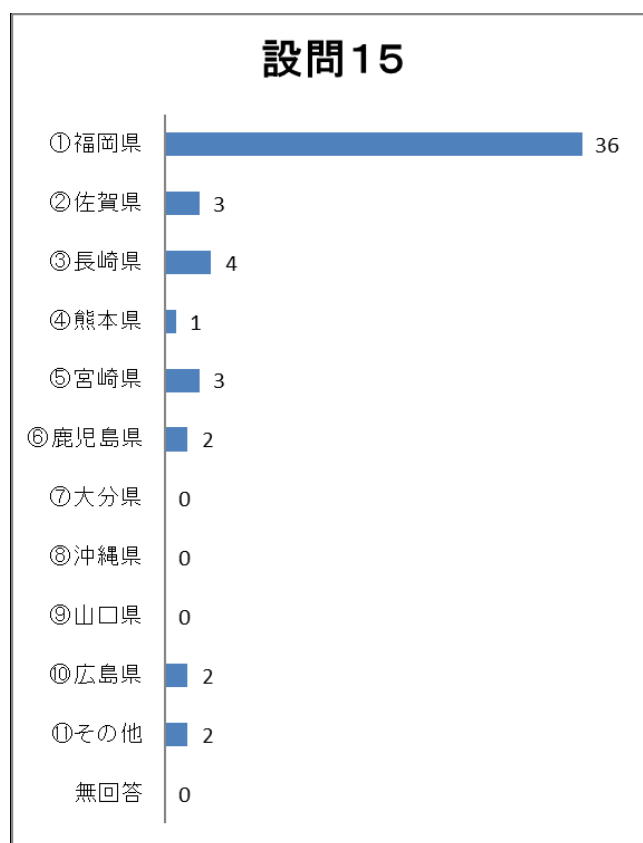
[14] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



IV. 現在の学生生活について

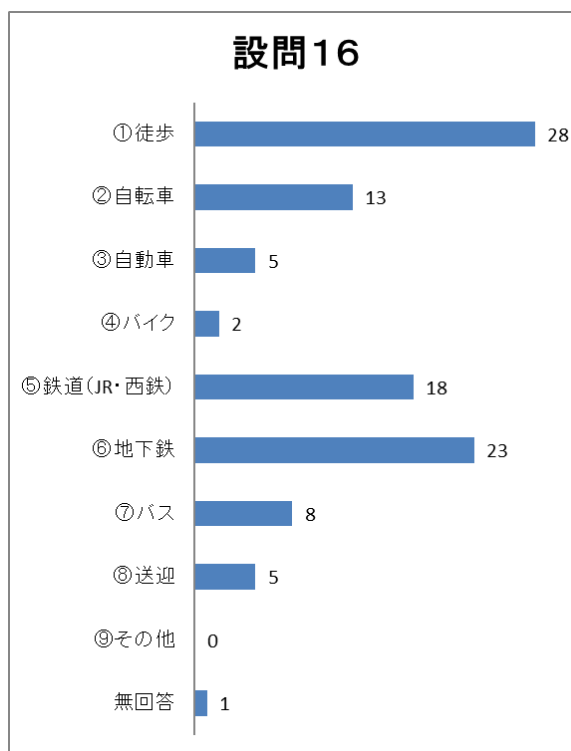
[15] 出身地



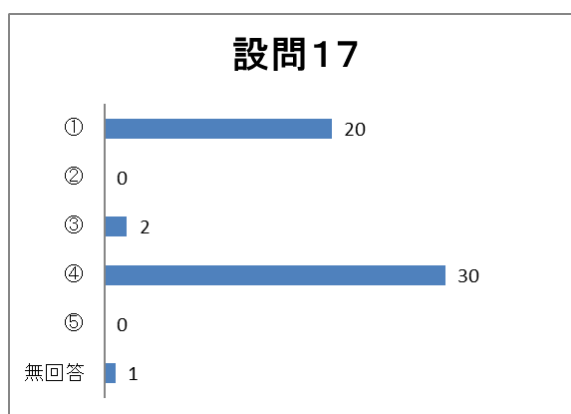
【その他の回答】

愛媛県：2名

- [16] 大学までの交通手段
(当てはまるものすべてに○をつける)

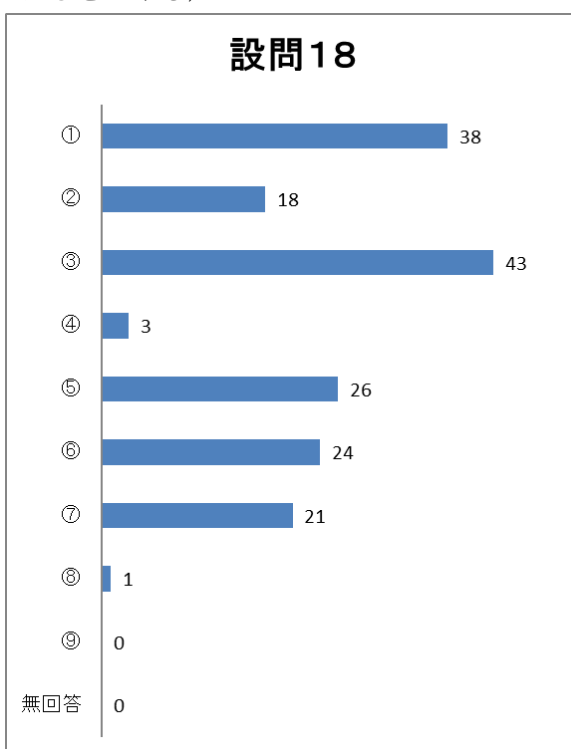


- [17] 奨学金の利用
- ①日本学生支援機構の奨学金
 - ②日本介護福祉士修学資金
 - ③以前受けていたが今は受けていない
 - ④受けていない
 - ⑤その他



- [18] 大学生生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

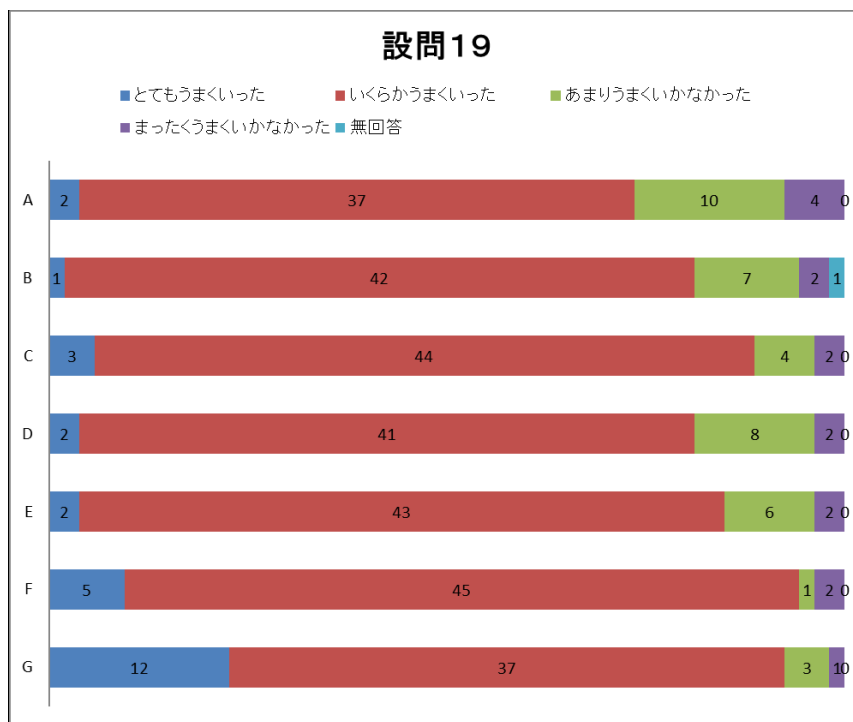
- ①専門的な研究や知識を身につける
- ②豊かな教養を身につける
- ③学歴や資格を得る
- ④クラブやサークルを楽しむ
- ⑤希望する職業に就く
- ⑥学生生活を楽しむ
- ⑦友達とのかかわりを楽しむ
- ⑧特に目的はない
- ⑨その他



V. 大学生活に対する考えや満足度について

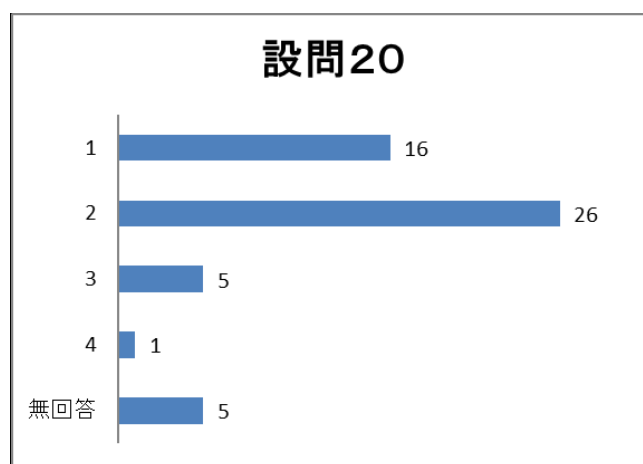
[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

- | | |
|------------------------|-----------------|
| A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する | E. 時間を効果的に使う |
| B. 大学教員の学問的な期待を理解する | F. 大学教員と顔見知りになる |
| C. 効果的に学習する技能を修得する | G. 他の学生との友情を深める |
| D. 大学が求める水準に応じて学習する | |



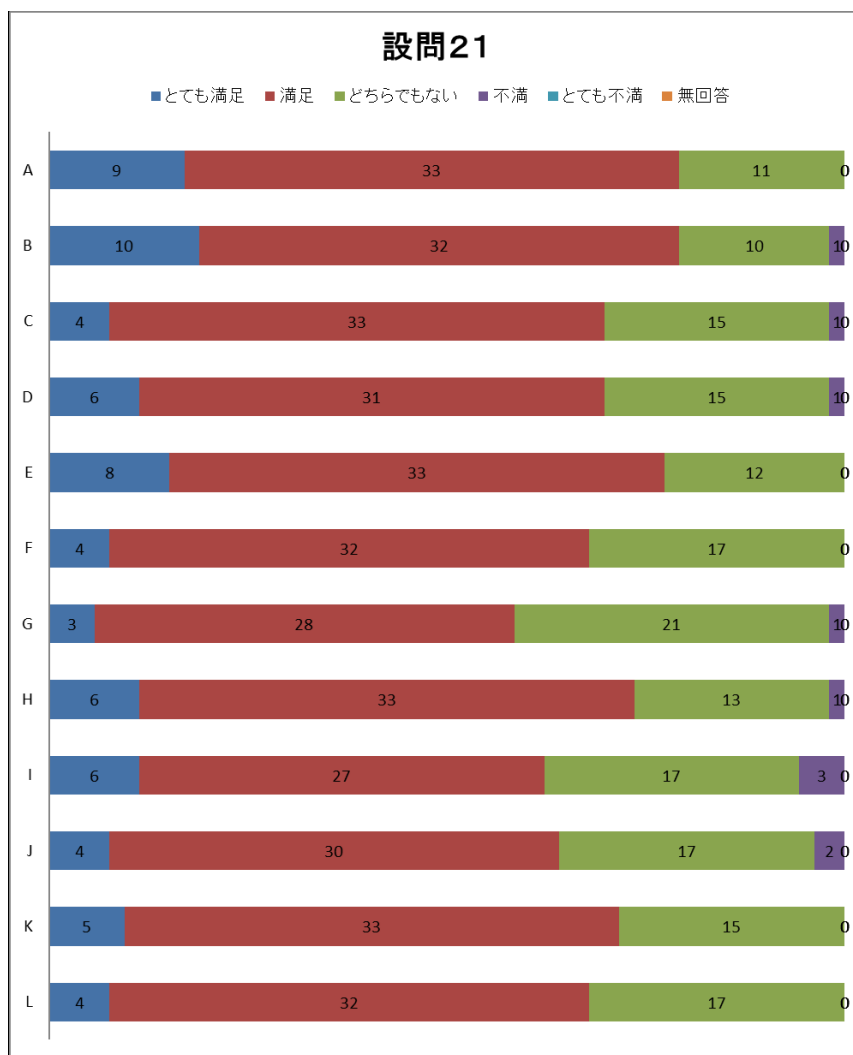
[20] 学生生活の充実

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |



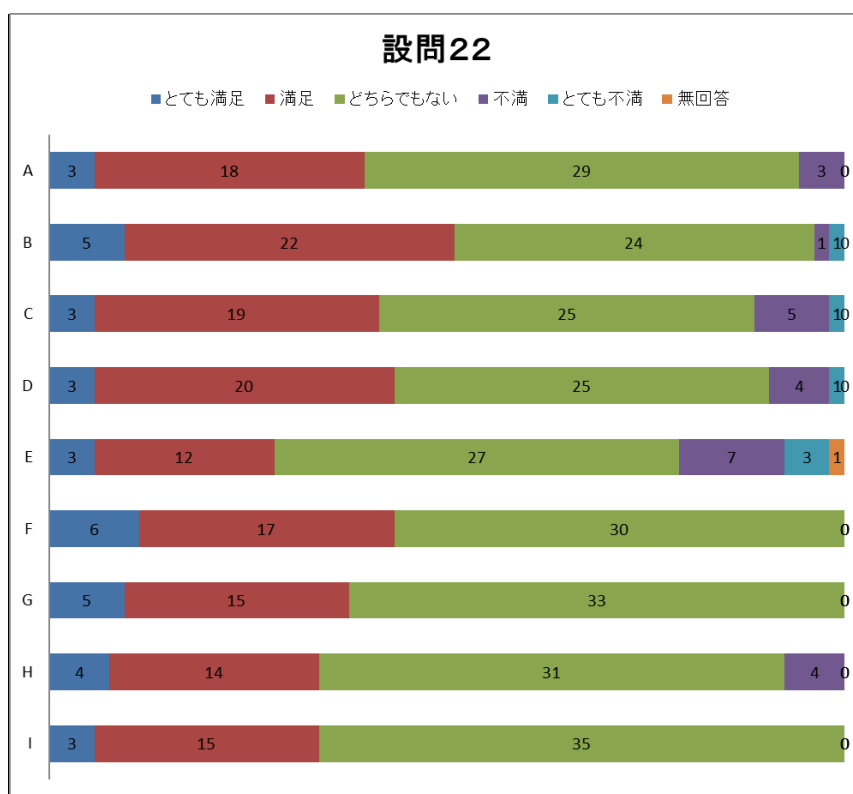
[21] 教育内容の満足度

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| A. 専門教育あるいは所属学科の授業 | G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など） |
| B. 所属学科の学内実習や学外実習
（臨床・臨地実習・介護実習等） | H. 他の学生と話をする機会 |
| C. 授業の全体的な質 | I. 大学のなかでの学生同士の一体感 |
| D. 日常生活と授業内容との関連 | J. 多様な考え方を認め合う雰囲気 |
| E. 将来の仕事と授業内容との結びつき | K. 大学での経験全般について |
| F. 教員と話をする機会 | L. 1つの授業を履修する学生数 |



[22] 設備や学生支援制度の満足度

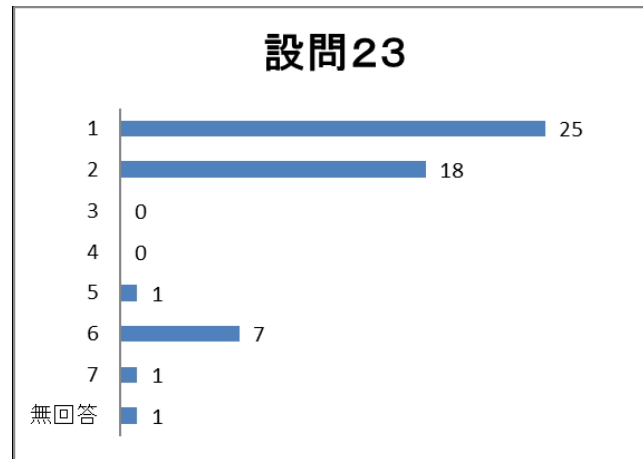
- A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

1. 就職する
2. 専攻科に就職する
3. 留学する
4. 他大学に（編）入学する
5. 専門学校に入学する
6. まだわからない
7. その他（具体的に）

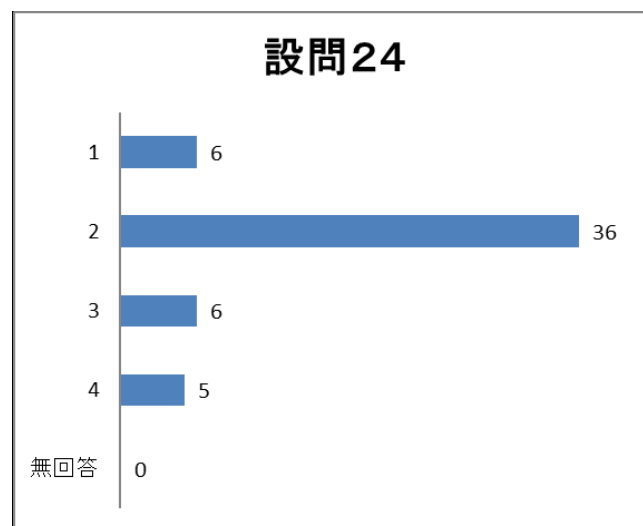


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

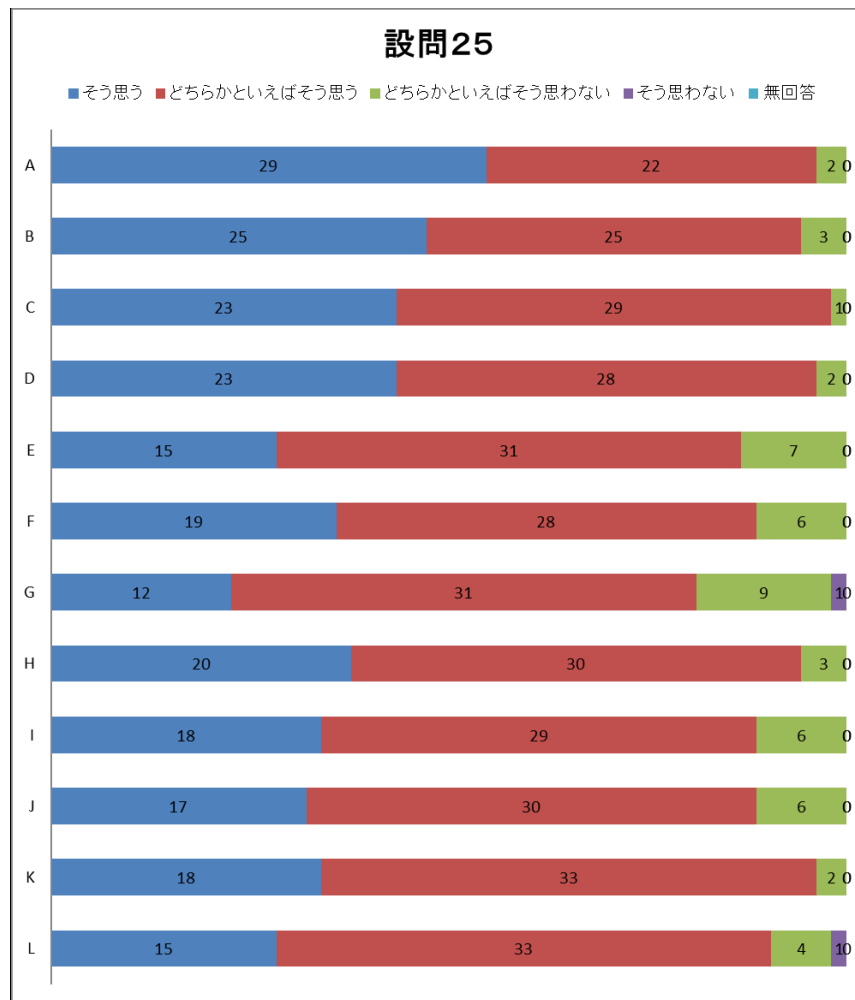
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
 - ・その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。
- あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない



[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- A. 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- C. 職業意識の形成につながる教育を受ける
- D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2019 年

[保健福祉学科 1 年次生 6/6 名]



学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査（測定）することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR（インスティテューショナル・リサーチ, institutional research）と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

2019 年 10 月 4 日実施

〔取組の趣旨〕

- ・本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- ・専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- ・その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

学生 ID 回答者：6 名 非回答者：0 名

＊今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学 1 年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を任意でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生学科：00 名
2. 保健福祉学科：06 名

[3] 性別

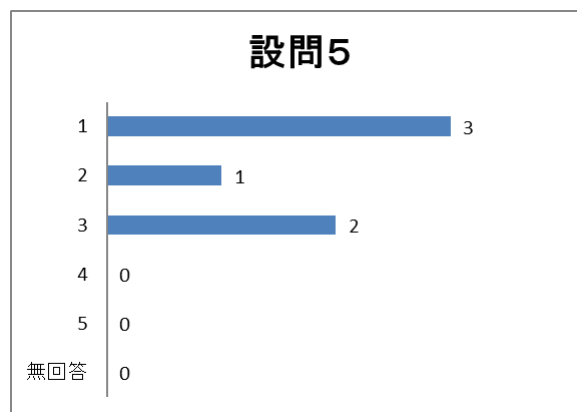
1. 男性：2 名 2. 女性：4 名

[4] 2019 年 4 月 1 日の時点の年齢

18 歳：03 名 21 歳：01 名 49 歳：01 名 54 歳：01 名

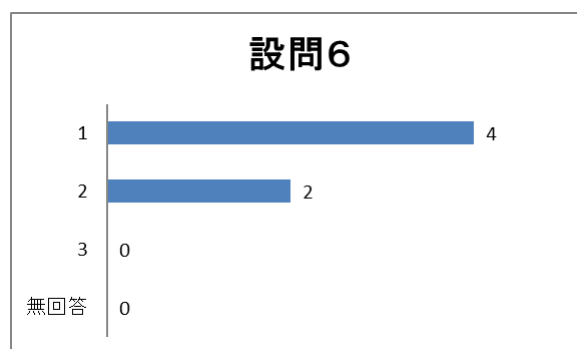
[5] 通学にかかる時間（片道）

1. 30 分未満
2. 30 分以上～1 時間未満
3. 1 時間以上～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分以上～2 時間未満
5. 2 時間以上



[6] 現在の住まい

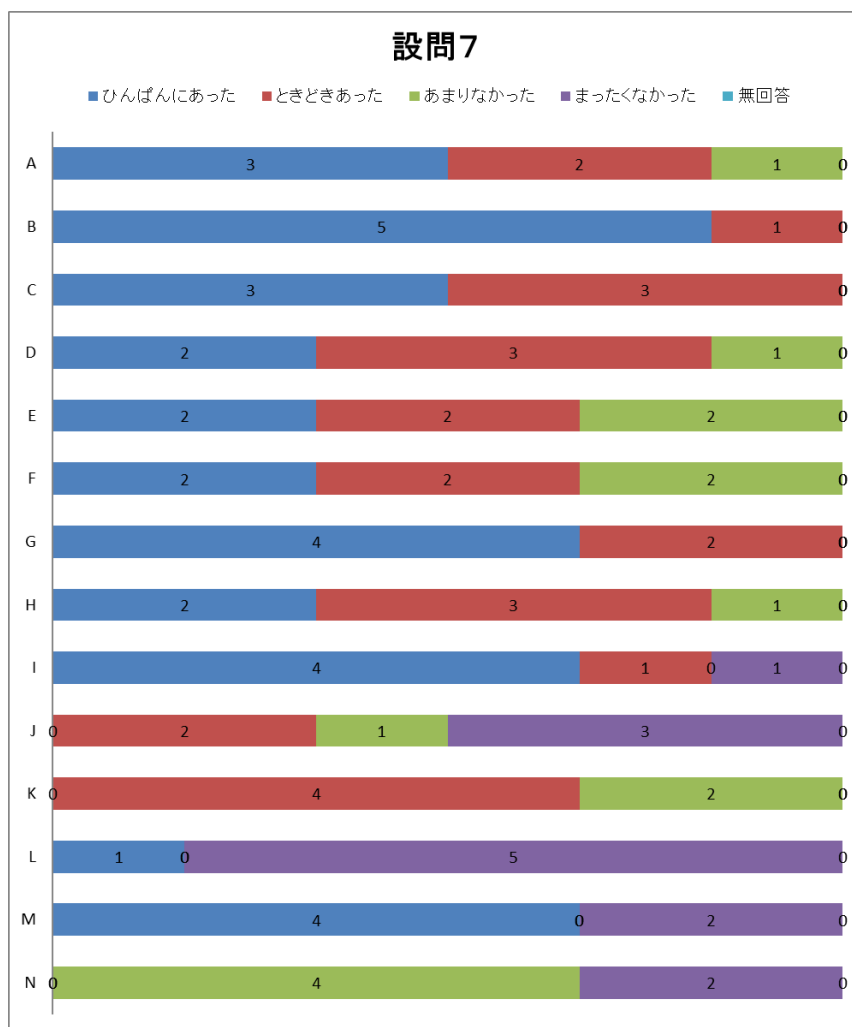
1. 家族または親戚と暮らしている
2. アパート・学生マンションでひとり暮らし
3. 大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される
- N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成した
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィスアワーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした (卒業後の進路や職業選択など)
- N. 教員に親近感を感じた

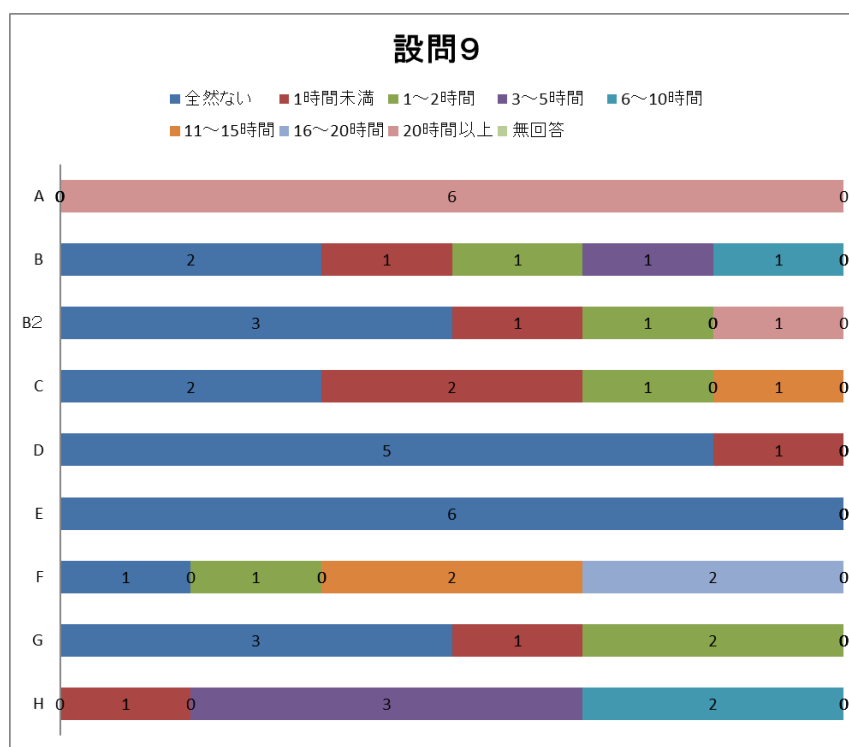


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
 B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
 B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
 C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
 D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
 E. 部活動や同好会に参加する
 F. 大学外でアルバイトや仕事をする
 G. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
 H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

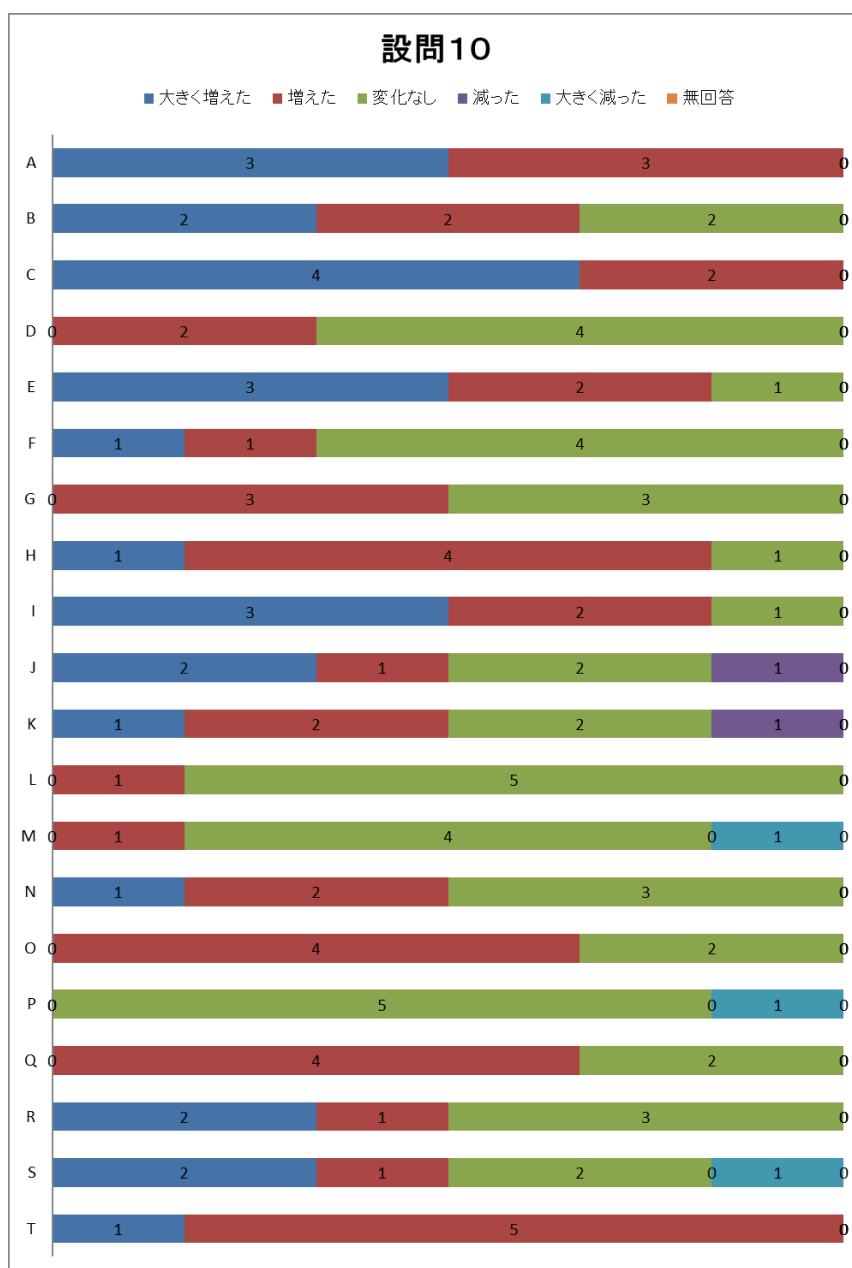
※時間の目安

1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

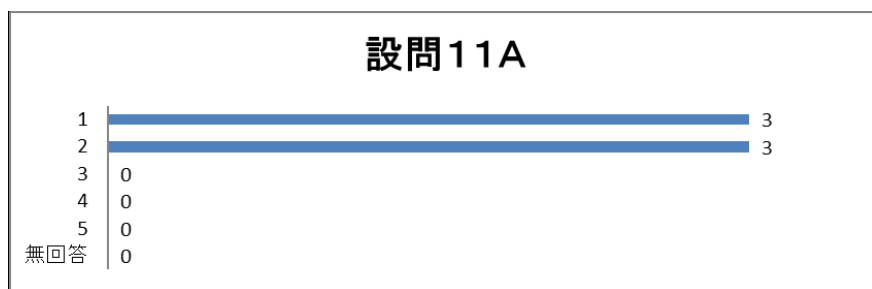
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| A. 一般的な教養 | K. 国民が直面する問題を理解する能力 |
| B. 分析力や問題解決能力 | L. 文章表現の能力 |
| C. 専門分野や学科の知識 | M. 外国語の運用能力 |
| D. 批判的に考える能力 | N. コミュニケーションの能力 |
| E. 異文化の人々に関する知識 | O. プレゼンテーションの能力 |
| F. リーダーシップの能力 | P. 数理的な能力 |
| G. 人間関係を構築する能力 | Q. コンピュータの操作能力 |
| H. 他の人と協力して物事を遂行する能力 | R. 時間を効果的に利用する能力 |
| I. 異文化の人々と協力する能力 | S. グローバルな問題の理解 |
| J. 地域社会が直面する問題を理解する能力 | T. 就職に向けての知識・技術力 |



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

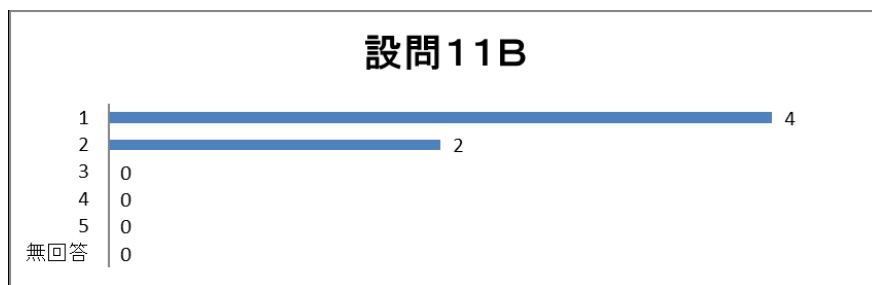
[11A] 学内の実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



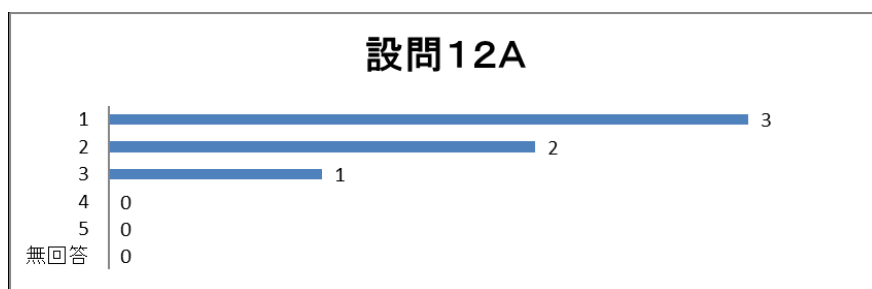
[11B] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



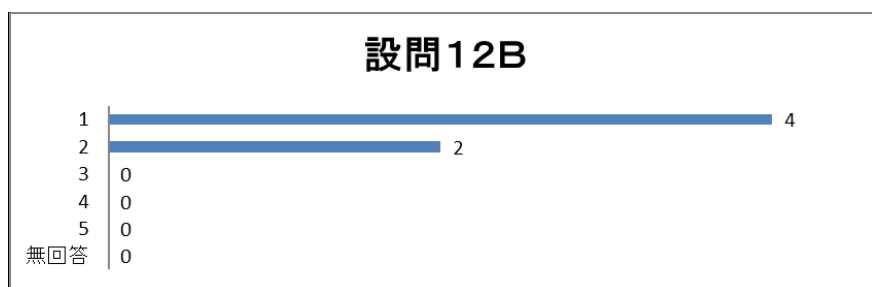
[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



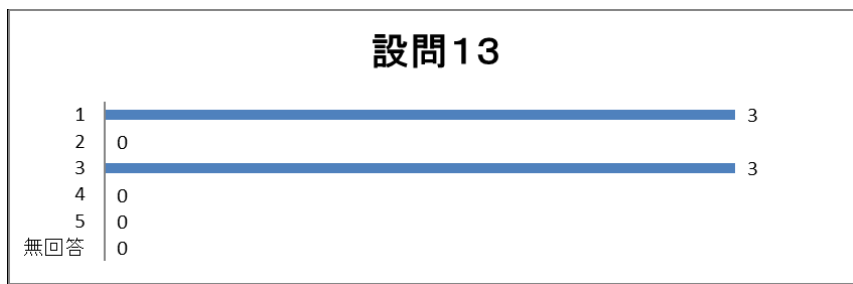
[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



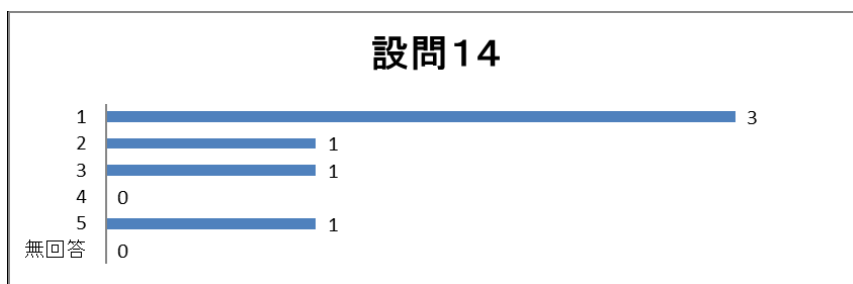
[13] ボランティア活動が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



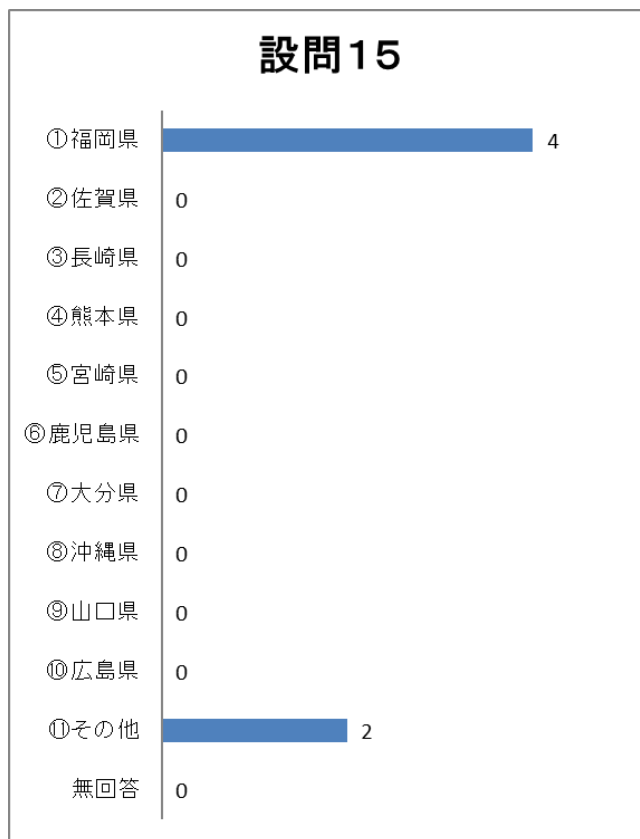
[14] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらもでない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



IV. 現在の学生生活について

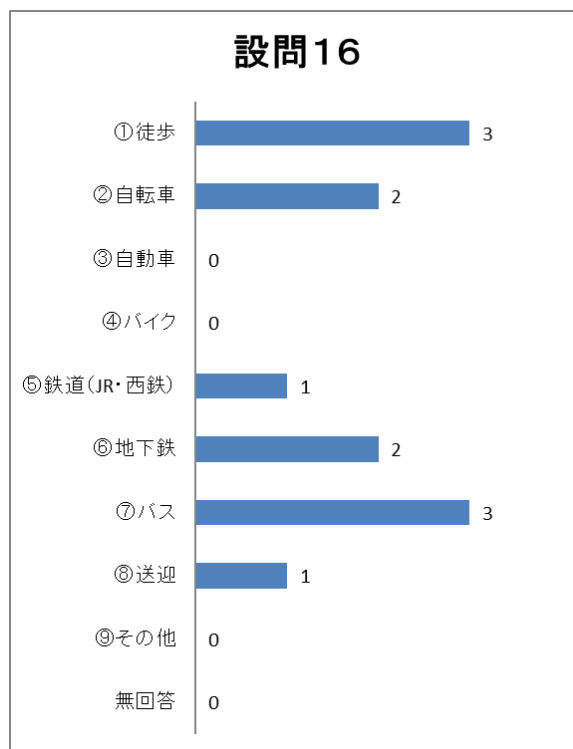
[15] 出身地



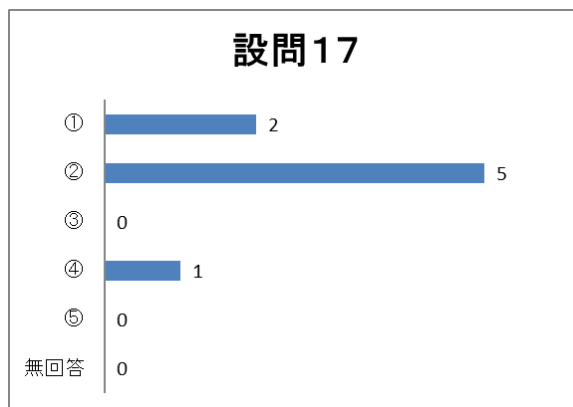
【その他の回答】

海外：1名 インドネシア：1名

- [16] 大学までの交通手段
(当てはまるものすべてに○をつける)

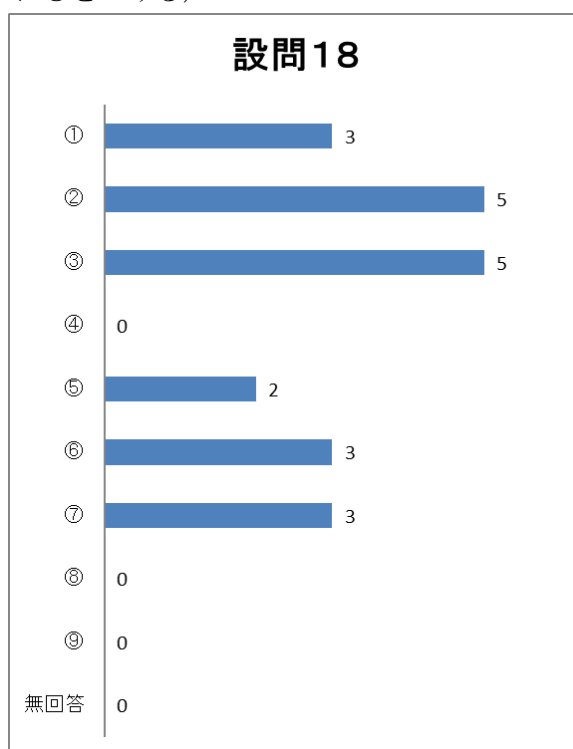


- [17] 奨学金の利用
- ①日本学生支援機構の奨学金
 - ②日本介護福祉士修学資金
 - ③以前受けていたが今は受けていない
 - ④受けていない
 - ⑤その他



- [18] 大学生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

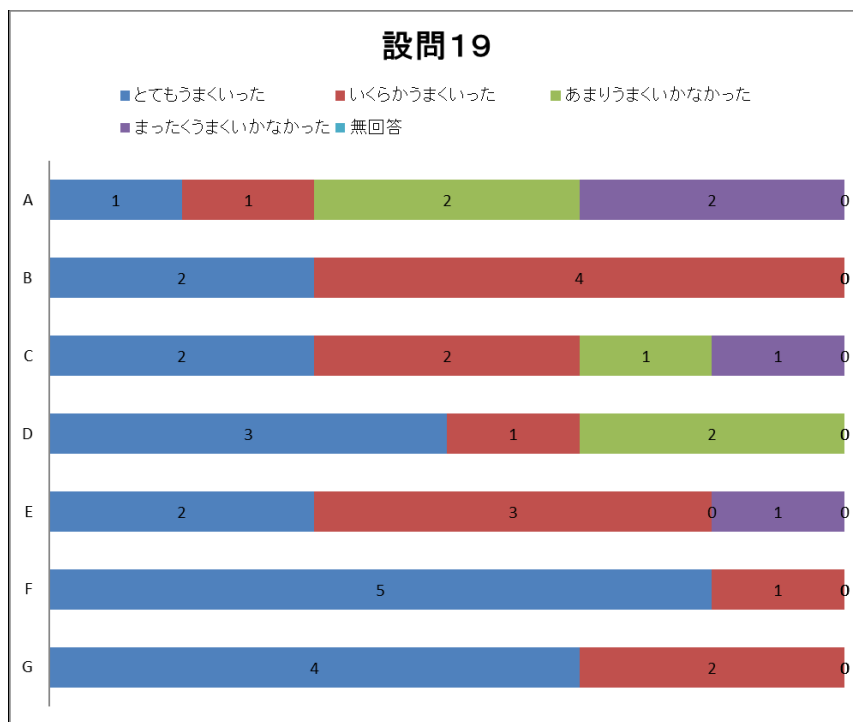
- ①専門的な研究や知識を身につける
- ②豊かな教養を身につける
- ③学歴や資格を得る
- ④クラブやサークルを楽しむ
- ⑤希望する職業に就く
- ⑥学生生活を楽しむ
- ⑦友達とのかかわりを楽しむ
- ⑧特に目的はない
- ⑨その他



V. 大学生活に対する考えや満足度について

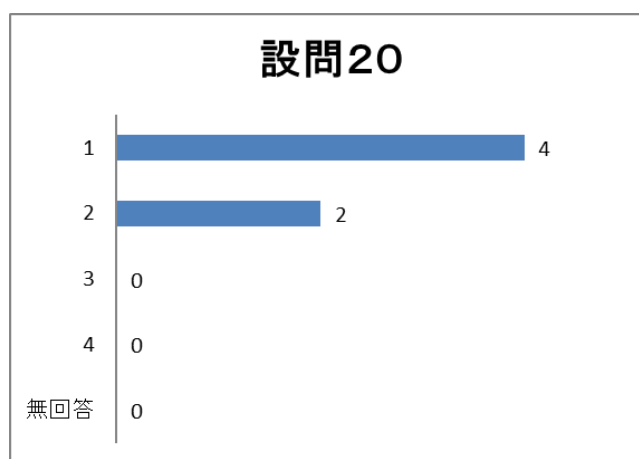
[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

- | | |
|------------------------|-----------------|
| A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する | E. 時間を効果的に使う |
| B. 大学教員の学問的な期待を理解する | F. 大学教員と顔見知りになる |
| C. 効果的に学習する技能を修得する | G. 他の学生との友情を深める |
| D. 大学が求める水準に応じて学習する | |



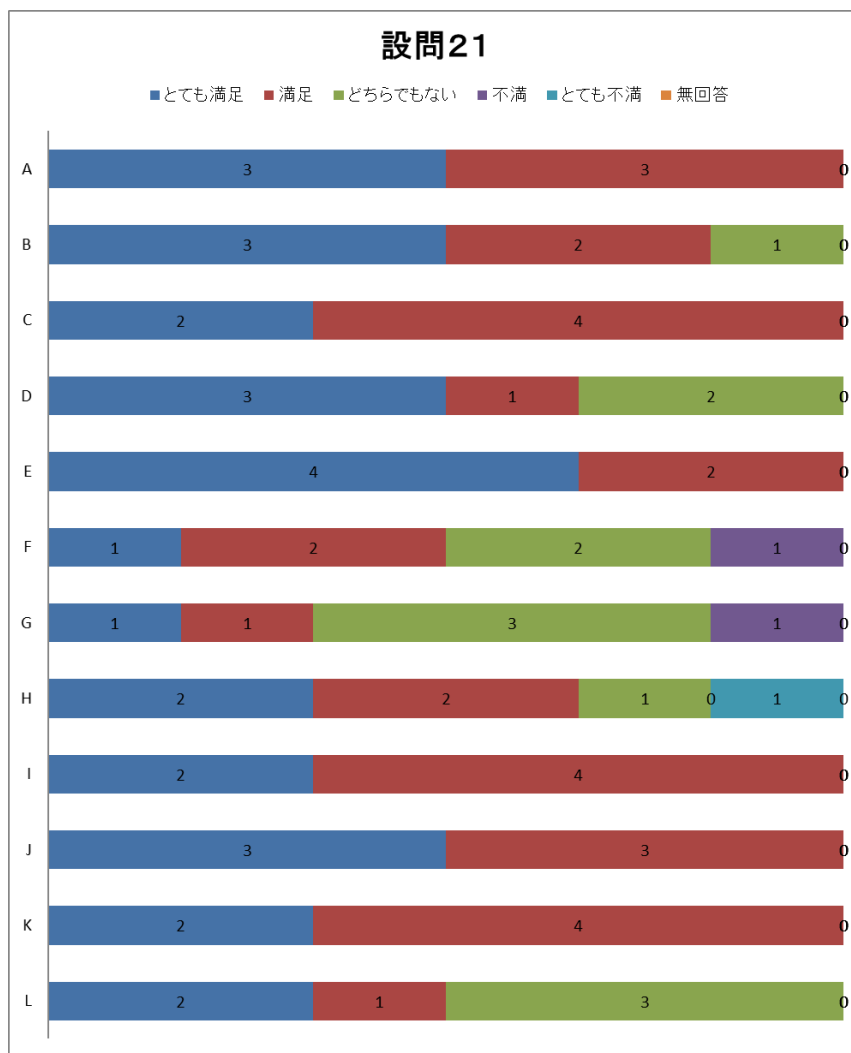
[20] 学生生活の充実

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |



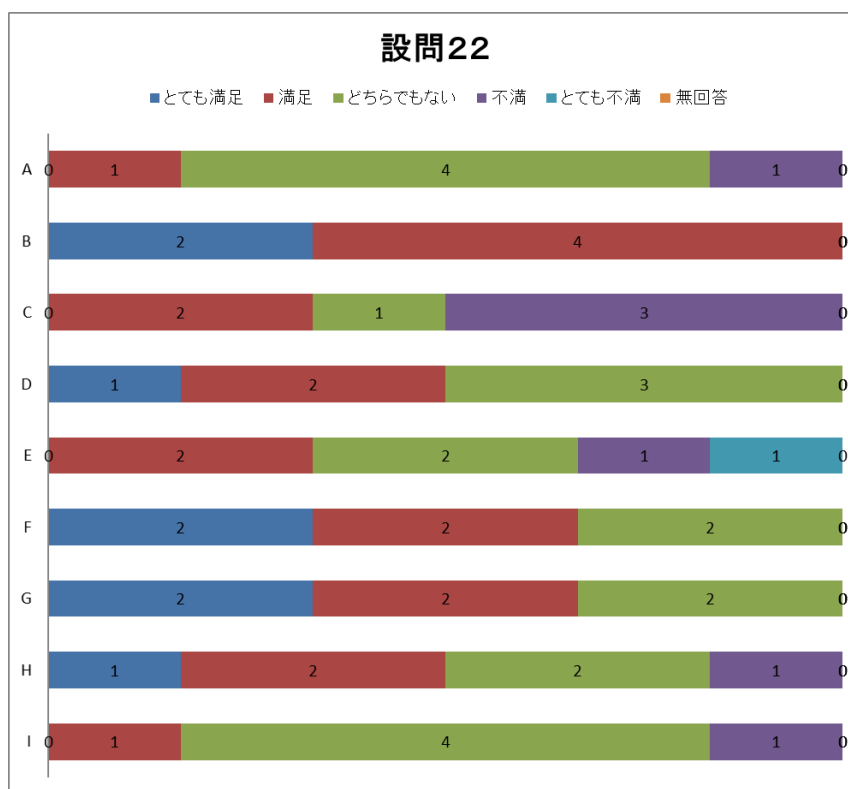
[21] 教育内容の満足度

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| A. 専門教育あるいは所属学科の授業 | G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など） |
| B. 所属学科の学内実習や学外実習
（臨床・臨地実習・介護実習等） | H. 他の学生と話をする機会 |
| C. 授業の全体的な質 | I. 大学のなかでの学生同士の一体感 |
| D. 日常生活と授業内容との関連 | J. 多様な考え方を認め合う雰囲気 |
| E. 将来の仕事と授業内容との結びつき | K. 大学での経験全般について |
| F. 教員と話をする機会 | L. 1つの授業を履修する学生数 |



[22] 設備や学生支援制度の満足度

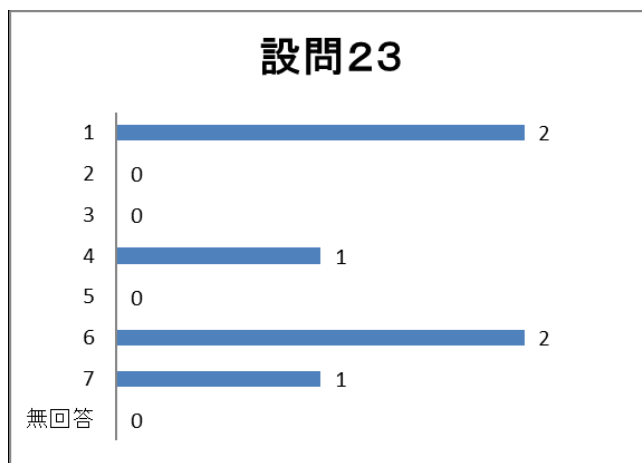
- A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

1. 就職する
2. 専攻科に就職する
3. 留学する
4. 他大学に（編）入学する
5. 専門学校に入学する
6. まだわからない
7. その他（具体的に）

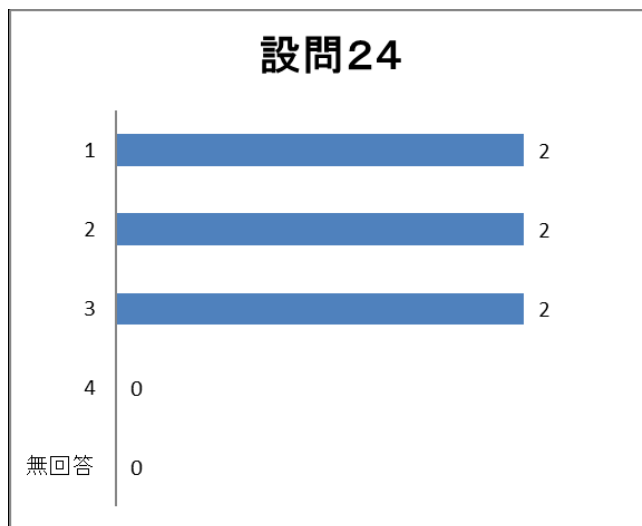


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

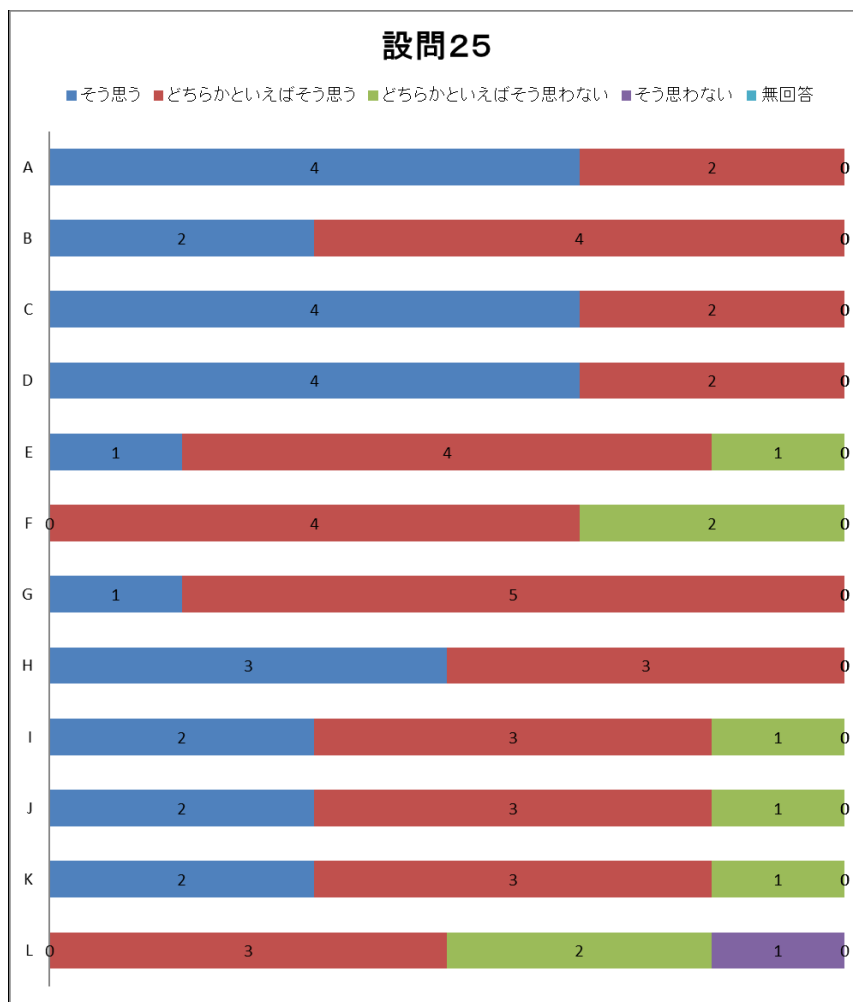
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
 - ・その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。
- あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない



[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- A. 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- C. 職業意識の形成につながる教育を受ける
- D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2019 年

[保健福祉学科 2 年次生 10/10 名]



学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査（測定）することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR（インスティテューショナル・リサーチ, institutional research）と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

2019 年 11 月 13 日実施

〔取組の趣旨〕

- ・本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- ・専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- ・その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

学生 ID 回答者：10 名 非回答者：0 名

*今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学1年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を任意でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生学科：00 名
2. 保健福祉学科：10 名

[3] 性別

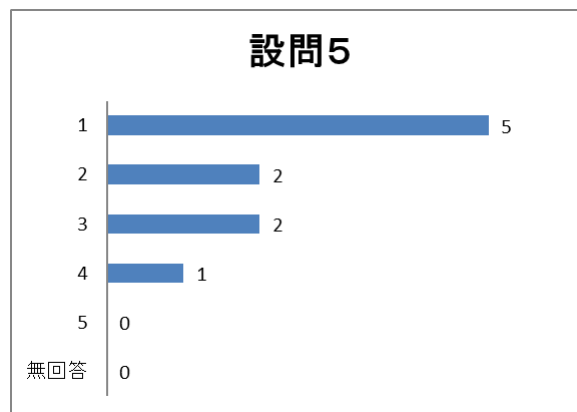
- 1.男性：6 名 2.女性：4 名

[4] 2019 年 4 月 1 日の時点の年齢

19 歳：01 名 20 歳：01 名 27 歳：01 名 29 歳：01 名 30 歳：01 名
33 歳：01 名 41 歳：01 名 55 歳：01 名 57 歳：02 名

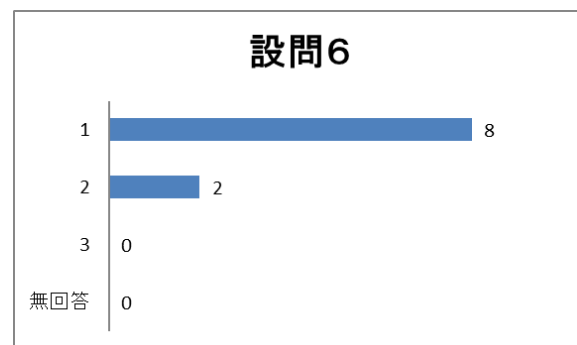
[5] 通学にかかる時間（片道）

1. 30 分未満
2. 30 分以上～1 時間未満
3. 1 時間以上～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分以上～2 時間未満
5. 2 時間以上



[6] 現在の住まい

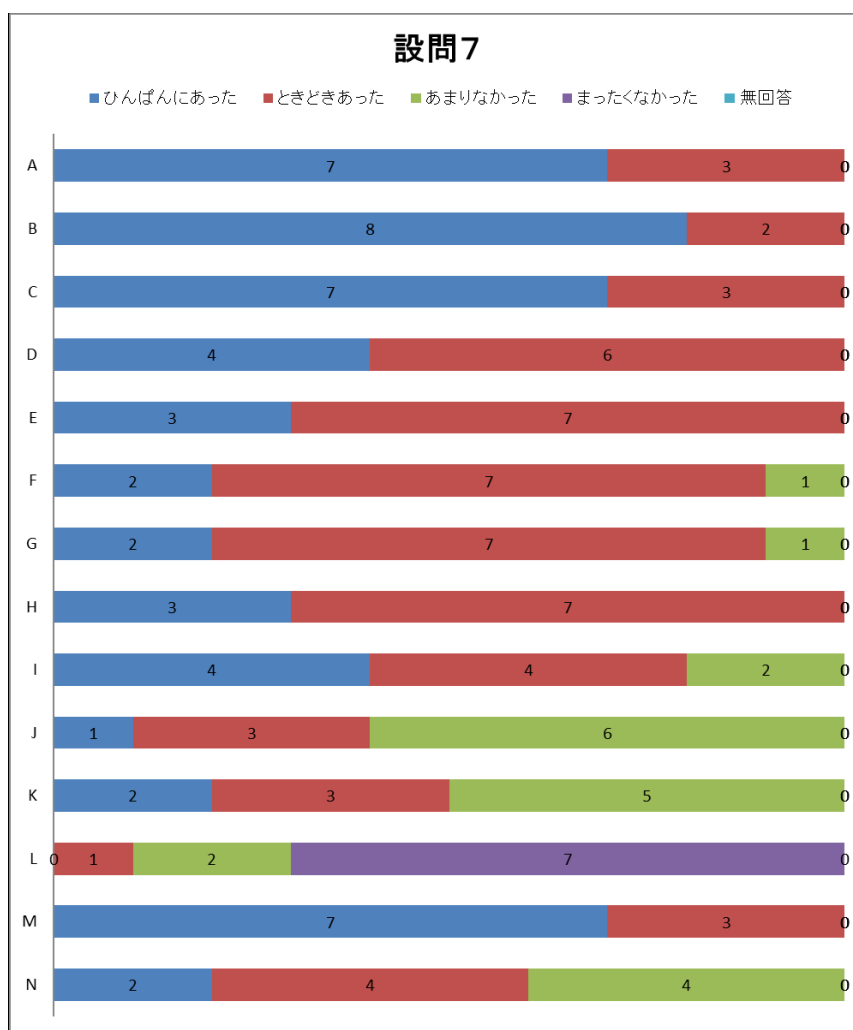
- 1.家族または親戚と暮らしている
- 2.アパート・学生マンションでひとり暮らし
- 3.大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

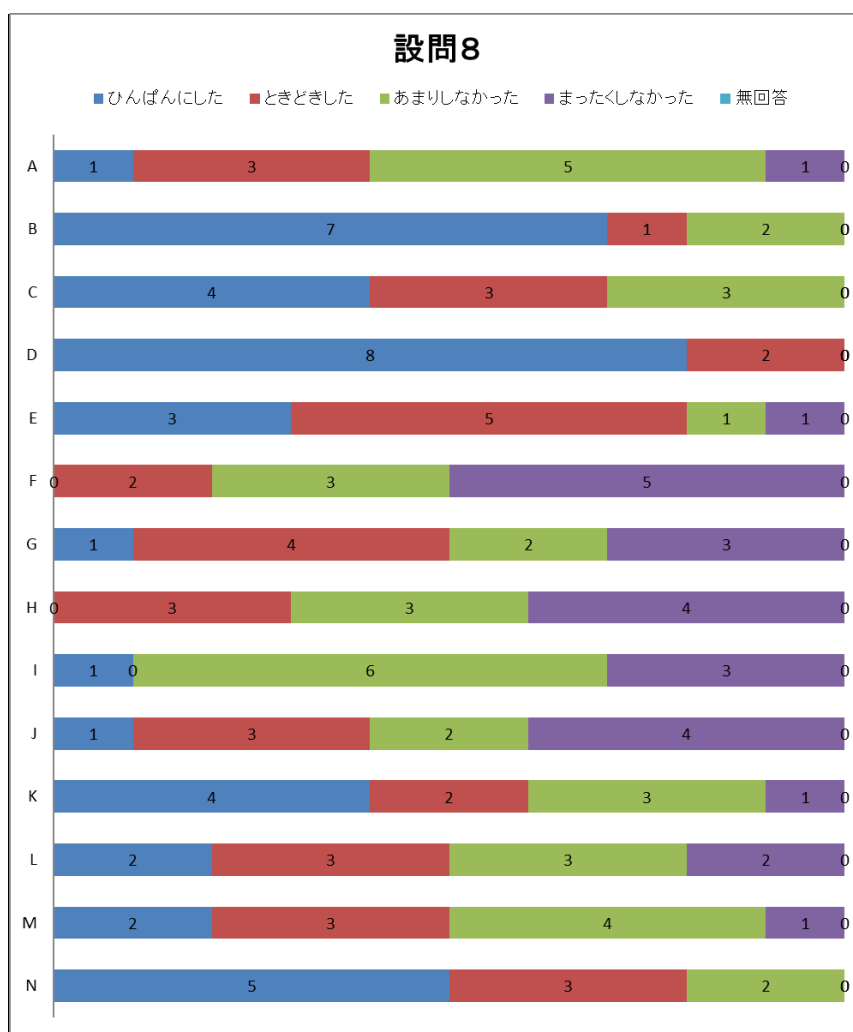
[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される
- N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成した
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィスアワーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした (卒業後の進路や職業選択など)
- N. 教員に親近感を感じた

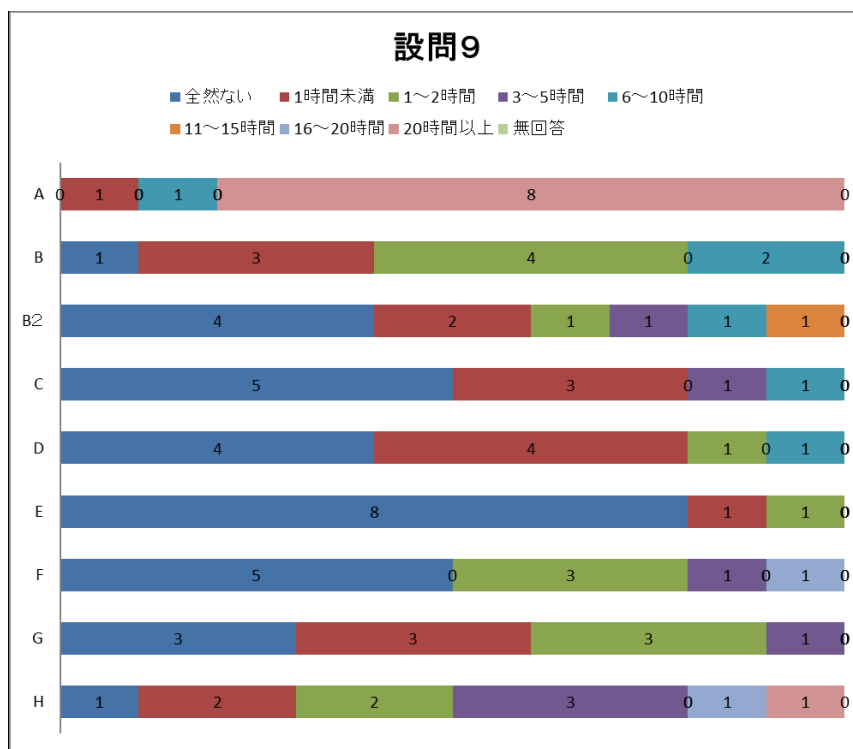


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
 B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
 B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
 C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
 D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
 E. 部活動や同好会に参加する
 F. 大学外でアルバイトや仕事をする
 G. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
 H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

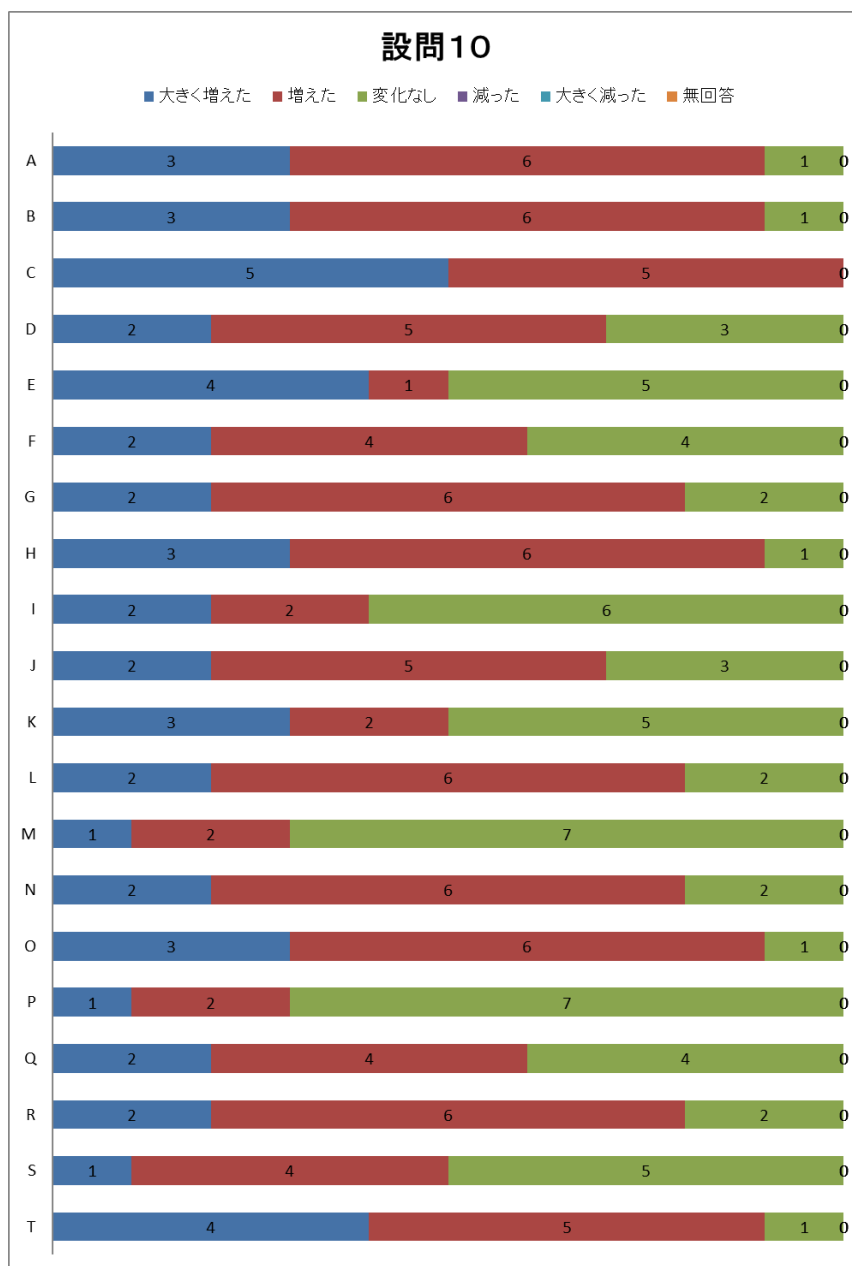
※時間の目安

1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

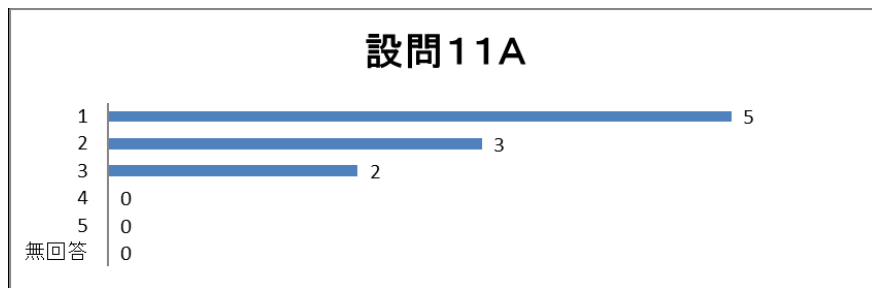
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| A. 一般的な教養 | K. 国民が直面する問題を理解する能力 |
| B. 分析力や問題解決能力 | L. 文章表現の能力 |
| C. 専門分野や学科の知識 | M. 外国語の運用能力 |
| D. 批判的に考える能力 | N. コミュニケーションの能力 |
| E. 異文化の人々に関する知識 | O. プレゼンテーションの能力 |
| F. リーダーシップの能力 | P. 数理的な能力 |
| G. 人間関係を構築する能力 | Q. コンピュータの操作能力 |
| H. 他の人と協力して物事を遂行する能力 | R. 時間を効果的に利用する能力 |
| I. 異文化の人々と協力する能力 | S. グローバルな問題の理解 |
| J. 地域社会が直面する問題を理解する能力 | T. 就職に向けての知識・技術力 |



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

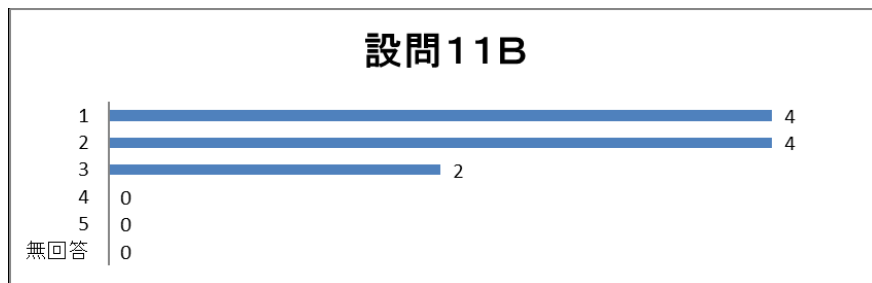
[11A] 学内の実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



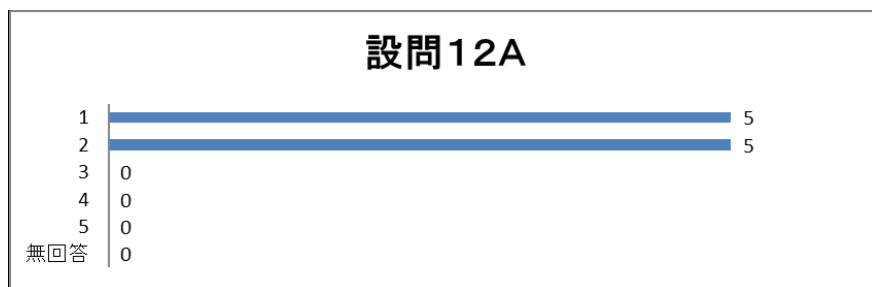
[11B] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



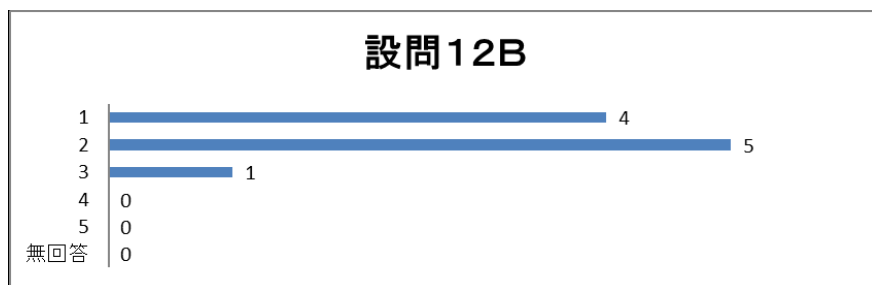
[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



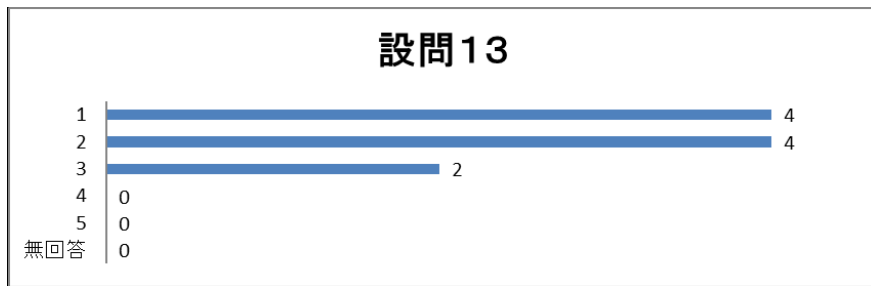
[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



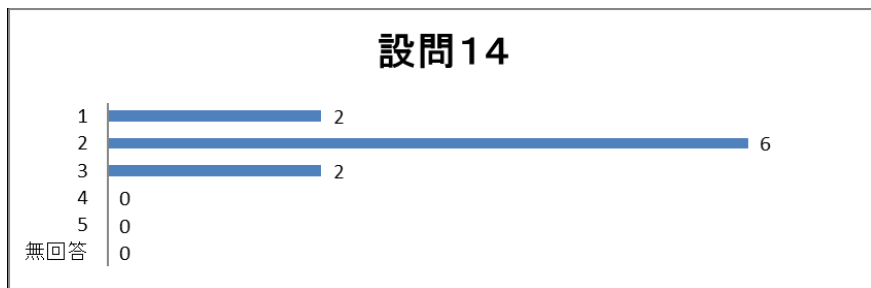
[13] ボランティア活動が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



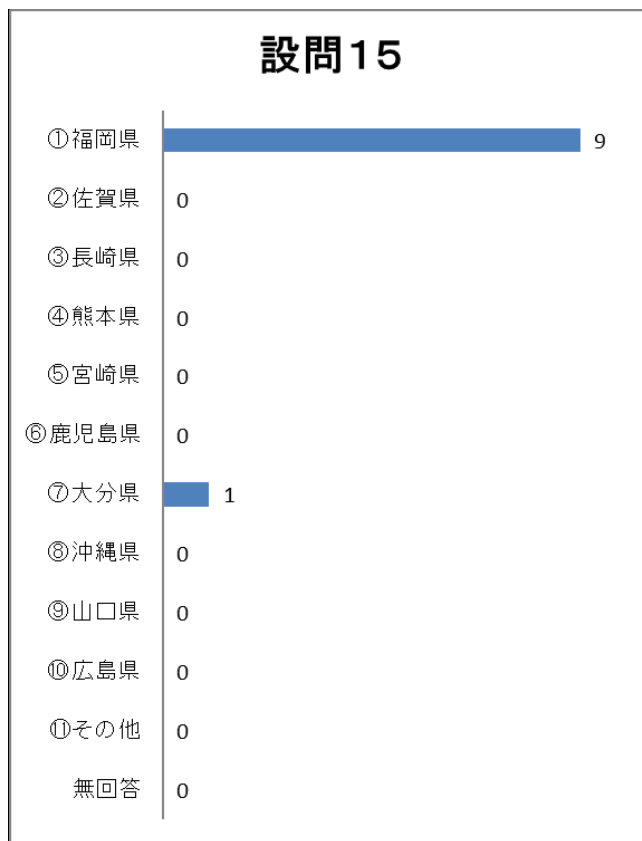
[14] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらもでない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない

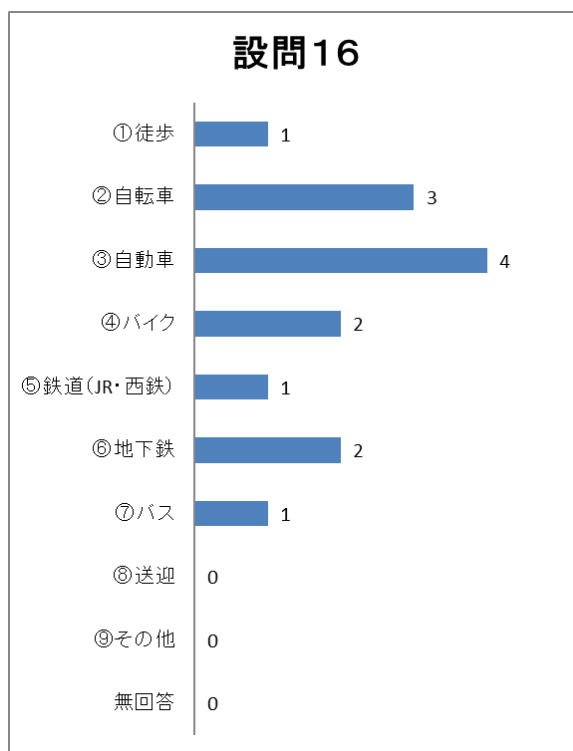


IV. 現在の学生生活について

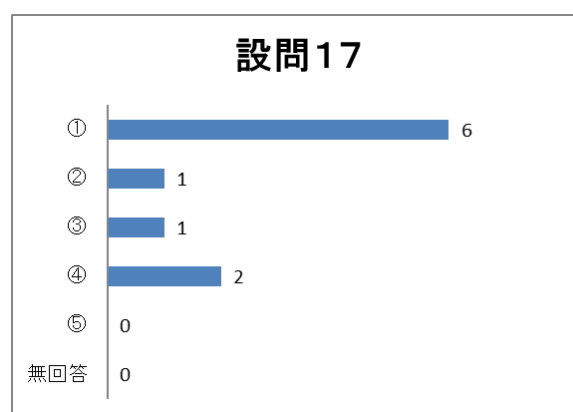
[15] 出身地



- [16] 大学までの交通手段
(当てはまるものすべてに○をつける)

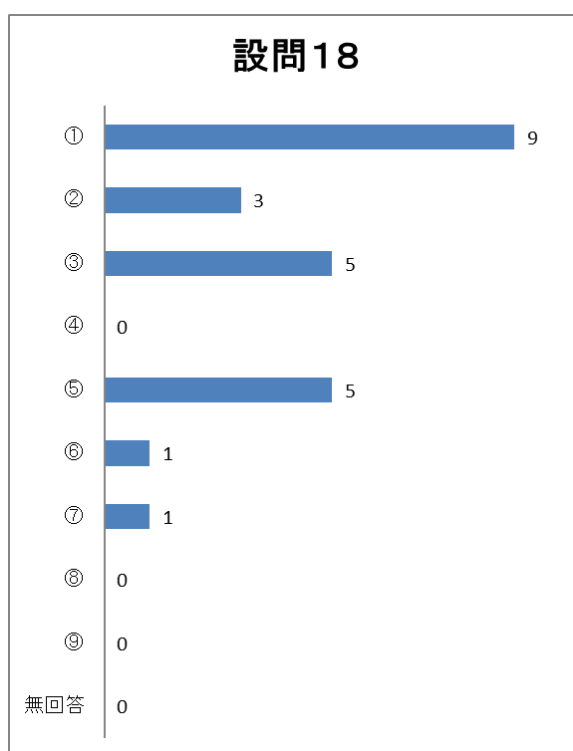


- [17] 奨学金の利用
- ①日本学生支援機構の奨学金
 - ②日本介護福祉士修学資金
 - ③以前受けていたが今は受けていない
 - ④受けていない
 - ⑤その他



- [18] 大学生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

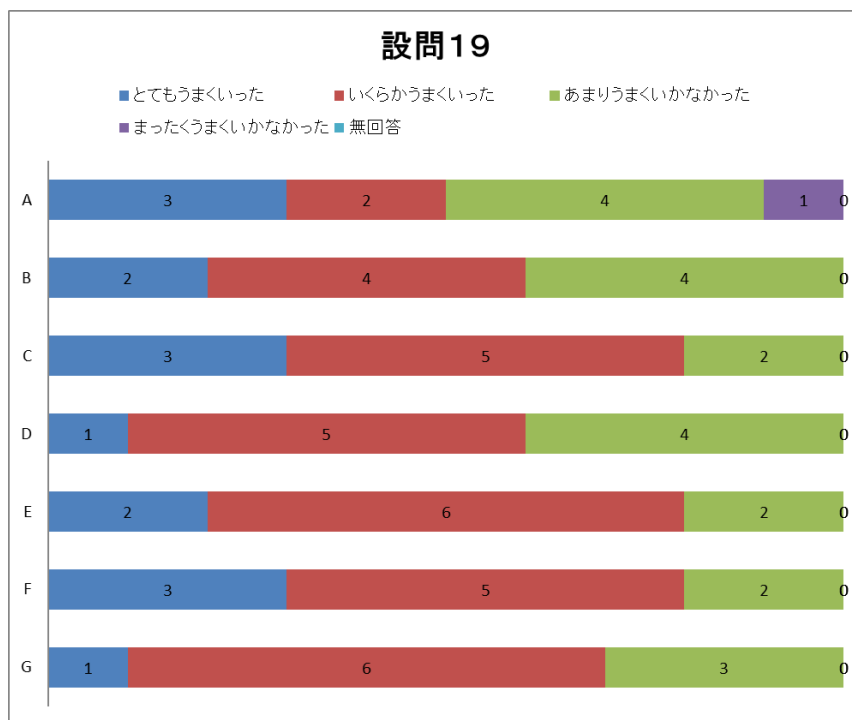
- ①専門的な研究や知識を身につける
- ②豊かな教養を身につける
- ③学歴や資格を得る
- ④クラブやサークルを楽しむ
- ⑤希望する職業に就く
- ⑥学生生活を楽しむ
- ⑦友達とのかかわりを楽しむ
- ⑧特に目的はない
- ⑨その他



V. 大学生活に対する考えや満足度について

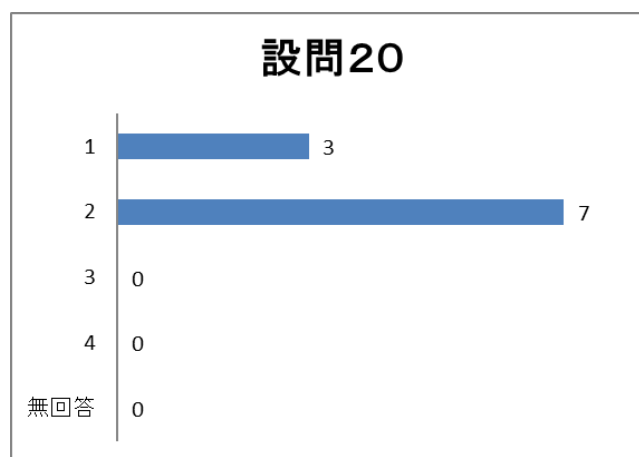
[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

- | | |
|------------------------|-----------------|
| A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する | E. 時間を効果的に使う |
| B. 大学教員の学問的な期待を理解する | F. 大学教員と顔見知りになる |
| C. 効果的に学習する技能を修得する | G. 他の学生との友情を深める |
| D. 大学が求める水準に応じて学習する | |



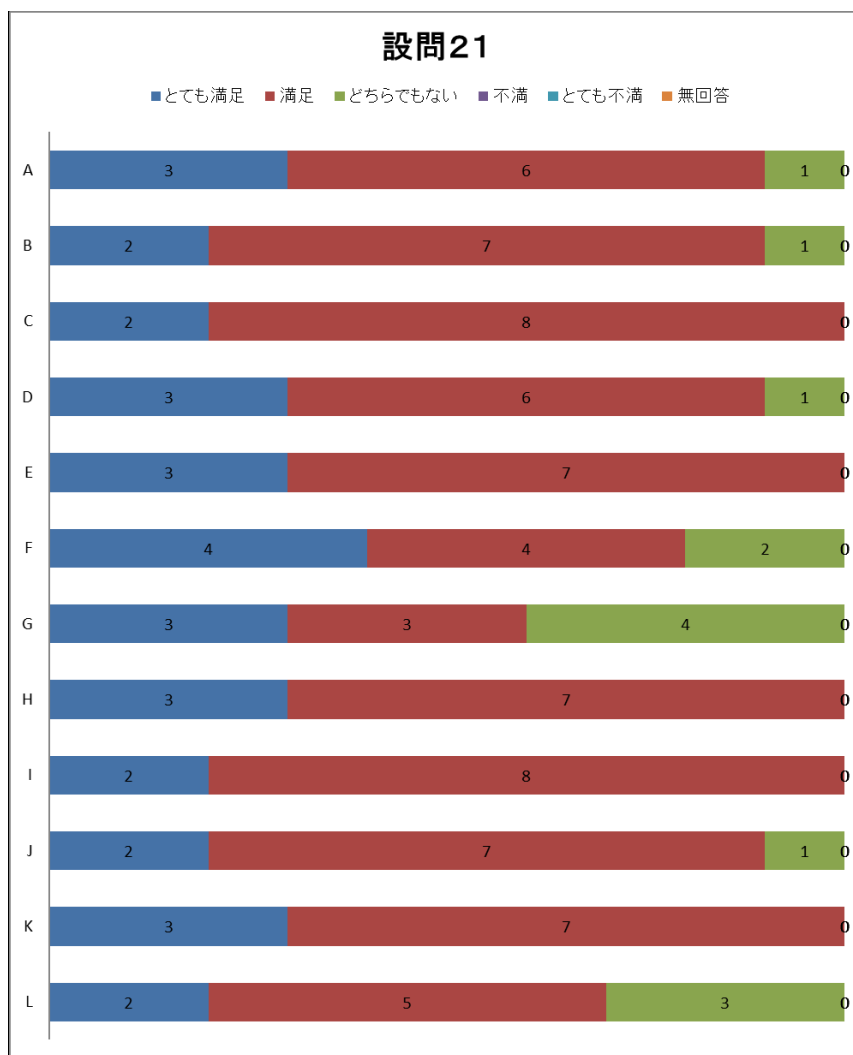
[20] 学生生活の充実

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |



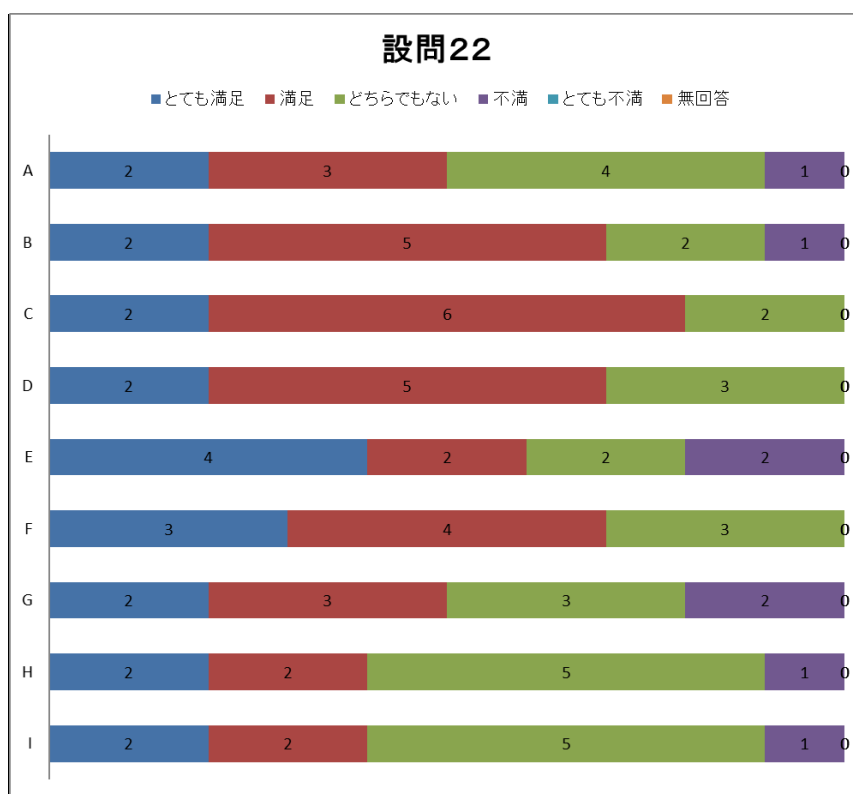
[21] 教育内容の満足度

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| A. 専門教育あるいは所属学科の授業 | G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など） |
| B. 所属学科の学内実習や学外実習
（臨床・臨地実習・介護実習等） | H. 他の学生と話す機会 |
| C. 授業の全体的な質 | I. 大学のなかでの学生同士の一体感 |
| D. 日常生活と授業内容との関連 | J. 多様な考え方を認め合う雰囲気 |
| E. 将来の仕事と授業内容との結びつき | K. 大学での経験全般について |
| F. 教員と話す機会 | L. 1つの授業を履修する学生数 |



[22] 設備や学生支援制度の満足度

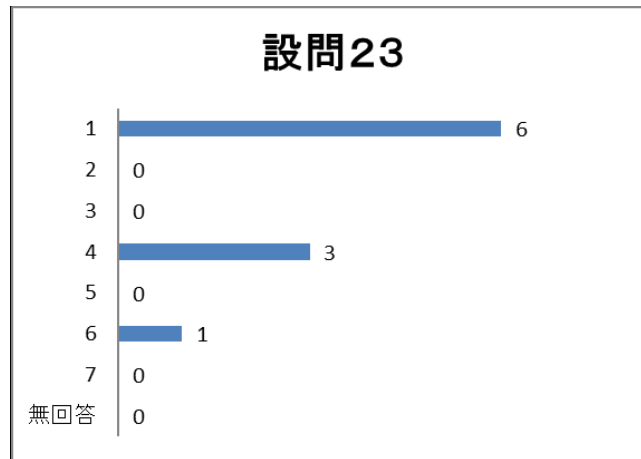
- A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

1. 就職する
2. 専攻科に就職する
3. 留学する
4. 他大学に（編）入学する
5. 専門学校に入学する
6. まだわからない
7. その他（具体的に）

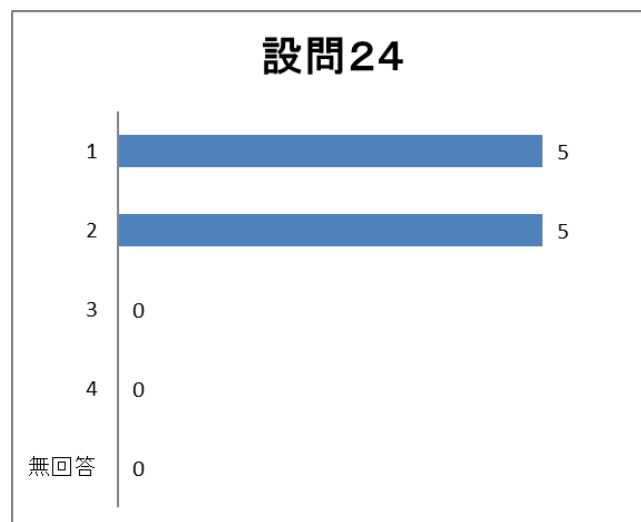


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

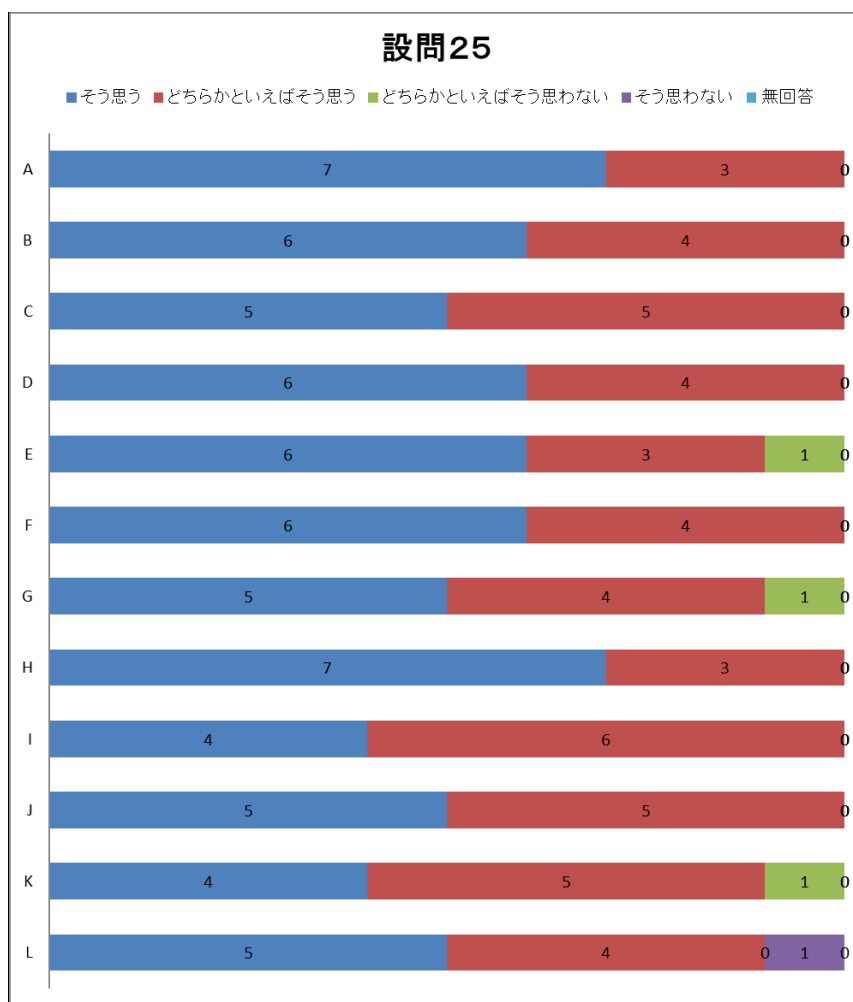
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
 - ・その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。
- あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない



[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- A. 専門分野の知識・技術をしっかりと身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- C. 職業意識の形成につながる教育を受ける
- D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2019 年

[歯科衛生学科 専攻科 23/23 名]



学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査（測定）することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR（インスティテューショナル・リサーチ, institutional research）と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

2019 年 11 月 22 日実施

[取組の趣旨]

- 本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- 専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

学生 ID 回答者：21 名 非回答者：2 名

＊今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学 1 年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を任意でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生学科：23 名

[3] 性別

~~1.男性：0 名~~

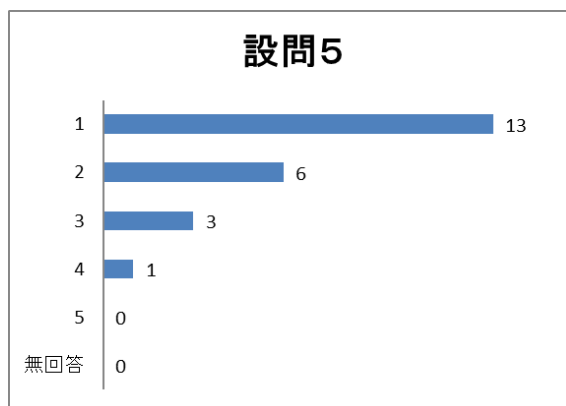
2.女性：23 名

[4] 2019 年 4 月 1 日の時点の年齢

21 歳：20 名 23 歳：03 名

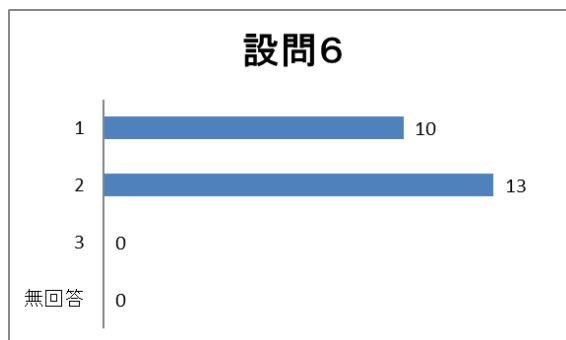
[5] 通学にかかる時間（片道）

1. 30 分未満
2. 30 分以上～1 時間未満
3. 1 時間以上～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分以上～2 時間未満
5. 2 時間以上



[6] 現在の住まい

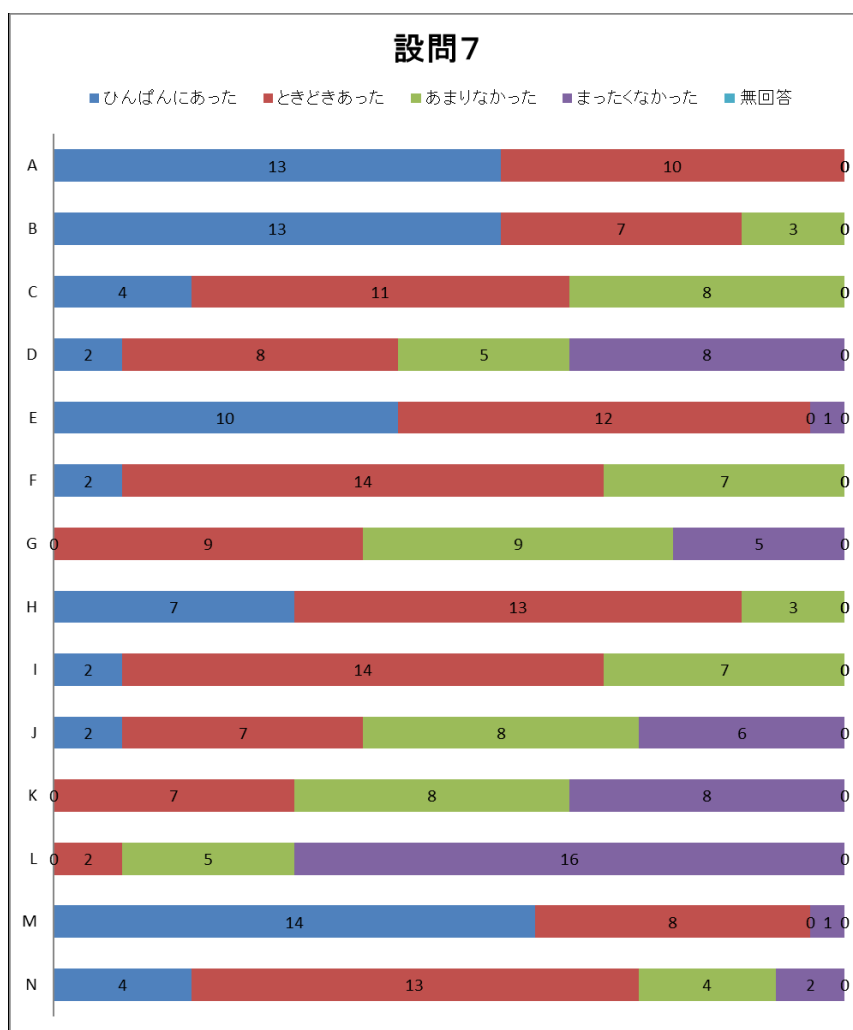
- 1.家族または親戚と暮らしている
- 2.アパート・学生マンションでひとり暮らし
- 3.大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

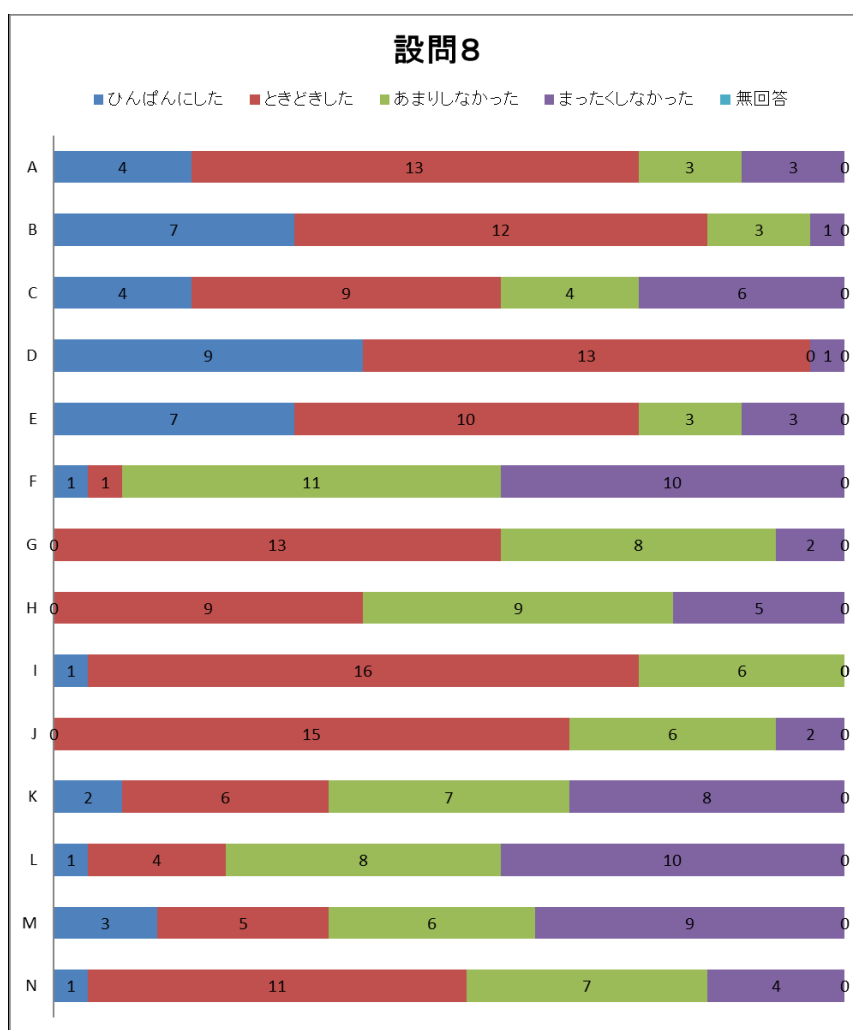
[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される
- N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成した
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィサーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした (卒業後の進路や職業選択など)
- N. 教員に親近感を感じた

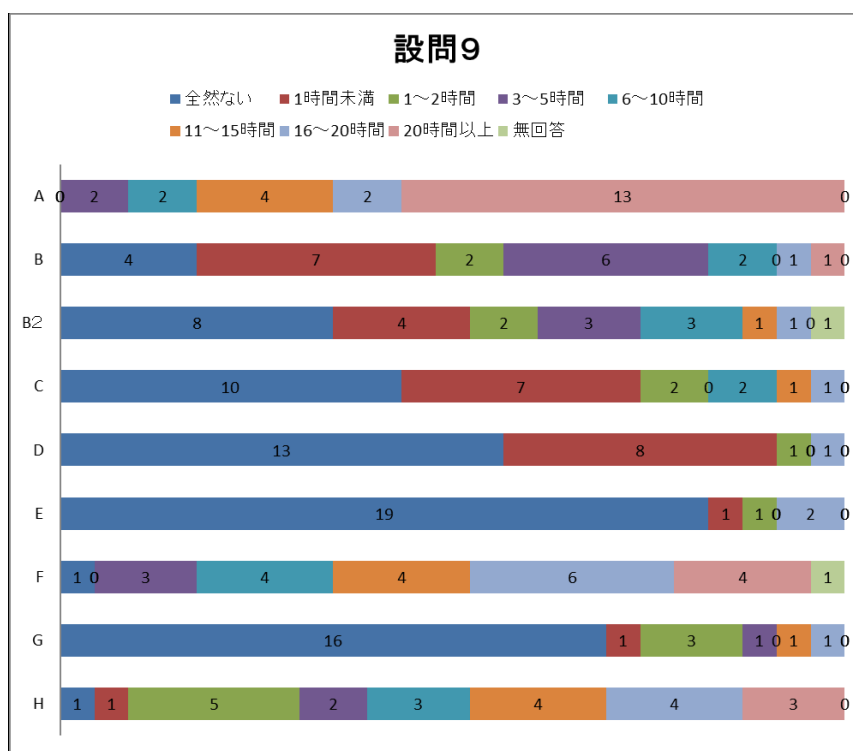


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
 B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
 B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
 C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
 D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
 E. 部活動や同好会に参加する
 F. 大学外でアルバイトや仕事をする
 G. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
 H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

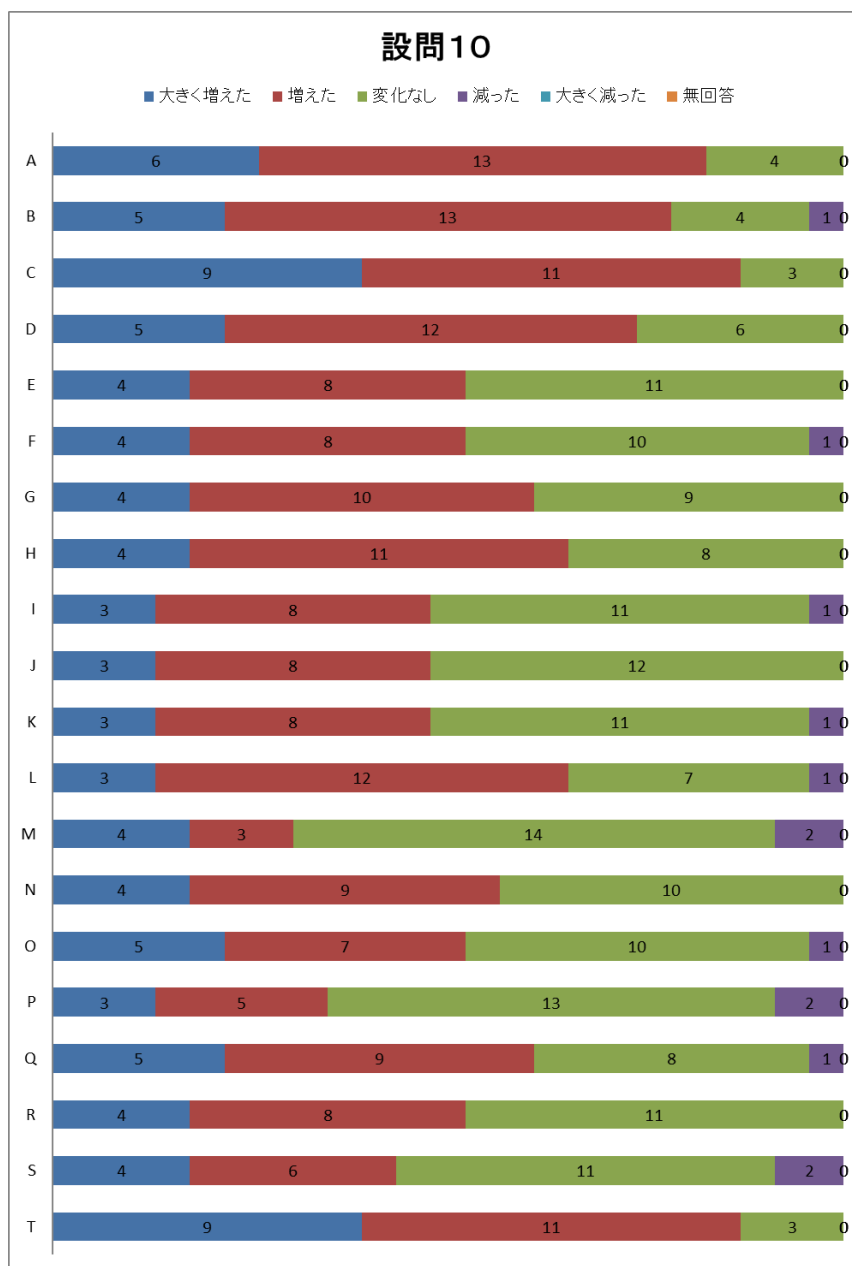
※時間の目安

1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

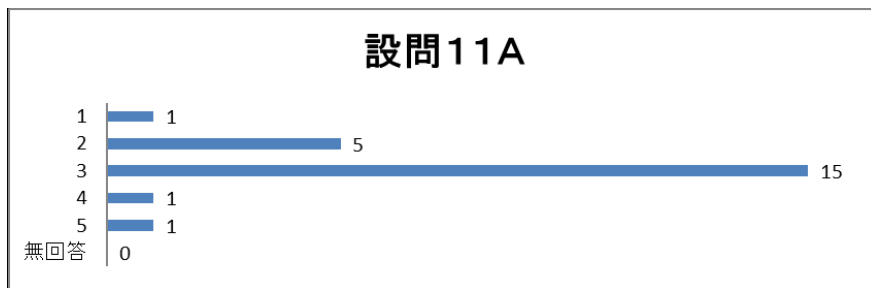
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| A. 一般的な教養 | K. 国民が直面する問題を理解する能力 |
| B. 分析力や問題解決能力 | L. 文章表現の能力 |
| C. 専門分野や学科の知識 | M. 外国語の運用能力 |
| D. 批判的に考える能力 | N. コミュニケーションの能力 |
| E. 異文化の人々に関する知識 | O. プレゼンテーションの能力 |
| F. リーダーシップの能力 | P. 数理的な能力 |
| G. 人間関係を構築する能力 | Q. コンピュータの操作能力 |
| H. 他の人と協力して物事を遂行する能力 | R. 時間を効果的に利用する能力 |
| I. 異文化の人々と協力する能力 | S. グローバルな問題の理解 |
| J. 地域社会が直面する問題を理解する能力 | T. 就職に向けての知識・技術力 |



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

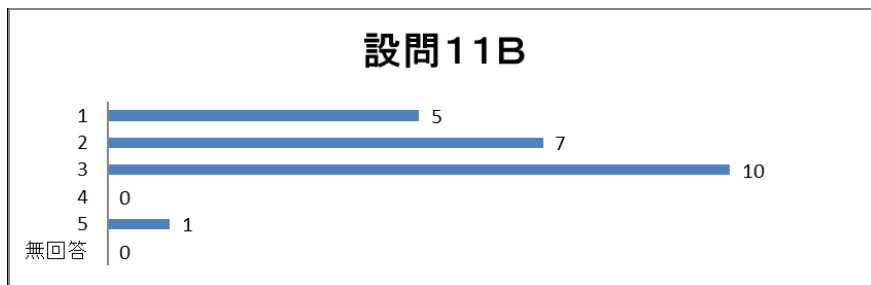
[11A] 学内の実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



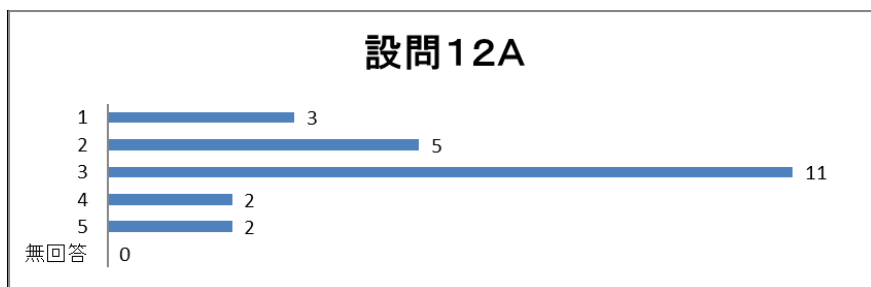
[11B] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



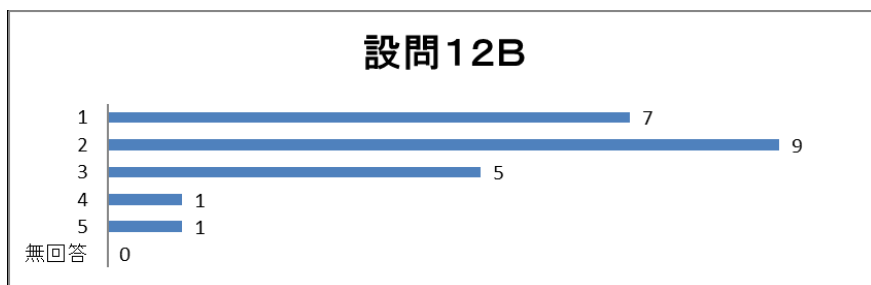
[12A] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



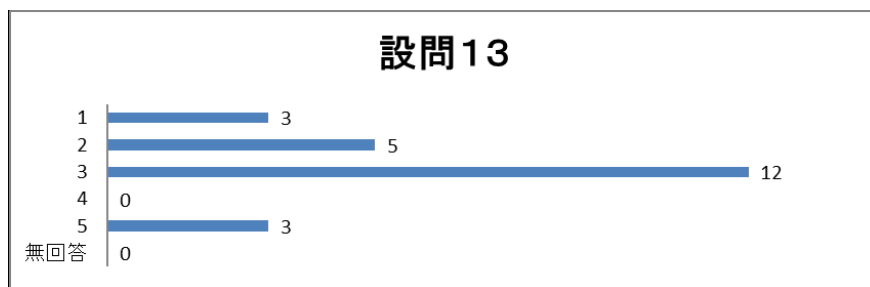
[12B] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



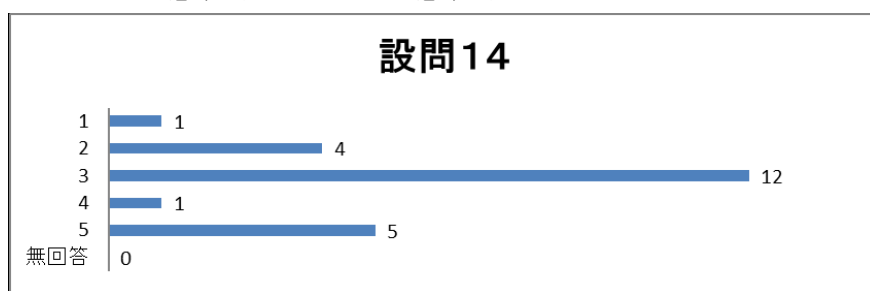
[13] ボランティア活動が好きか

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.好きでも嫌いでもない
4.どちらかといえば嫌い 5.嫌い



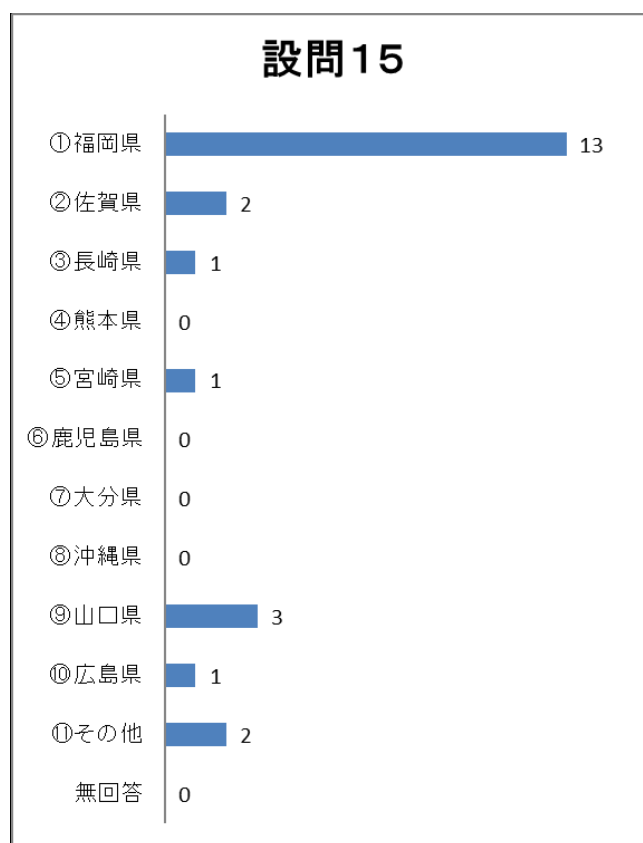
[14] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか

- 1.意欲的 2.どちらかといえば意欲的 3.どちらでもない
4.どちらかといえば意欲的でない 5.意欲的でない



IV. 現在の学生生活について

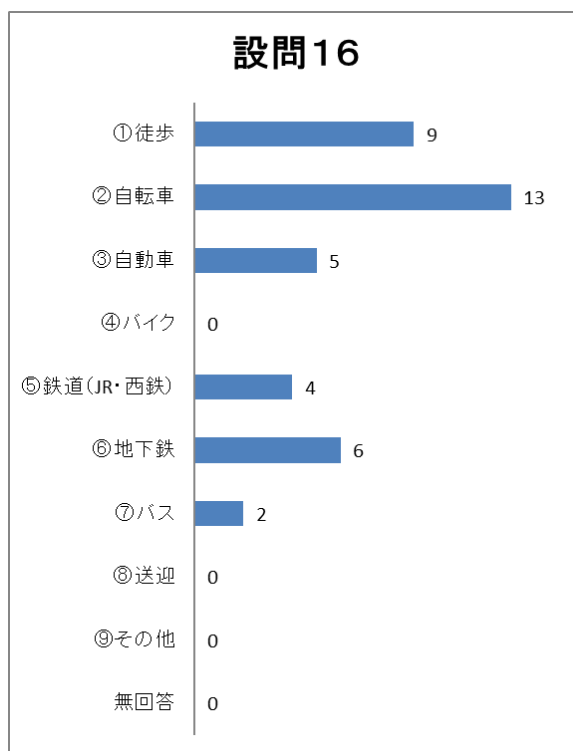
[15] 出身地



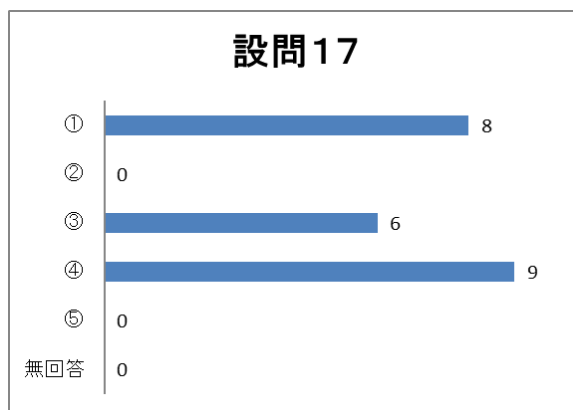
【その他の回答】

大阪府：1名　その他の県：1名

- [16] 大学までの交通手段
(当てはまるものすべてに○をつける)

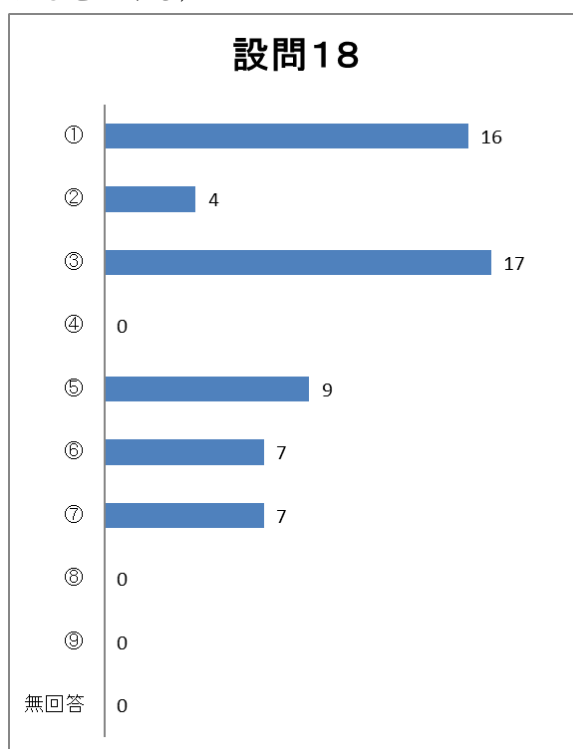


- [17] 奨学金の利用
- ①日本学生支援機構の奨学金
 - ②日本介護福祉士修学資金
 - ③以前受けていたが今は受けていない
 - ④受けていない
 - ⑤その他
- 地元の町の奨学金：1名



- [18] 大学生生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

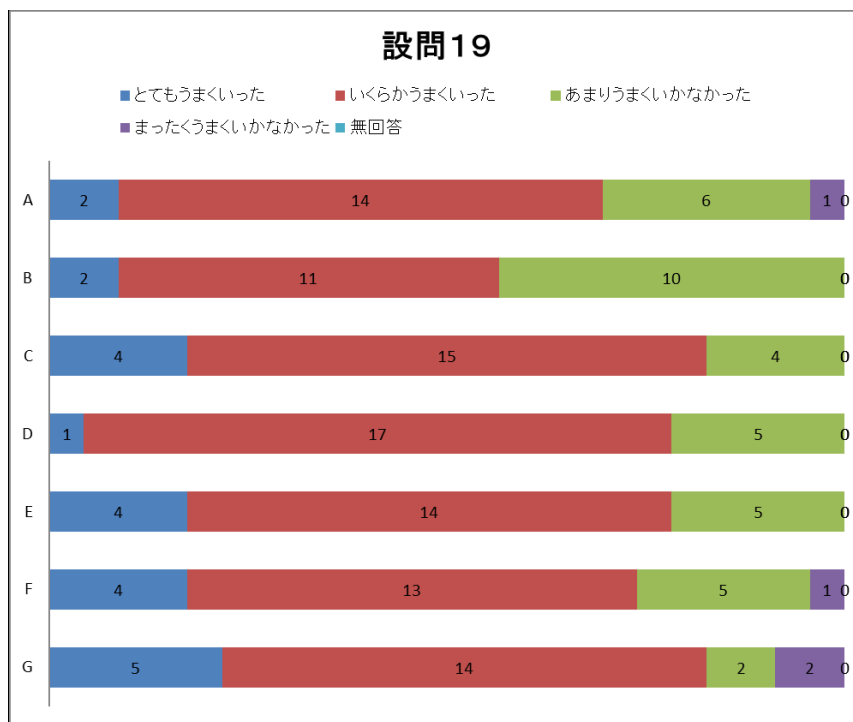
- ①専門的な研究や知識を身につける
- ②豊かな教養を身につける
- ③学歴や資格を得る
- ④クラブやサークルを楽しむ
- ⑤希望する職業に就く
- ⑥学生生活を楽しむ
- ⑦友達とのかかわりを楽しむ
- ⑧特に目的はない
- ⑨その他



V. 大学生活に対する考えや満足度について

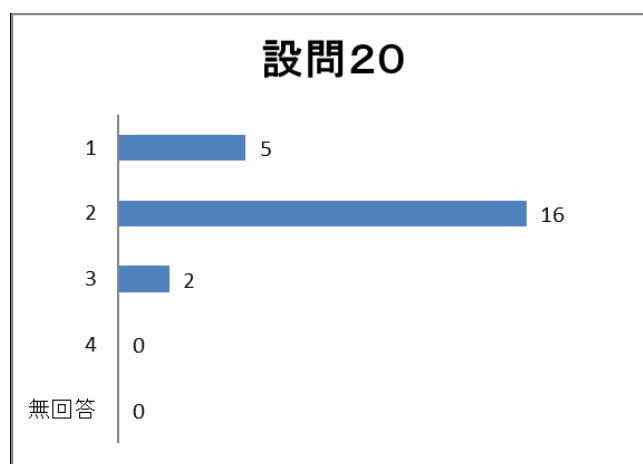
[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

- | | |
|------------------------|-----------------|
| A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する | E. 時間を効果的に使う |
| B. 大学教員の学問的な期待を理解する | F. 大学教員と顔見知りになる |
| C. 効果的に学習する技能を修得する | G. 他の学生との友情を深める |
| D. 大学が求める水準に応じて学習する | |



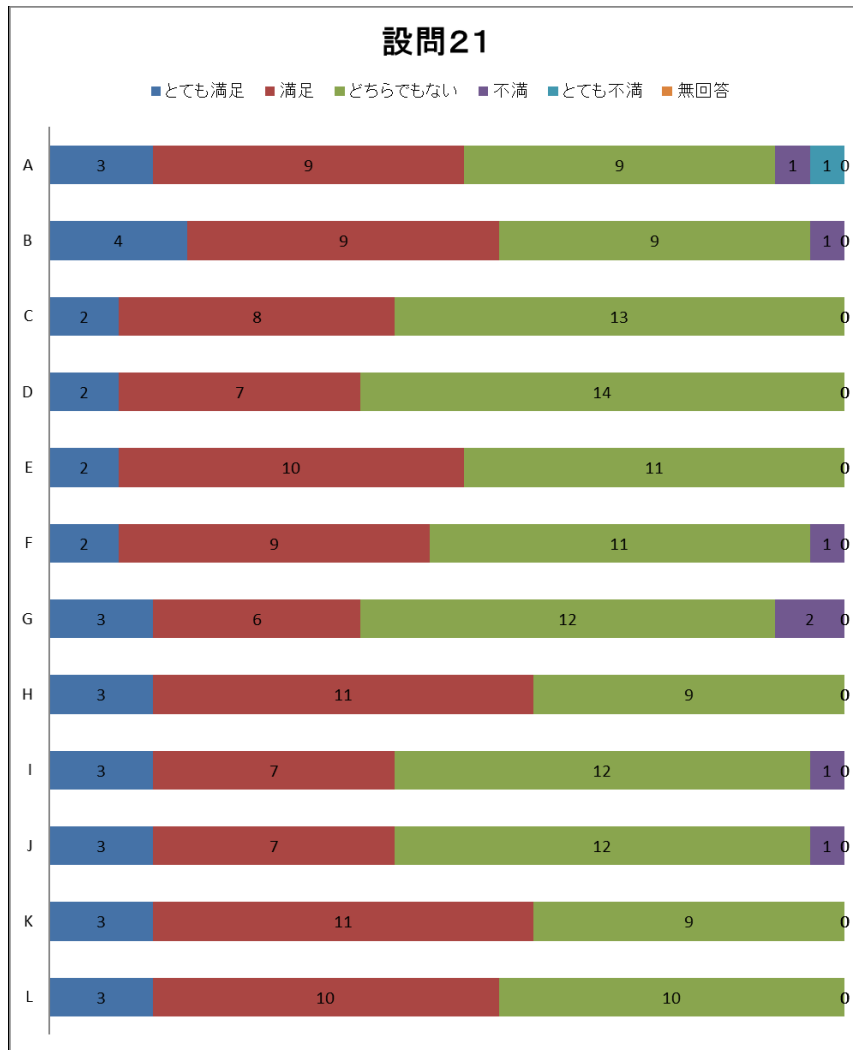
[20] 学生生活の充実

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |



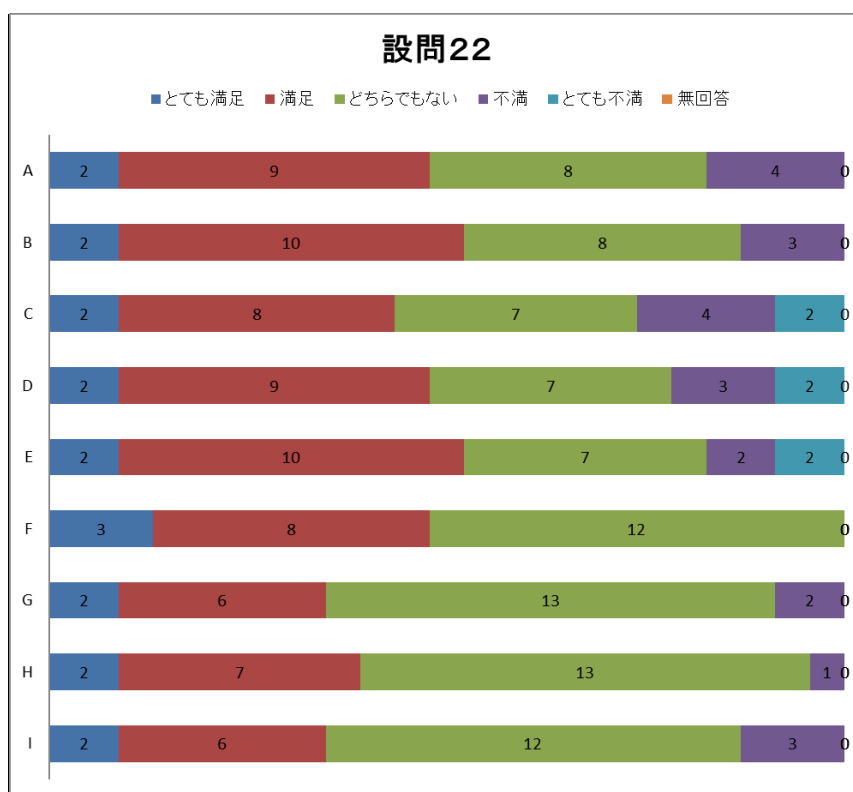
[21] 教育内容の満足度

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| A. 専門教育あるいは所属学科の授業 | G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など） |
| B. 所属学科の学内実習や学外実習
（臨床・臨地実習・介護実習等） | H. 他の学生と話をする機会 |
| C. 授業の全体的な質 | I. 大学のなかでの学生同士の一体感 |
| D. 日常生活と授業内容との関連 | J. 多様な考え方を認め合う雰囲気 |
| E. 将来の仕事と授業内容との結びつき | K. 大学での経験全般について |
| F. 教員と話をする機会 | L. 1つの授業を履修する学生数 |



[22] 設備や学生支援制度の満足度

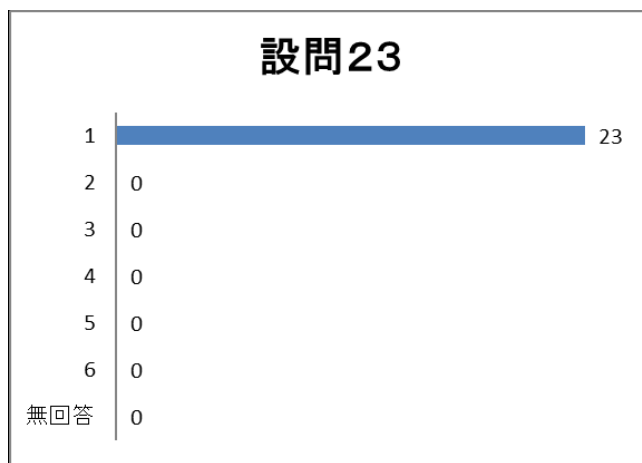
- A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

1. 就職する
2. 専攻科に就職する
3. 留学する
4. 他大学に（編）入学する
5. 専門学校に入学する
6. まだわからない
7. その他（具体的に）

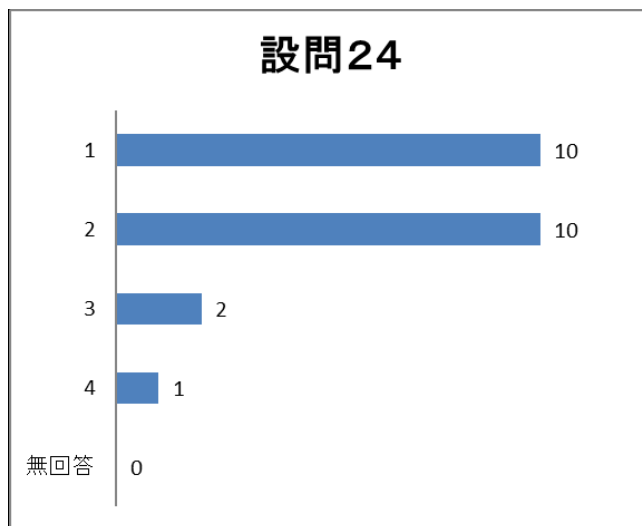


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

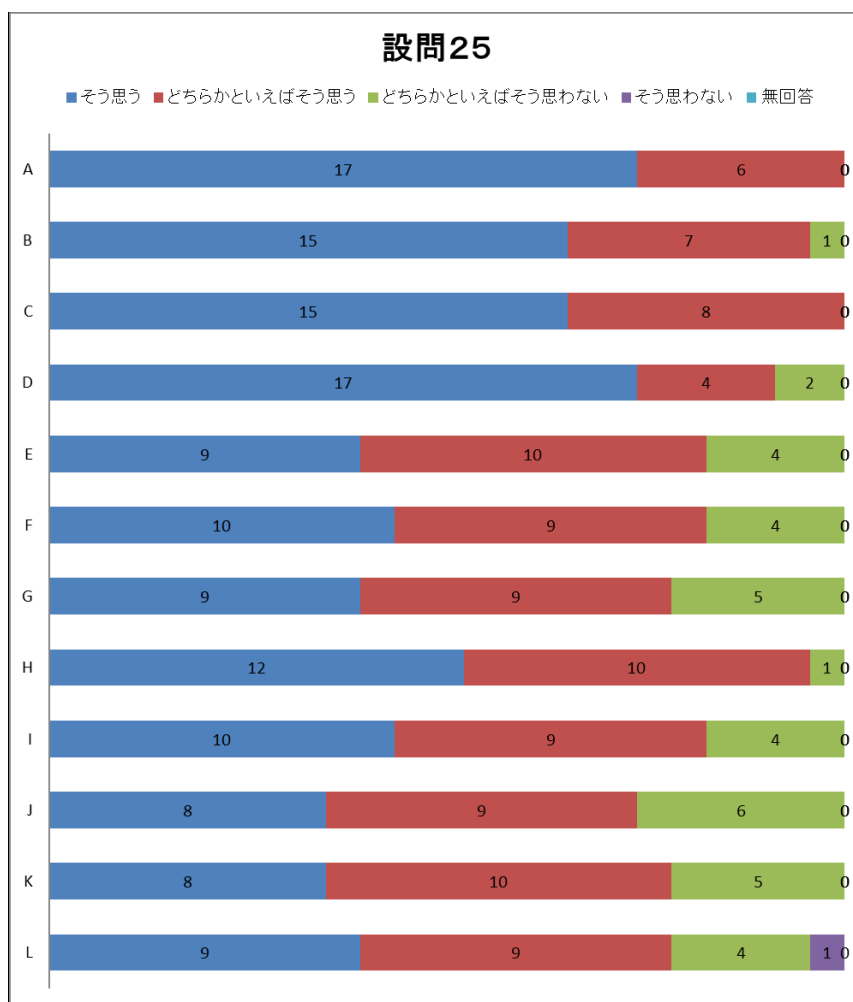
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
 - ・その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。
- あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない



[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- A. 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- C. 職業意識の形成につながる教育を受ける
- D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上